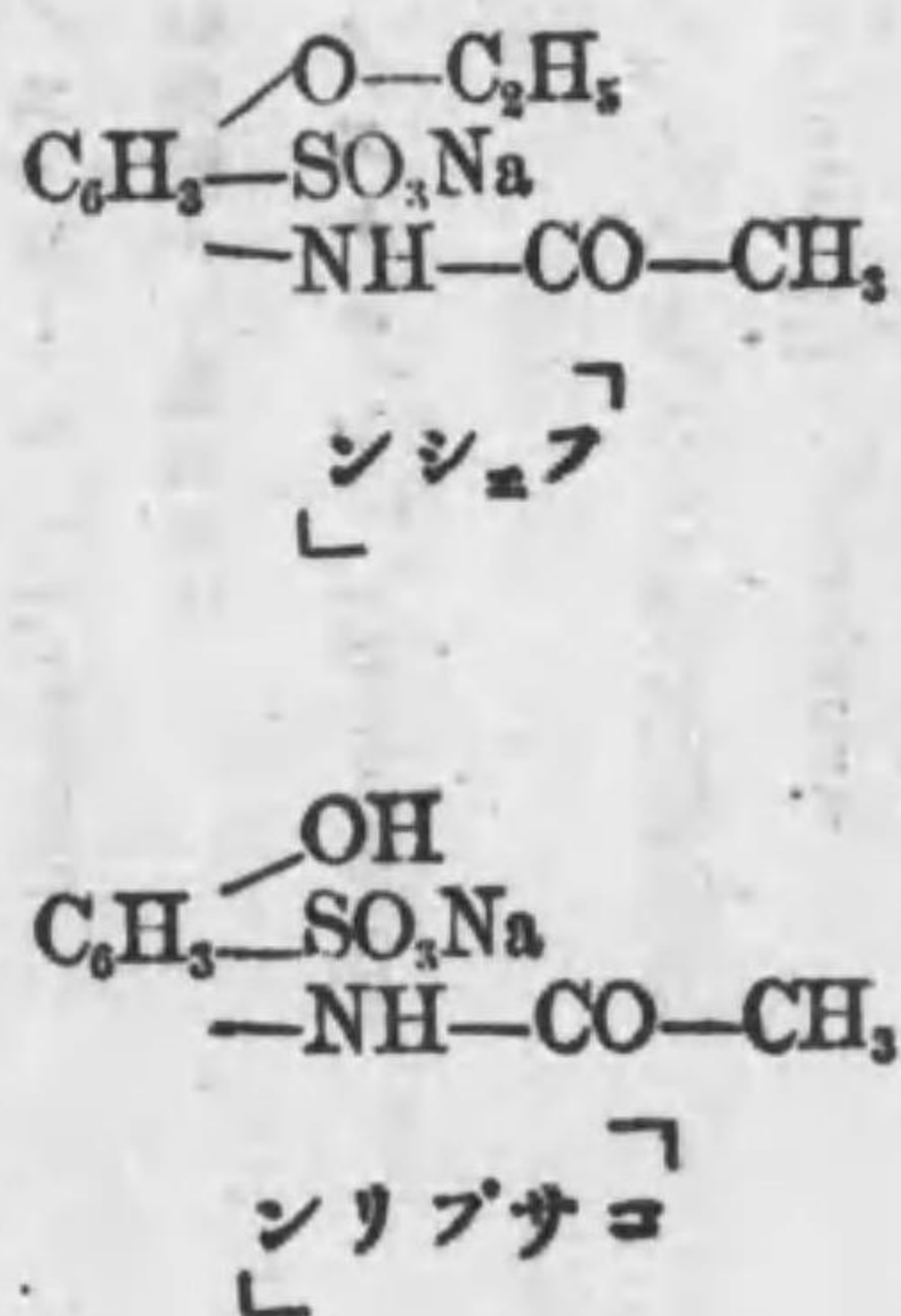


「フェニン」ハ「フェナセチン」ノ硫基誘導体ニシテ「コサブリン」即チ安知  
歇貌林ノ硫基誘導体ト類似ノ構造ヲ有ス



本品ハ淡赤褐色無晶形ノ輕粉ニシテ臭氣ナク味鹹ナリ少シク腐蝕性ヲ  
有ス水ニハ極メテ溶解シ易ク而シテ其應反ハ酸性ヲ徴ス  
フォン、ワモ、シー及ヒフェニウエツシー氏ノ報告ニ據レハ解熱ノ効強大  
ナルヲ以テ「フェナセチン」ニ代用シ得ヘシ殊ニ奏効ノ極メテ迅速ナル

比較的無害ナル及ヒ水ニ極メテ溶解シ易キ等ノ長所アリ溶液トナシテ  
處方シ又ハ皮下注射ニ應用ス (Ph.C. XXXVIII 582)

○フロリドチン Phloridzin  $\text{C}_{21}\text{H}_{24}\text{O}_{11} + 2\text{H}_2\text{O}$

「フロリドチン」一名「フロリチン」ハ林檎、櫻、梅等ノ生皮中ニ存シ其水  
煎又ハ亞爾箇保兒煎出液ヨリ結晶析出セシメ得ル所ノ光輝アル結晶ナ  
リ臭氣ナクシテ弱苦味アリルフィン氏ニ由レハ百〇八度ニ熔融シ百三  
十度ニ凝固シ百六十度ニ於テ再ヒ熔融シ二百度ニシテ暗赤色トナリ終  
ニ分解シ又強硫酸ヲ加フレハ黄色ニ溶解シ三十乃至六十度ニ温ムレバ  
赤色ニ變スルナリ○本品ヲ人體又ハ動物ニ與フレハ能ク糖尿ヲ誘起ス  
ヘシ是レ其特性ナリ間歇熱ニ一、〇乃至十二瓦ヲ用ユ

●「フォスフォタール」 Phosphotal

亞磷酸「クレオソート」ノ別名ナリ

●「プラスマ、ナサル」 Plasma Nasal

「プラスマ、ナサル」ハ血液ヨリ製シタル可溶性ノ加留膜及ヒ郡篤留膜  
塩ヨリ成レル板劑ニシテ一個中ニ尙〇、〇〇六瓦ノ薄荷腦ヲ含有ス本  
品ハ喉頭科醫ドクトル、エム、マクファルラー子氏ノ指揮ニ依リパーク  
デーウィス社ノ製造シタルモノニシテ鼻及ヒ頸部ヲ緩和ニ且ツ收斂ス  
ルコトナク洗濯スルニ其一個ヲ六十分ノ微温湯ニ溶解シテ應用ス  
(Ph.C.XXXVII 860)

●「プロスターデン」 Prostaten

「プロスターデン」ハ攝護腺ヨリ製造シタル越巖斯ニシテ攝護腺ノ疾患ニ與ヘテ靈驗アリト  
シフ (Ph.C.XXXVI 659)

●「プロトゲン」 Protogen

「プロトゲン」ハ血清又ハ蛋白ニ「フォルムアルデヒート」ヲ作用セシメ製シタルモノニシ

テ其水溶液ヲ熱スルモ凝固スルコトナシ小兒ニ滋養藥トシテ牛乳ニ和シテ與フ (Ph.C.XXXX  
VI 621)

●「フォソート」 Phosot

「フォソート」ハ磷酸クレオソートエステルニ附シタル名稱ニシテプリ  
ツンチット氏ニ據レハ腸内ニ入りテ初メテ分解ヲ生起シ茲ニ析出シタ  
ル「クレオソート」ハ總テ吸收セラルヘキヲ以テ肺結核患者ニ「クレオ  
ソート」ヲ服セシムルニハ之ヲ以テ最良ノ形態トナス

本品ハ無色舍利別稠ノ液体ニシテ極メテ微弱ナル「ケレオソート」ノ臭  
味ヲ有シ比重一、二五、「クレオソート」八十%無水磷酸二十%ヲ含有ス  
一日用量一珈琲匙即チ約六瓦ニテ足ル (Ph.C.XXXIX 608)

●「プラスミン」 Plasmin

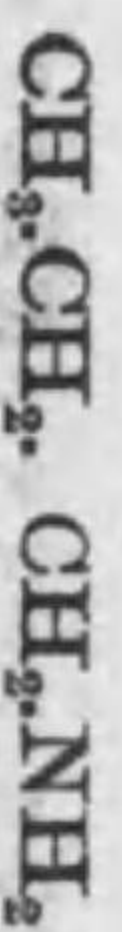
「プラスミン」ハプロフェッソルエワルド、プフチル氏ノ方法ニ準據シテ

ロフェツツルハンス、プフェル及ビドクトルハーンノ二氏カ細菌ヨリ得タル絞汁ニ附シタル名稱ニテシ虎列刺ブラスミン「結核ブラスミン」醸膿菌ブラスミン「脾脱疽菌ブラスミン」等アリ初メノ二ハ免疫試験ノ結果善良ナレモ後ノ二品ハ宜シカラス (Ph.O.XXXVIII 854)

●「プラソイド」Prasoid

「プラソイド」ハ「グロブラリン」及ヒ「グロブラレチン」ノ溶液ニシテ本品百滴中ニ〇、一二五瓦ノ「グロブラリン」及ヒ〇、一二五瓦ノ「グロブラレチン」ヲ含有スブーセル氏ハ一回十五乃至廿滴ツ、一日三回服用セシメ痛風及ヒ「ロイコチス」等ノ疾患ニ於テ良効ヲ奏シタリト云フ (Ph.C.XXXIX 669)

●「プロピルアミン」Propylamin



「プロピルアミン」ハ無色ノ結晶ニシテ強キ安母尼亞臭ヲ有シ四十九乃至五十度ニ於テ熔融スワイス氏ハ之ヲ虎列刺ニ用ヒタリシニ副作用ナクシテ良効ヲ奏シキ〇一日二乃至四瓦ヲ水ニ溶解シ矯臭藥トシテ薄荷舍利別ノ少許ヲ添加シテ用フ又屢々五乃至七瓦ヲ與フルコトヲ得 (Ph.C. XXXVI 62)

○「フェルノリット」Vernolih

「フェルノリット」ハ一分ノ瓦斯見及ヒ四分ノ消石灰ヨリ成レル消毒藥ナリ (Ph. C. XXXVII 99)

古部

○古加乙涅 Cocainum (鹽酸「コカイン」ヲ見ヨ)

○コッフエイチ Coffeinum

「コッフエイチ」ハ咖啡豆、茶葉、タバヤ茶、「バスタ、グアラナ」中ニ存スル

亞爾加魯乙度ニシテ是レ等嗜好品ノ主成分ナリ茶葉ヲ水ニテ煮出シ、  
 濾過シ、醋酸鉛液ヲ加ヘ、沈澱ヲ再ヒ濾過シ、安母尼亞ニテ亞爾加里性  
 トシ、硫化水素ニテ鉛分ヲ除去シ、蒸發結晶セシメテ得タル白色絹絲狀  
 ノ結晶ナリ中性ニシテ弱苦味ヲ有ス小量ヲ服スレハ精神ヲ鼓舞シ人ニ  
 由リテハ脈搏ノ加速スルアリ或ハ減速スルアリ大量ヲ服スレハ非常ニ  
 興奮シ耳鳴、幻華ヲ發ス尙多量ナルキハ頭痛、譫語、震慄、等ヲ起スヘ  
 シ○神經痛、偏頭痛、「ヒステリー」、ニ用ユ心臟病ニアリテハ實麥答利  
 斯ニ代ヘテ用ヒ且ツ其蓄積作用ナキヲ以テ殊ニ之ヲ賞揚スル者多シ  
 ラマデン氏ハ心臟神經痛、喘息ニ用ヒフツヒアルド氏ハ腎、肝、ノ疾患ニ  
 利尿劑トシテ用ヒタリ○ランガルド氏ハ莫爾比涅、其他麻醉性藥物ノ  
 中毒ニ試用シテ効アリト云ヘリ用量ハ〇、〇五—〇、五一回ノ極量ハ  
 〇、五ニシラ一日ノ極量ハ一、五瓦トス○「コッフエイチ」ニハ醋酸、安息

シ、枸橼酸、鹽酸、乳酸、ザリチール酸、纈草酸等ノ諸酸アリ皆利尿ノ効  
 アリトス

○「ロカピリン」Cocaprylin

「ロカピリン」ハ百分ノ安知必林ト一分ノ古加乙涅トノ混和物ナキ  $(Ph.C.XXXI. 1645)$

●古加乙涅明礬 Cocain—flaun

硫酸亞爾密紐古加乙涅ニ同シ

○コッフエインヨドール Jodolum Coffeinatum

「コッフエイン」一分子沃度兒一分子ヲ互ニ亞爾箇保兒ニ溶解シ和合スル  
 トキハ「コッフエインヨドール」ノ結晶ヲ析出ス  $C_8H_{10}N_4O_2 \cdot C_4I_4NH$   
 ○鮮褐色無味無臭ノ結晶狀粉末ニシテ諸種ノ溶解藥中本品ヲ溶解スル  
 モノ少シ七十四、六分ノ「ヨドール」ト二十五、四分ノ「コッフエイン」トヨ  
 リ成ル通常ノ「ヨドール」ハ久シク貯フルキハ分解ノ沃度ヲ析出シ爲メ

ニ一種ノ臭氣ヲ發生スレモ本品ハ然ルコトナシ此ノ故ニ「ヨドール」ニ代  
ヒテ用ヒテ價值アルベシ Ea. Konteschweller; P. C. XXXIV, 95)

●「コルラシン」 Collasin

「コルラシン」ハシッフ氏ノ報告ニ據レハ一種ノ皮膚ニ應用スル假漆ニ  
シテ古魯胃膜及ヒ「トラウマチシン」ニ優ル (Ph. XXXY 635)  
本品ハ「ニトロツエルローゼ」ノ「アセトン」溶液ニ樟腦ヲ加ヘテ製シタ  
ルモノナラン (Ph. CXXXV 635)

●「コロダイン」 Chlorodyne

英國ニ於テ非常ニ賞用セラル「コロダイン」ノ製法ニ就キ在ストツク  
ポルトカイ及ヒシヨール氏ハ新ニ左ノ處方ヲ公ニセリ  
二分ノ鹽酸莫兒比涅ト一容量ノ薄荷油トヲ三百容量ノ稀酒精ニ溶解シ  
三十容量ノ依的兒ト百二十容量ノ嘔囉仿謨トヲ和シ尙之ニ加フルニ二

百四十容量ノ偃里設林ヲ以テス (Ph. CXXXV 305)

●「ゴノロール」 Gonorol

「ゴノロール」ハ在ライプチヒハイ子社ニ於テ特許出願中ノ一方法ニ據  
リテ東印度産ノ白檀油ヨリ分取シタル亞爾個保爾様ノ化合物ニノ僅カ  
ニ白檀油ノ臭氣ヲ有スル無色ノ液体ナリ三百三乃至三百六度ニ於テ沸  
騰シ〇、九七七乃至〇、九八〇ノ比重ヲ有ス麻痰ニ用ヒテ効リア (Ph. C  
XXXIX 279)

○コッフェイシオコロール Coffeinchloral

光澤アル無色ノ結晶ニシテ水ニ容易ク溶解スルモノナリエワルド氏ニ  
由レハ〇、二乃至〇、四ヲ水劑トシテ皮下ニ注射スレハ頑固ノ便秘ヲ治  
スルト云フ (P. C. XXXIV, 509)

○コルニチーデ Cornicide

「コルニチーテ」ハ印度大麻或幾斯一、○「ザリチール」酸一〇・〇「テンビン」油五・〇「コロサウム」八二・〇強醋酸二・〇ヨリ成ル英國ニ於テ魚眼ニ用フル者トス

○コリール Coryl

「コリール」ハ「コロール」化メチールト「コロール」化エチールトノ混和物ニシテ局處麻酔藥トシテ用ユルモノナリ主トシテ齒科ノ小手術ニ用ユ (Journ de pharm. d. Anvers 1893,16)

●「コメノール」 Comenal

「ゴメノール」ハ「ゴーメン」近在ノノイカレトニーンニ産スル「ミルダツェ」科植物「マラロイカウィリジフローラ」ノ揮發油ニシテ六十六%ノ「チチオール」(「テルベーン」)少量ノ「テルビチオール」及ヒ醋酸酪酸類艸酸等ノ「エステル」ノ痕跡ヲ含有シ而シテ有毒性ノ「アルデヒート」ヲ含有セス肺結核及ヒ其他諸呼吸器病ニ用ヒテ好績アリ○、二五瓦ツ、膠囊ニ入レ毎日四乃至十個ヲ用フ又「ロイマチス」及ヒ神經痛ニ應用

シ或ハ二%溶液トシテ膀胱炎ニ注射ス (Ph.C. XXXIX 652)

○「コロナリン」 Coronillin

本品ハ淡黄色ノ粉末ニシテ水及ビアルコールニ容易ク溶解ス心臓藥トシテ稱用ス

○コレラアンチトキシシン Choleraantitoxin

パウロウスキー、ブッフスタープ兩氏ハ虎列刺ニ對シテ不感性トナシタル犬ノ血漿ヨリ「コレラ」防腐藥ヲ製出セリ(一)硫酸安母紐母ヲ以テ血漿ヨリ蛋白質ヲ沈降セシメ此ノ沈澱ヲ數日間濾膜分析器中ニ置キ后チ取り出シテ乾カシ生理的食鹽液ニ溶解シ再ヒ濾膜分析器ニ致シ十分ニ濾別シタル后硼酸ト樟腦トヲ一%ノ割合ニ添加シ「コレラアンチトキシシン」ノ分解ヲ防キ貯フナリ(二)血漿ニ無水「アルコール」ヲ加ヘ成生シタル沈澱ヲ無水「アルコール」ニテ洗ヒ三十六度ノ温ヲ有スル水ニ致シ二十四時間温浸シ濾別シ濾液ニ酒精ト依的兒ノ等分ノモノヲ加ヘ

沈澱セシム是レ即チ「コレラアンチトキシシン」ナリ故ニ生理食鹽液ニ溶シ前ノ如ク貯藏スルナリ此ノ如ク製シタル溶液ハ動物ニ試験シテ其効カラ確定スベシ (Hygien. Bund-sch.—XXXV, 167)

●「コルラフォルム」 Collaform

「コルラフォルム」ハハウスマン氏自製ノ粉末狀「フォルムアルデヒード、ケラチン」ニ附シタル名稱ナリ創傷治療ニ用フ (Ph. C. XXXVIII 335)

○コラ實 Kola

中部亞弗利加「ゲイアナ」ニ産ヌル胡桃類「ステルクリア、アクミナーター」ノ種子ニシテ催淫、健胃、利尿ノ効アリ浸劑ヲ多量ニ服スレハ不眠症ヲ發ス成分ハ「コッフュイン」、二四三八「テラプロミン」〇、〇二三其他脂肪酸脂肪、グルコーゼ、澱粉、纖維等ナリ、通帶「コラ」越幾斯、「コラ」丁幾トシテ用ユ偏頭痛、神經痛、船暈嘔吐、下利等ニ供ス一回ノ量「コラ」

越幾斯ハ〇、二丁幾(一ト五)ハ二乃至十瓦「コラ」酒(一ト十)ハ二乃至四食匙ツ、トス〇市上ニハ藥品ノ外ニ(コラ)麵包「ヒラビスケット」コラシヨコラーデ等アリ

●格魯兒「ステリフォルミクム」

Steriformicum

格魯兒「ステリフォルミクム」ハ左ノ物質ヨリ成ル

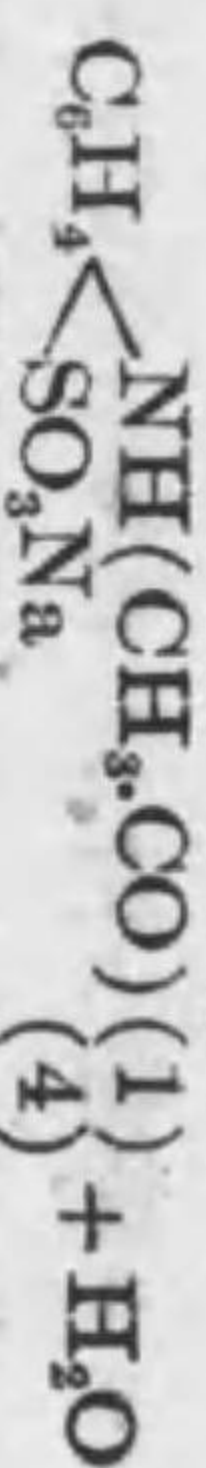
- 「フォルムアルデヒード」 五、〇
- 格魯兒安田紐膜 一〇、〇
- 百布聖 二〇、〇
- 乳糖 六五、〇

本品ハ無味ニシテ且ツ無毒ナリ諸種ノ傳染病ニ用ヒテ効アリト云フ (Ph. C. XXXVIII 336)

○コルヒチン Colchicin

古爾失鳩謨子ノ成分ニシテ黄白色苦味ノ「アルカロード」ナリ市上販賣ノモノニハ殆ンド純品ナシ利尿劑トシテ〇、〇〇二—〇、〇〇三下劑トシテ〇、〇一五ヲ用ユ癩風、痺麻質斯、神經痛ニ効アリ用量ハ〇、〇〇一—〇、〇〇三ナリ

●「コサプリン」 Cosaprin



「コサプリン」瑞西バーセルノホフマン、ラ、ローシユ社ニ於テ安知歌貌林ノ代用ニ供セント欲シテ「スルファニール」酸那篤留謨ニ醋酸基ヲ籍入シテ製シタルモノ之ヲ治療上ニ試ミテ好果ヲ得タリト云フ

本品ハ白色細結晶ニシテ水ニ溶解シ易ク酒精及ヒ依的兒ニハ殆ント溶解セス之ニ酸ヲ加ヘテ永ク煮沸スルニアラサレハ「スルファニール」酸

ヲ分離セシムルコトナシ (Ph. C. XXXVIII 129)

○コニーン Coninum

「コニヌム、マクラーツム」ダツラ、ストラモニー「(蔓陀羅華)ノ主成分ナリ藥劑トシテハ貌魯謨水素酸「コニーン」ヲ用ユ、外傷性强直症ニ適ス其他神經症、慢性氣管枝痙攣、虎列刺、癩癩ニ用ユ又「ラノリン」ニ和シ肛門搔痒ニ賞用ス量用ハ〇、〇〇五(小兒)乃至〇、〇一(大人)トス

○コトイン Cotoinum  $C_{22}H_{16}O_6$

「コト」皮ノ糖原質ナリ微黄色平方系統ノ結晶ニシテ酒精、依的兒、嚼囉叻ニ容易ク溶解シ冷水ニ溶ケ難シ味ハ苛烈ナリ亞爾加里ニ逢フテ黄色トナリ硝酸ニ逢フテ血紅色ヲ呈ス〇下痢ノ特效藥ニシテ不快ノ副作用ナシ肺勞下痢又ハ歐洲虎列刺ニ偉効アリ用量ハ〇、〇〇五乃至〇、〇五ニシテ散又ハ丸トシテ用ユ



○コンワルラリン Convallarin

「コンワルラリア、マヤーリス」ノ成分ニシテ水ニ溶ケ難シ心臟病ノ調整薬ニシテ一回ノ用量〇、〇五乃至〇、〇六トス

○コンワルラマリリン Convallamarin

「コンワルラリア、マヤーリス」ヲ酒精ニテ浸出シ醋酸鉛ニテ沈澱シ濾過シ、鉛分ヲ去リ硫酸ヲ以テ中和シ亞爾箇保兒ヲ蒸餾シ残渣ヲ炭酸ナトロンニテ中和シ單尼寧酸ニテ沈澱セシメ、沈澱ヲ洗ヒ、亞爾箇保兒ニ溶シ、獸炭ニテ脱色シ、酸化亞鉛ニテ分解濾過シ濾液ヲ蒸發シ製スベシ一種ノ糖原質ニシテ稀硫酸ト共ニ煮ルルハ分解ノ「コンワラマレチン」ト砂糖トニ變ス、白色ノ粉末ニシテ水酒精ニ溶解スレモ依的兒ニハ溶解セズ○市上ニ見ルトコロノ「コンワルラマリリン」ハ數種ニシテ其組成一ナラス從テ諸氏ノ試験モ一ナラス心臟薬トテ皮下ニ〇、〇〇五乃至

〇、〇二ヲ注射スマラグリアノー氏ニ由レハ一日ノ用量一、〇ニ達セシムルヲ得ベシト云フ

○コッシン Kossium

「コッシン」ハ一名「クッシン」ト云ヒ屈蘇花ノ成分ナリ帶黃白色ノ結晶粉末ナリ水ニハ僅カニ溶解スレモ亞爾箇保兒ニハ溶ケ易シミュンヘン府ノベダール氏ノ製ニ係レリフリュッキーゲル氏ニ由レハ純粹ノモノニハアラサレモ頗ル有効ノ者トス驅癩劑ニシテ一、〇乃至二、〇ヲ「オブラート」ニ包ミ與フベシ

●虎骨軟膏 Tigerknochensalbe

虎骨軟膏ハ剥皮シタル虎ヲ釜中ニ入レ煮ツメテ暗褐色ノ塊トナシタルモノニシテ支那人等ハ之ヲ痛風ロイマチス等ニ靈藥トシテ服用スルト云フ (Ph. C. XXXVII II6)

江部

## ○鹽酸コカイン

 $C_{17}H_{21}NO_4 \cdot HCl$  Cocainum hydrochloricum

無色透明無臭ノ結晶ニメ水酒精ニ溶解ス、水溶液ハ苦味アリ鹽酸ヲ以テ酸性トナシ昇汞液ヲ加フルキハ白色ノ沈澱ヲ生シ沃度液ヲ加フレハ褐色トナリ加里鹵液ヲ加フレハ白色ノ酒精依的兒ニ溶解スヘキ沈澱ヲ生ス強硫酸、強硝酸ニ無色ニ溶解ス本品ノ〇、一ヲ稀硫酸三滴ヲ加ヘタル水ノ五立方仙米ニ溶解シ之レニ一分ノ過滿俺酸加里ヲ水百分ニ溶シタル者ノ一滴ヲ注グキハ紫色ヲ呈スベシ〇本品ノ二乃至二十「プロセント」溶液ヲ粘膜上ニ塗布スレハ(一)觸感(二)温感(三)疼痛性(四)痛感(五)反射性(六)味感ノ減弱ヲ誘起ス二「プロセント」液ヲ角膜囊中ニ注入スレバ燃感ヲ覺ヒ兼テ流涙ヲ促シ次キニ乾燥、沈重、寒冷ノ感アリ點眼スルキハ瞳孔散大シ一時間ヲ經テ極度ニ達ス然レモ最大度ニ達スルニ

ハアラズ此ノ故ニ「アトロピチ」ニ由テ更ニ散大スベシ、「ヒソスチグミン」ハ「コカイン」ニ由テ起リタル變化ヲ全ク復正スルノ力アリ「ピロカルピン」ハ只僅カニ收縮スルノミ〇鹽酸「コカイン」ノ〇、〇五乃至〇、一五ヲ服スルキハ性力ヲ増加シ睡眠飢覺ヲ減シ吸呼及ヒ脈搏ヲ増加スヘシ、若シ大量ヲ與フレハ眩暈前額痛、脱力等ニ陥ルベシ又鹽酸「コカイン」ハ腸ノ蠕動ヲ速カニシ、皮膚ノ温度ヲ高メ、粘膜ノ分泌ヲ増加ス〇急性「コカイン」中毒ニシルリンク氏ハ亞硝酸「アミール」ヲ使用シ搐搦ニハ抱水「クロラール」ヲ用ヒタリ〇鹽酸「コカイン」ハ内服ニ用ユルコト少ナシト雖モ局處麻醉藥トシテ粘液膜下及ヒ皮下ニ注射スルニハ最も緊要ノモノトス其他鎮痛藥トシテ火傷、中耳炎、喉頭潰瘍、直腸膀胱、及ヒ全泌尿生殖器ノ疾患ニ用ヒ稀レニハ貧血藥トシテ眼炎等ニ應用シ又或ハ興奮藥トシテ出血、及ヒ經久熱性病ニ因由セシ衰弱、脱衰、貧血、依

ト昆掻兒、鬱憂性ノ精神病並ニ神經衰弱症ニ應用シ其他注船病及ヒ瘧咳ニ用ユルヲアリ○眼科ニアリテ一%乃至二%液ヲ用ヒ尿道注射腔洗滌等ニハ二%液ヲ用ヒ瘧咳ニハ五%液ヲ塗布シ其他局麻酔藥トシテ十乃至二十%液ヲ用ヒ殊ニ手術用ニハ石炭酸、ザルチール酸、昇汞ノ五千分一乃至一万分一ヲ加フルヲ良トス皮下注射液ハ大概ハ十%液トス内服ニハ〇、〇一乃至〇、〇五ヲ溶液、丸、錠等トシ與フ○鹽酸「コカイン」ノ代リニ貌魯母「コカイン」ヲ用ユルヲアリ○極量ハ一回〇、〇五日〇、一五トス

○エムルジン Emulsion

「エムルジン」ハ強壓下ニ於テ酸化シタル「バラフィン」油ナリ中性無臭油様ノ液ニシテ水ニ和スルルハ保貯シ得ヘキ乳和ヲ成スベシ此ノ故ニ藥ヲ乳劑トナスニ使用スルモノナリ思フニ是レ前項ニ論シタル「ワソ

ゲン」ノ類歟○扁桃中ノ酵素ヲモ「エムルジン」ト稱ス誤マルヲ勿レ (Dh.C.XXXV, 288)

○鹽酸エリトロフレイン Erythrophi. Hydrochloricum

「エリトロフレイン」ハ「エリトロフレイヌーム、グイチンゼ」皮ノ亞爾加魯乙度ニシテ其鹽酸鹽ハ黄色ノ水ニ溶解シ易スキ結晶ナリ水液ハ分解シ易スシ、若シ水液ニ濃厚ノ硫酸ヲ加ヘテ水浴上ニ蒸發スレハ赤色ヲ呈スヘシ、レウイン氏ニ由レハ局處麻酔藥トシテ「コカイン」ニ代ユベキモノトス然レモ刺戟強クシテ屢々烈シキ疼痛ヲ感スルヲアリ、其吸收セラレタル後ハ心臟筋質上ニ作用スルヲ猶實麥答利斯ノ如シ然レモ同時ニ「ピクロトキシシン」ノ如キ痙攣性ヲ發ハスモノトス○眼科ニ於テ點入藥トシテハ其〇、〇五乃至〇、二%液ヲ用ヒ皮下注射ニハ〇、一乃至一、〇%液ヲ用ユ、内服ニハ一回ノ量〇、〇〇一乃至〇、〇〇五トス

○鹽酸ヲキシスバルテイン  $C_{16}H_{21}N_2O \cdot 2HCl$

*Oxysparteinum hydrochloricum*

巨大針狀ノ結晶ニシテ水ニ溶ケ易シ四十八度乃至五十度ニ於テ熔融ス  
硫酸上ニ乾燥スレハ風化スオエフェレ氏ノ書簡ニ由レハ本品ハ心臟病  
殊ニ心筋質ノ變性セントスルモノニ皮下ニ注射シテ効アリトス○、○  
四ヨリ用ヒテ○、一ニ達スルヲ得、久時持續シテ用ユルハ良カラス何ト  
ナレハ慣習トナリ易スケレハナリ又阿片劑ニ伍スルヲ忌ムベシ (P.C.  
XXXIV, 61)

○鹽酸スコポラミン *Scopolaminum hydrochloricum*

鹽酸「スコポラミン」ハ「スコポリア、アトロポイテース」ノ成分ニシテ  
「アトロピン」「ヒヨスチン」ニ類スル亞爾加魯乙度ナリ本品ハ瞳孔散大  
藥ニシテレールマン氏大ニ光學的試驗ヲ施行セリ (Münchener med.

*Wochenschrift 1893, Nr.8)* コーベルト氏ノ試験ニ由レハ「アトロヒ子」

ニ反對ノ作用アリ例ヘハ「アトロヒ子」ハ腦ノ皮質ヲ刺戟スレモ「スコ  
ポラミン」ハ却テ麻痺セシメ又「アトロヒ子」ハ脈搏ヲ増進スルモ「スコ  
ポラミン」ハ却テ遅徐ナラシムルカ如シ、瞳孔散大藥中最モ卓越ノモノ  
トス然レモ鎮痛、消痰作用ハ「アトロヒ子」ニ及ハズ通常一乃至二「プ  
ロミルレ」溶液ヲ使用ス (Wiener Med. Bl. 1893, Nr. 9)

○鹽酸グアヤコール規尼涅

*Guajacolo-Chininum hydrochloricum*

鹽酸グアヤコール規尼涅ハ白色針狀ノ結晶ニシテ「グアヤコール」ノ代用品ナリ在フランクフ  
ルトナムメル社ニテ販賣ス (Ph. C. XXXIX 145)

○鹽酸パバヴリン *Papaverinum hydrochloricum*

$C_8H_9NO_4 \cdot HCl$

白色菱柱状ノ結晶ニシテ冷水ニ溶ケ難シロエブツシエル氏ノ試験ニ由レハ腸ノ蠕動ヲ鎮靜スルノ効アルモノトス此ノ故ニ本品ハ下痢殊ニ小兒ノ下痢ニ用ユベシ用量ハ〇、〇〇五乃至〇、〇五ニシテ年齢ニ從ヒ加減スヘシ多クハ乳糖ヲ和シ散トシテ與フ (P. C. XXXIV, 62)

○鹽基酸沒食子酸蒼鉛(「デルマトール」ヲ見ヨ)

●鹽酸「オイカイン」 Eucainum hydro-chloricum



鹽酸「オイカイン」ハ鹽酸古加乙涅ノ代用品ニシテ水ヲ加ヘテ煮沸スルモ分解スルコトナク從ヒテ溶液ヲ消毒スルコト容易ナリ鹽酸古加乙涅ハ之ニ反シテ容易ク分解シテ「ベンツェイルエクゴニン」及ヒ「メチールアルコール」トナリ局處麻醉ノ性ヲ失フ而シテ粘膜炎ヲ刺戟ス是レ鹽酸「オイカイン」ト古加乙涅ニ優ル所タリ

本品ハ粘膜炎ニハ強キ局處麻醉ノ作用ヲ呈シ又齒科治療上ニ用フルニ適ス心臟ニ對シ何等ノ惡作用ヲ現ハサザルハ殊ニ其特異ナル所ナリトス (Ph. C. XXXVII 289)

●鹽酸「トリフェニトールグアニジン」

Triphenetolguanidin chlorhydrat

鹽酸「トリフェニトールグアニジン」ハ在ラーデポイルハイデン製造所ニ於テ製造シタル麻醉藥ニシテ殊ニ眼病ニ應用スルニ宜シ一千倍ノ溶液ハ之ヲ家兎ノ眼ニ点スルニ一乃至二分間ニシテ全然知覺ヲ失シ而シテ毫モ刺戟及ヒ有毒ノ現象、虹彩上ニ及ホス作用等ヲ認ムルコトナシ (Ph. C. XXXIX 826)

●鹽酸磷酸規尼涅 Chininum muriatica phosphoricum



鹽酸磷酸規尼涅三十五瓦ヲ比重一、一五四ノ磷酸七十瓦及ヒ稀鹽酸九瓦ヨリ成レル混和液中ニ投シ微温ヲ與ヘテ溶解セシメタル液中ヨリ漸次ニ結晶スルモノニメ二分ノ水ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ徵ス本品ハ規尼涅ヲ含有スルコト五十%ニシテヨードキークウィク氏ハ之ヲ麻刺里亞及ヒ神經性ノ頭痛ニ用ヒテ偉効アルヲ認メタリ (Ph.C. XXXVIII 36)

○鹽酸チレキシニン *Orexinum hydrochloricum*

無色又ハ微黄色ノ光輝アル針狀結晶ニシテ水、酒精ニ溶解シ易ク苦味アリベンヅォオールド氏ハ健胃劑トシテ食思欲乏、萎黃病、肺結核、貧血、胃病、等ニ應用セリ〇、三五乃至〇、五ヲ一包トシ「オブラート」ニ包ミ一日三包ヲ健胃劑トシテ與フヘシ

●鹽酸オルトフォルム *Orthoform hydrochloricum*

「オルトフォルム」ノ條ヲ參照スヘシ

○鹽酸ヒドラスチン *Hydrastinum hydrochloricum*

「ヒドラスチン」カカナデンジス」ノ主成分ニシテ微黄色強苦味ノ「アルカロイド」ナリ水、酒精ニ容易ク溶解ス水性液ハ黄色ニシテ炭石彩ヲ發ス組成ハ  $C_{15}H_{21}NO_6$  HCE ナリ止血藥殊ニ婦人生殖器部ノ出血ニ用ユ然レドモ麥角越幾斯「エルゴチン」等ニハ及バズト云フ一回ノ服量〇、〇三乃至〇、〇五トス (P.C. XXXIII, 296)

●鹽酸「トロバココカイン」 *Tropacocainum hydrochloricum*

鹽酸「トロバココカイン」ハワアモツシー氏カ局處麻酔ノ良藥トシテ賞用スル所ノモノニシテ加古乙涅及ヒ「オйкаシン」ノ完全ナル代用品ナリ本品ハ毒性弱ク而シテ麻酔ノ効ハ強シ且ツ久シク貯藏シ得ヘシ (Ph. C. XXXVIII 84)

●鹽酸「ヂコデイルメターン」

*DicodegImetanhydrochlorid*

鹽酸「ヂコデイルメタール」ハ酸性液中ニ於テ古垚乙涅ニ「フォルムアル  
デヒード」ヲ作用セシメ茲ニ生スル新鹽基ヲ炭酸那篤留謨ニ由リテ沈  
澱セシメタルモノナリト云フ蓋シニ分子ノ古垚乙涅ト一分子ノ「フォル  
ムアルデヒート」トノ凝縮ニ由リテ成レル化合物ノ鹽酸鹽ナルベシ  
(Ph.C.XXXVIII 36)

本品ハ水及ヒ酒精ニ溶解シ四十度ニ於テ泡沫ヲ發生シツ、熔融スルモ  
ノナリ

○鹽酸フェニコール Phenocollum hydrochloricum

鹽酸「フェニコール」ハ骰子形ノ結晶ニシテ水酒精ニ溶ケ易シ、解熱藥ニシテ室布新、肺炎  
ニ、○テ用エ猶「フェニコール」ヲ參看スベシ

●「エルゴチン」酸安母紐謨液

Lignor Ammonii ergotini

「エルゴチン」酸安母紐謨液ハフォスウインケル氏ノ製造シタル澄明褐色  
ノ液ニシテ一立方「センチメートル」中ニ〇、三瓦ノ「エルゴチン」酸安母  
紐謨ヲ含ミ麥角ノ三瓦ニ適ス本品ハ皮下ニ注射シ又内用トシテ一回ニ  
十五乃至二十滴ヲ與フ (Ph.C.XXXV 305)

●「エタロール」 Aethaeol

「エタロール」ハ在ビ「プロヒカル」社ニテ製造シタル焦性阿仙藥素ノ「モノエシタル」ナリ  
(Ph. C. XXXV 305)

○鹽基性撒里失兒酸蒼鉛  $Bi(C_2H_3O_2)_3 \cdot Bi_2O_3$

Bismutum subsalicylicum

鹽基性「ザルチル」酸蒼鉛ハ硝酸蒼鉛ヲ弱「アルカリ」性ノ水ニ溶解シ之  
レニ撒里失兒酸「ナトリウム」ヲ加ヘ沈降スル處ノ沈澱ヲ洗ヒ乾カシテ  
製ス無形弱黃色ノ粉末ニシテ遊離撒里失兒酸ヲ含有スヘカラズ鹽基性硝

酸蒼鉛ノ代リニ諸種ノ下痢ニ用ユウルピアン氏ハ室布斯ニ大量ヲ與ヘテ良成績ヲ博シ余カ友人某モ又室布斯ニ一回二、〇ツ、「オブラート」ニ包ミ與ヘテ卓効ヲ收メタリウルピアン氏ニ由レハ一日量十乃至十二瓦ニ達セシメ得ベシトス○ゴルトマン氏ハ六種ノ鹽基性「ザリチル」酸素鉛ヲ分析シテ皆其構成ノ互ニ異ナルヲ發見セリ氏ハ酸化蒼鉛ヲ定量シテ五七、八四%乃至七二、三四%ナルヲ知レリ余ハ六一、二七%ヲ檢出セリ

○エチールコロリッド (格魯兒化「エチール」ヲ見コ)

●「エオソート」 Eosot

「エオソート」ハ癩癬酸「クレオソート」ニシテ「ブチシス」治療藥ノ一ナリドクトルグラウイツ氏ハ之ヲ膠囊ニ入レテ服用センメシニ患者ハ毫モ不快ヲ覺エサリシト云フ (Ph. C. XXXVII 494)

●「エチレーンヂアミンクレソール」 Aethylendiaminkresol

「エチレーンヂアミンクレソール」ハ凹窪創傷ニ有効ノ消毒藥ニツテ創傷部ノ生皮ヲ促進シ其効力「クレソール」ニ勝ル本品ハ無色澄明ニシテ殆ント無毒ナリ (Ph. C. XXXVII 745)

●「エチレーンヂアミントリクレソール」  
Aethylendiam-Trikresol

「エチレーンヂアミントリクレソール」ハ十分ノ「エチレーンヂアミン」ト十分ノ「トリクレソール」トヲ五百分ノ水ニ溶解シタル澄明無色ノ液ニシテ亞爾加里性ノ反應ヲ徴シ空氣ニ觸ルレハ漸次黃變ス金屬製諸器ハ其稀薄液ニ侵サル、コトナシ (Ph. C. XXXV 805) (「クレサミン」參看)

●「エンテロール」 Enterol

「エンテロール」ハ「クレソール」類ノ混和物ニシテ防腐力ヲ有ス (Ph.



C. XXXVI 436, 739)

本品ハ在ボツタムフォツス氏ノ考案ニ成レルモノニシテ惡臭及ヒ腐蝕性ヲ有シ腸胃症ニ用ヒテ強キ防腐ノ効アリ而シテ傍ラ日々下劑ヲ服スルコトヲ得ヘシ丸劑トナシ又ハ膠囊ニ入レテ用フルヲ可トス (Ph. C. XXXVI 711)

●「エフエドリン」 Ephedrin



「エフエドリン」ハ「エフエドラウルカーリス」ナル植物ノ酒精製越幾斯ヲ亞爾加里性トナシ依的兒ニテ振盪シテ得タル白色結晶様ノ塊ニシテ二百五十度ニ於テ分解スルコトナクシテ沸騰ス游離鹽基ハ亞爾個保爾依的兒及ビ水ニ溶解シ殊ニ水ニハ抱水物ヲ化生シツ、容易ニ溶解ス、鹽酸鹽ハ亞爾個保爾ヨリ白色針狀晶ヲナシテ折出シ二百十四、乃至二

百十五度ニ於テ熔融シ水ニハ容易ニ溶解ス金ノ複鹽ヲ鹽酸酸性ノ水ト共ニ温ムレハ金屬金ヲ析出シツ、「エフエドリン」ノ分解ヲ起シ「ベンツアルデヒード」及ヒ分解鹽基トシテ「メチラミン」ヲ生ス

「エフエドリン」ハ分子中十個ノ炭素原子ヲ有スレトモ分解成績物中只八個ヲ証スルコトヲ得ルノミ故ニ他ノ二個原子ハ此等ニ對シ如何ナル關係ニ於テ存スルヤヲ説明スルコト能ハス (Ph. C. XXXV 95)

グレナウ氏ハ之ヲ「ホムアトロピン」ト共ニ用ヒテ瞳孔ヲ散大セシメ數時間ニシテ再ヒ復舊セシメント欲シ左ノ處方ニ據リテ豫期ノ目的ヲ達シタリ (Deutsch.med. Wochenschr. 1895. 161)

鹽酸「エフエドリン」 1.0

鹽酸「ホムアトロピン」 0.01

蒸餾水 10.0

●「エカ」沃度仿謨 Eka-Jodoform

「エカ」沃度仿謨ハ在伯林「シエーリング」社ノ製造ニシテ沃度仿謨ト「バラフオルム」トノ混和物ナリドクトルトマルラ氏ハ之ヲ沃度仿謨ニ代用シテ却リテ良効ヲ奏シタリト云フ又ドクトルゴットスタイン氏ハ絶對的細菌皆無ニシテ消毒性ヲ完備シ毫モ刺戟スルコトナシト言ヘリ  
(Ph: C. XXXVIII 501)

●「エチラミン」 Aethylamin

「エチラミン」ハドクトルゴルトシュシット氏ノ研究ニ據レハ「ピヘリゲン」及ヒ「プロピラジン」等ト同シク尿酸ト化合シテ可溶性ノ鹽ヲ生スルヲ以テ痛風及ヒ膀胱結石等ニ用ヒテ効アリシト云フ (Ph. C. XXXVIII 465)

●「エルゴチノール」 Ergotinol

「エルゴチン」酸安母紐謨液ニ附シタル名稱ナリ

○エトキシコッフエイン Aethoxycoffeinum



貌魯母「ニッフエイン」三分ヲ二分ノ苛性加里十分ノ亞爾箇保兒ニ煮テ製ス白色針狀ノ結晶ニシテ水酒精ニ溶ケ難ク熱酒精ニ溶ケ易シ溶點ハ百四十度撤里失兒酸、安息酸ノ那篤留母鹽ニ逢フテ可溶性ノ複鹽ヲ生スフィンチ氏ニ由レハ心搏及ヒ血壓ヲ頻高ナラシムルコト猶ホ「コッフエイン」ノ如シト雖モ唯少シク麻酔ノ性質アルヲ異ナリトナスフィンチ氏ノ勸告ニ由リドュジャルデンボーメッツ氏ハ偏頭痛、神經痛殊ニ顔面痛ニ賞用セリセララ氏ハ皮下ニ注射シテ局處麻酔ノ効アリトス皮下注射ニハ二%液ヲ用ヒ内服ニハ〇、五ヲ楊曹ニ伍シテ投スヘシ

○エメチン Emetinum

吐根ノ主成分ナリ白色又ハ微黃色ノ無形粉末ナリ水ニ溶ケ難ク酒精、

依的兒ニ溶解シ易ク苦味アリ吐劑、痰劑、肺炎ノ解熱劑トシテ用ユ吐劑ニハ〇、〇〇五乃至〇、〇一其他ニハ〇、〇〇一乃至〇、〇〇二ヲ散トシテ用ユ皮下注射ニハ適セズ

○エルバ、レウマ、Yerba Reuma (淋疾藥)

○エルバ、サンタ、Yerba Santa (肺勞藥)

○エフェドラ、アンチナ Ephedra andina (膀胱藥)

○エリトロフレイン Erythrophleinum

○エキサルギン Exalgin  $C_6H_5N_3$ .  $(CH_2CO)$ .  $(CH_3CO)$

「エキサルギン」ハ格魯兒化「エチール」ニ「モノメチールアニリン」ヲ作用セシメテ製ス白色ノ結晶ニシテ冷水ニ溶ケ難ク酒精ニ溶ケ易シ〇「エキサルギン」ハ其化學上ノ構成「アンチフェブリン」ニ類似スルカ故ニ自ラ此レニ似タルノ効アリ只一層毒性強シトスカーン、ヘッペ兩氏ハ

實用ニ供シ得ヘカラサルモノトセリドュヂャルダンポーメ、及ビバルデ  
I氏ハ解熱藥トシテ使用スルヲ否拒セシモ其鎮靜作用ハ大ニ之レヲ稱用セリガウジノウ氏ハ癩麻室斯、神經痛、關節痛、癩癩、結核、密尿病、脊髓勞、痛風等ニ用ヒテ常ニ疼痛ヲ緩解スルヲ得タリ〇服量ハ〇、二五ヲ液劑トシテ用ユフラーゼ氏ニヨレハ〇、〇三乃至〇、〇六ニシテ効アリ只常ニ小心シテ用ユベシ大量ト持長トハ禁忌スベシ

○エゼリン Eserrinum (「ザリチル」酸「ヒソスチグミン」ヲ見ヨ)

○エゼリチン Eseridinum

「エゼリチン」ハ「エゼリン」ト共ニ加刺抜兒豆中ニ含有スル類鹽基ナリ確實ノ下劑ニシテ副作用ナシ主トシテ獸醫ノ用ユル處ナリ大ナル動物ニハ〇、一ヲ與フ

## 天部

○テルピノール Terpinolum  $(C_{10}H_{16})_2H_2O$

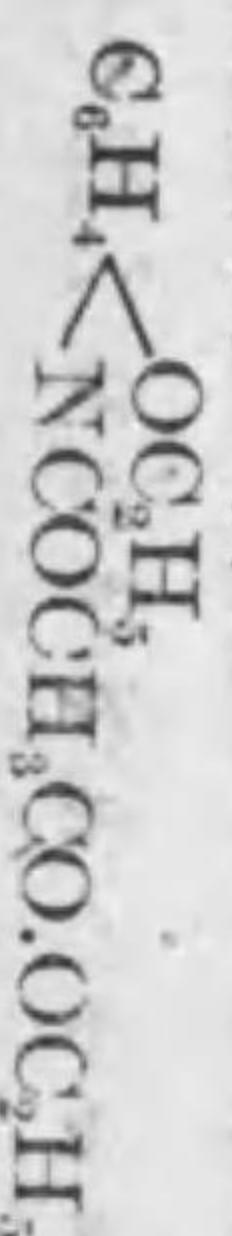
「テルビノール」ハ「テルビンヒドレート」ヲ極メテ稀薄ノ硫酸ニ投シテ蒸餾シ亞爾加里性トナシタル水ヲ以テ餾液ヲ洗ヒ再ヒ蒸餾シテ百六十八度ニ餾出スルモノヲ集メタル者ナリ無色爽快ノ香氣アル揮發シ易スキ液ニソ水ニ溶ケサレモ酒精、依的兒ニ溶解ス氣管枝加答兒ニ安息酸曹達ニ伍シテ祛痰劑トシテ一回〇、一ヲ用ユ

●「テルロール」Terrol

「テルロール」ハ石油ヲ精製シテ得タル成續物ニシテ肝油ノ代用品トシテ應用セラル(Ph. C. XXXVI 26)

○テルモヂン Thermodin

「テルモヂン」ハ「アツェチール、バラ、エトキシ、フェニールウレタン」ニシテ其組成ハ左ノ如シ



「バラオキシフェニールウレタン」中ノ水酸基ノ水素ヲ「エチール」ニテ交換シ再ビ「アツェチリレン」ヲ製ス白色針狀ノ結晶ニシテ臭味共ニ無シ八十六度乃至八十八度ニ於テ熔融ス冷水ノ二千六百分ニ溶解シ熱水ノ四百五十分ニ溶解スフォン、メーリング氏ハ本品ヲ試檢セリ三十九度乃至四十度ノ体温ヲ有スル患者ニ本品ノ〇、五ヲ與ヘシニ二度乃至二度半ノ下熱ヲ見タリ其効力ハ一時間ニシテ現ハレ、四時間ニシテ極度ニ達シ再ヒ徐々ニ昇騰スベシ然レモ此際戰慄ヲ呈セズフォン、メーリング氏ハ肺勞患者ニ〇、五乃至〇、七ヲ用ヒ又一、〇ヲ鎮痛藥トシテ用ヒシニ孰レモ副作用ヲ呈セザリキ (Therap. cutische Monatsh. 1893, XII. 1-XXV. 69)

●「テルモール」Dermol Bi (C<sub>15</sub>H<sub>9</sub>O<sub>4</sub>)<sub>2</sub>.BiO<sub>3</sub>

「テルモール」ハ「クリソファン」酸着鉛ニシテ無晶形黄色ノ粉末ナシ或ル皮膚病ニ用ヒテ効  
アットロフ (Ph. C. XXXV446)

●「デルマチン」 Dermatin

「デルマチン」ハ瑞典專買ノ化粧料ニシテ五、五乃至七分ノ散里矢爾酸七乃至十五分ノ澱粧ニ  
十五乃至五十分ノ滑石三十分乃至六十分ノ硫酸及ヒ三乃至九分ノ礬士ヨリ成ル (Ph.C. XX  
XVI 362)

○テルピチロール Terpineol

「テルピチロール」ハ接骨木様ノ臭氣ヲ有スルヲ以テ香料ヲ製スルニ供シ沃度防ノ臭氣ヲ消  
スノ効アルカ故ニ添加薬トシテ用ユ (Therap. Monatsh. 1891, 413.)

●「デジヒトール」 Desichthol

「デジヒトール」ハ「イヒチオール」ニ水蒸氣ヲ通シテ惡臭ヲ有スル成分ヲ驅除シタルモノナ  
リ使用上患者ニハ便ナルヘキモ効力ノ如何ハ之ヲ實驗ニ徴スルニアラサレハ容易ク斷スル

ト能ハス (Ph. C. XXXIX 90)

●「テナリン」 Tenalin

「テナリン」ハ「アレカ」ト稱スル植物ノ果實ヨリ製出シタル驅虫劑ニシ  
テヤーンズ氏ノ分取シタル亞爾嘉魯乙度「アレカイン」「アレカイヂン」  
及ヒ「グファシン」ヲ含有シ而シテ有毒ノ「アレコリン」ヲ欲ク、條虫及ヒ  
蛔虫ヲ圓滑ニ驅除スルコトヲ得ヘシ (Ph. C. XXXIX 143)

●「デキストロフォルム」 Dextroform

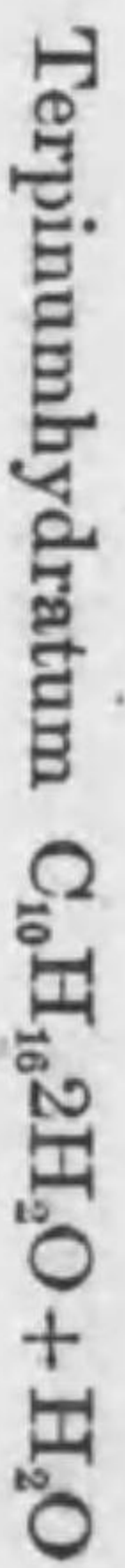
「デキストロフォルム」ハ糊精ニ「フォルムアルデヒド」ヲ作用セシメテ製シタルモノニシテ  
水ニ溶解シ「アミロフォルム」ヨリモ容易ニ分解シテ「フォルムアルデヒド」ヲ生スルモノナ  
リ内用及ヒ外用ニ適ス (Ph.C.XXXVIII36)

○テタヌスアンチトキシム Tetanusantitoxin

「テタヌスアンチトキシム」ハ伊國ボログナ府教授チツオニ一及ヒドクトル、カンタニ一兩

氏ノ製出シタル「テタマス」ノ制毒藥ナリ滅菌シタル水ニ和シ皮下ニ注射スルモノナリト云フ (XXXV, 262, 277)

○テルピンヒドラート



「テルピンヒドラート」ハ八十%ノ酒精三分「テルペンチン」油四分硝酸六分ヲウツルフ氏瓶ニ入レ時々氣泡ヲ通過セシメツ、四日間日光ニ晒シ其上層液ヲ集メ水ヲ加ヘテ析出スル處ノ結晶ヲ再ヒ酒精ヨリ結晶ヒシメテ製ス光輝アル無色ノ結晶ニシテ臭氣ナシ強硫酸ニハ無色ニ溶解セザルヘカラズレビン氏ニ由レハ氣管枝粘膜ノ分泌ヲ増進シ溶化スルニ由リテ祛痰ノ効アリ、其他大量ナラサルキハ利尿ノ効アリ病症ニ由リ〇、一乃至〇、五ヲ丸、散トシテ與フヘシ腎臟ニ病アル者ニハ一日ノ量〇、五ヲ越ユベカラス(抱水「テルピン」參看)

●「テレベン」偏里設林 Terchen-ylpenin

「テレベン」偏里設林ハ水一分偏里設林七分「テレベン」四分ノ混和液ニシテ綿帶ニ漬浸シ供用ス本品ハ用ニ臨ミテ絶ヘス振盪シ偏里設林ナシテ常ニ混濁ノ狀ニアラシムルヲ要ス化膿性ノ創傷治療ニ適ス (Ph. C. XXXVII 11854)

●「テグミン」Tegmin

「テグミン」ハ蜜蠟護膜末及水(1:2:3)ヨリナレル乳劑ニ五%ノ亞鉛華及ビ少許ノラリンヲ加ヘテ製シタル皮膚假漆ニシテ種痘ノ際之ヲ塗布スレバ皮膚ニ固着シテ制腐ノ作用ヲナシ而シテ其發育ヲ妨害スルコトナシト云フ (Ph. C. XXXIX 109)

●「テルランリ」Terralin

「テルランリ」ハドクトルアイヒホッフ氏ノ教示ニ基ツキテ製造シタル軟膏基礎藥ニシテ久ク貯藏ニ堪ヘ又普通藥物ニ逢フテ分解セス殆ント

脂肪斑ヲ止メス石鹼若クハ曹達ヲ以テセサルモ能ク洗去スルコトヲ得  
ヘシ

本品ハ燒石膏陶土「キーゼルグール」「ラノリン」偏里設林及ヒ中性ニシ  
テ消毒ノ効ヲ有スル物質ヨリ成リ黃白色ヲ有シ臭氣ハ芳香性ナリ稠度  
ハ「ラノリン」ニ同シ (Ph.C. XXXIX 184)

○デルマトール Dermatol  $C_6H_5(OH)_3CO_2Bi(OH)_2$

「デルマトール」一名鹽基性沒食子酸蒼鉛ハ「サフラン」様黄色、無臭  
ノ細粉ナリ結晶硝酸蒼鉛十五分ヲ三十分ノ氷醋酸ニ溶解シ二百乃至二  
百五十分ノ水ヲ加ヘ濾過シ攪拌シツ、五分ノ沒食子酸ヲ二百乃至二百  
五十分ノ水ニ溶シタルモノヲ加ヘ成生シタル沈澱ヲ集ムルナリハイン  
ツ、リープレヒト兩氏ハ沃度防ニ代用シ以テ創面ノ防腐術ヲ施行セリ  
(Berl. Klin. Wochenschrift 1891, 584) 然レモ其水ニ溶解セザルノ性ア

ルカ故ニ「バクテリヤ」ヲ撲滅スルノ力ハ強大ナラズ只之レヲ創面等ニ  
撒布スルトキハ自ラ乾燥シ漿液ノ分泌ヲ減少スルニ由リテ治療ヲ速カ  
ニスルノ効アルモノトス、本品ハ刺戟モナク又毒性モナシ此ノ故ニ火  
傷、エクトヰマ、諸種ノ潰瘍等ニ汎ク應用スルヲ得ベシ●クロサンチー、  
ドネットー兩氏ハ肺勞患者ノ下痢、室布斯、「マラリヤ」性下利其他諸種ノ  
下利ニ應用シテ好結果ヲ博シタリ (P. C. XXXIV, 64) ●「デルマトー  
ル」ノ應用諸製劑ハ左ノ如シ

(一) デルマール二十分滑石七十分澱粉十分(足部撒布藥)

(二) 「プロセント」「デルマトールコロジウム」乳劑

(三) 十乃至二十「プロセント」「デルマトールグリセリン」乳劑(婦人科

ニ用フ)

(四) デルマトール十乃至二十分黄色華設林八十乃至九十分

- (五) デルマトール十分ラノリン八十分華設林十分
- (六) デルマトールガーゼ(十乃至二十プロセント)
- (七) デルマトール、酸化亜鉛各二十分黄色華設林二十分
- (八) デルマトール二乃至五分亞鉛華設粉各二十四分黄色華設林五十分
- (九) デルマトール、酸化亜鉛各五分ゲラチン、グリセリン、蒸餾水各三十分 (P. C. XXXII, 436, 498)

○テラブロミン Theobromin (「チアレンチン」ヲ見ヨ)

○テトラ、エチール、アンモニウム、ヒドロロキシード

Tetraethylammoniumhydroxyd (C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>)<sub>4</sub>NOH

本品ハ尿酸ヲ溶解スルノ性アルカ故ニメテルソン氏ハ「ギヒト」ニ賞用セリ (P. C. XXXIV 22)

○テトラ、チヲ、ヂコロール、チザリチール酸

Tetrathiodichloridicalicylsäure

本品ハ撒里失兒酸ニ格魯兒化硫黃ヲ作用セシメ百四十度ニ熱メ終ニ鹽酸瓦斯ヲ發生セサルニ至リ止ムハイデン繼續者商會ノ報告ニ由レハ消毒防腐ノ効アルモノトス (P. e. XXXIII 648)

○テイン Teinum

筋肉「レウマチス」座骨神經痛等ニ皮下注射ス其量〇・〇三トス

● 爹兒アセトン Theeracetone

爹兒アセトン「ハドクトルサック氏カ爹兒溶液ノ代用品トシテ皮膚病ニ賞用スル所ノモノニシテ「アセトン」或ハ偏蘇爾百分ハ十五分ノ石炭爹兒ヨリ約六十七%ヲ溶出シ而シテ又「アセトン」七十七分偏蘇爾二十分ヨリ成レル混液ハ十分ノ爹兒ヨリ約七十二%ヲ溶出スルモノニシテ「アセトン」ハ皮膚ニ對シテ何等ノ惡作用ヲナサス (P. C. XXXVII)



807)

阿部

○アツェタール Acetalum  $\text{CH}_3\text{CH}(\text{OC}_2\text{H}_5)$

「アツェタール」ハ化學上第二ニ「ニチールアツェタール」ト稱シ或ハ「エチリ  
ーデン、ヂエチール、エーテル」トモ云ヒ亞爾箇保兒ニ褐石ト硫酸ト水  
トヲ加ヘ蒸餾シテ製ス無色透明ノ液ニシテ依的兒様ノ臭アリ味ハ少シ  
ク苦ク迷朦ノ効アリフォン、メーリング氏ハ「クロラール」ニ代ヘテ催眠  
藥トシテ用ヒタリ八乃至十五瓦ヲ護謨乳劑トシテ與フ

●「アナルグシン」Analgsin

「アンチピリン」ニ同シ

○「アノツォール」Anozol

「アノツォール」ハ沃度仿誤ニ十乃至二十%ノ知母爾ヲ混和シタルモノナリ(Ph.CXXXVIII)

495)

○アリストール Aristol  $\begin{matrix} \text{C}_6\text{H}_5\text{CH}_2\text{OJ.C}_3\text{H}_7 \\ \text{C}_6\text{H}_5\text{CH}_2\text{OJ.C}_3\text{H}_7 \end{matrix}$

「アリストール」即チ第二沃度化「ヂチモール」一名「アンニダリン」ハ亞  
爾加里性「チモール」溶液ニ沃度沃度加里液ヲ加ヘテ製スルトコロナリ  
赤褐色無臭輕疎ノ粉末ニシテ水、虞利設林ニ溶解セス亞爾箇保兒、依  
的兒ニ僅カニ溶解スアイヒホッフ氏ニ由レハ無臭無毒ニシテ沃度防ノ  
好代用品ナリトス同氏ニ由レハ外科的ニ用ユルノ外又諸種ノ皮膚病、  
乾癬、梅毒性膿潰、「ウルクス、クルリス」、狼瘡等ニ用ヒタリブフィール  
氏ニ由レハ火傷ニ軟膏トシテ用ユルニ忽チ疼痛ヲ輕減シ治癒ヲ促スノ  
効アリ、ローウェンスタイン氏ニ由レハ鼻漏、其他惡液分泌性咽頭、喉頭  
ノ疾患ニ効アリ○或ハ直チニ散布藥トシ或ハ乳糖ヲ和シテ用ヒ又ハ軟  
膏トシテ適宜ニ用ユ

## ●「アンチカンクリン」Anticanerin

「アンチカンクリン」ハエムメリヒ氏等ノ製造ニ成レル癌腫血清ニ附シタル名稱ナリ(Ph. C. XXXVI 272, 409)

- アツエタニリドニウム Acetanilidum (マンチフェブリンナ見ヨ)
- アツエチールエチールフェニールヒドドラチン (解熱薬)
- 安息酸エチール、フェニール、ヒドドラチン (解熱薬)
- アドニス、エスチプアリーヌ Adonis aestivalis (利尿薬)
- アドニス、クバニアアーナー Adonis euphratica (心臓調整薬)
- 亞撒里失兒酸 Acidum salicylosum (防腐兼利尿)
- アンチフンギン Antifungin (ヤナテリヤ特效薬)
- アチモチ子、プルサチララ (Anehone pulsatilla) (月経異常薬)
- アポシヌーム、カンナビウム根 Radix Apocynae (利尿發汗)

## 藥

## ○アレカ、カテヒユ實 Arca catechu (鷓鴣菜)

## ○アテロスベルマ、モスカーツム皮 (利尿發汗薬)

## ●「アチスチール」Anesthyl

「アチスチール」ハ五分ノ格魯兒「エチール」ト一分ノ格魯兒「メチール」トノ混和物ニシテ局處麻醉薬トシテ應用セラル (Ph. C. XXXVII204)

## ○「アグノリン」Agnolin

「アグノリン」ハ特種ノ精製毛羊脂ナルベシ (Ph. C. XXXVII806)

## ●「アヤコール」Ajakol

「アヤコール」ハ在ラテポイルハイテン社ニ於テ自製「アレンツカテヒンモノエチールエーテル」ニ附シタル署名ナリ (Ph. C. XXXVII806)

## ○アマランツース、ポリガムース Amaranthus polygamus

近時ダンガ地方ニ遠征シタルドクトル、メルワルド氏ノ報告ニ由レバ本劑ノ根ノ煎藥ハ悪性熱性ノ爲ニ誘發シタル血尿ニ効アルモノトス本品ハ既ニ千八百七十三年ニドウリー氏之ヲ研究セリ(XXXV 165)

○アブラストール Abrastol

「アブラストール」ハ「アサプロール」ト「イデンチッシュ」ニシテ酒類ノ防腐保貯劑トシテ應用ス酒類ノ後發酵ハ本品ノ一乃至二「センチ」瓦ニシテ防クベク六乃至十瓦ハ一「ヘクトリートル」ノ葡萄酒ヲ保貯スルヲ得ベシ酒類ノ中ノ「アブラストール」ハ格魯兒鐵液ヲ以テ其四萬分一ヲモ發見スルヲ得ルト云フ(Ph. C. XXXV, 179)

●「アムモノール」 Ammonol

「アムモノール」ハ「アムモノニウムフェニールアセトアシド」ニシテ解熱藥トシテ敗熱等ニ當用ス服量〇・三乃至一・〇瓦ナリ(Ph. CXXXVII 72 p. 92)

●「アセプトリン」 Aseptolin

「アセプトリン」ハエドソン氏カ皮下注射ニ用フルニ七四%ノ石炭酸及ビ〇・〇一八%ノ「ピロカルピン」溶液ニ附シタル名稱ナリ(Ph. CXXXVII 313)

○「アラプリン」 Alapurin

「アラプリン」ハ在「アレーメン」羊毛紡績所ノ製品ニシテ其實精良ニシテ且ツ粘力ニ富ミ而シテ之ニ水ヲ和セサルモ殆ント純白色ヲ呈シテ無臭ナリ(Ph. CXXXVII 382)

●「アヂバートム」 Adipatum

「アヂバートム」ハ軟膏ノ基礎藥ニシテ無水ヲノリン三十五分黄色蠟燭林五十三分白色巴拉賓七分水分五ヨリ成ル(Ph. CXXXVII 829)

●「アンチヂアベチン」 Antidiabetin

「アンチヂアベチン」ハ「サツカリン」及ビ「インニット」ノ混和ニ附シタル名稱ニシテ糖尿病患者ニ砂糖ノ代用品トシ與ヘントスルニ在リ本品ニ三種アリ一チ「七十」ニチ「十」三チ一ト

稱シテ區別ス是レ砂糖ニ對スル甘價ヲ表スル數ナリ (Ph. C. XXXVIIIS)

○「アレコリン」 Arecolin

ドクトル、ゲ、ラヴァツケナ氏ハ本藥ヲ眼ニ點シテ其作用ヲ研究セシニ其瞳孔縮少ノ効アルヲ確認セリ但シ本藥ハ速ニ奏効シ且其作用強ク且長キヲ以テ之ヲ用ユルニハ嚴密ノ注意ヲ要スト云フ

○「アンチフチシン」 Antiphthisin

「アンチフチシン」ハクレーブス氏ガ結核菌ノ「ブイロン」培養基ヨリ製シタル一種ノ「フチヂス」豫防藥ナリ則チ結核菌ノ「ブイロス」培養液ニ半「プロセント」ノ「クレソール」ヲ加ヘ濾過シ二十四時間ヲ經テ沃度那篤留母蒼鉛ノ過剰ヲ加ヘ沈降スル所ノ「トッキスアルブモーゼン」ヲ濾去シ「ゾザルブモーゼ」即チ「アンチフチシン」ヲ含有スル所ノ濾液ニ那篤倫濾液ヲ加ヘテ加温シ再ビ濾過シ此ノ濾液ニ五倍容ノ精酒ヲ加ヘ沈

降スル所ノ「アンチフチシン」ヲ〇・二%ノ「オルトクレソール」ヲ加ヘタル水ニ溶解シ製シタルモノナリ此ノ如キ製劑ハ直チニ動物試験ニ用ユルヲ得ベシ (XXXV, 179)

●「アイオヂン」 Aiodin

「アイオヂン」ハ甲状腺ニ弱亞爾加里性ノ食塩溶液(食塩七分水十分)ヲ加ヘテ抽出シタル無臭無味疎鬆ノ粉末ニシテ水ニ溶解セス水ヲ加ヘテ振盪シ一二滴ノ加里濾液ヲ點スレハ薔薇色ヲ呈シ、稀醋酸ト煮沸スレハ凝膠狀ニ變ス又濃厚ノ磷酸類ト共ニ煮沸スレハ解体シテ多クハ溶解ス、本品中ニ含有スル沃度ノ量ハ〇・三九乃至〇・四二%ニシテ「アイオヂン」一瓦ハ鮮腺十瓦ニ當ル瑞西國バーセルノホフマントラウベ氏ノ製造品ナリ (Ph. C. XXXVII 745)

●「アンチバクテリシ」 Antibacterin

「アンチバクテリン」ハ鉄ヲ含有スル所ノ「オルト」硼酸エチール化合物ニドクト、ルソハテル氏カ附シタル名稱ニシテ黄綠色ノ液体ナリ  
本品ヲ吸入スルカ或ハ之ヲ皮下ニ注射スレハ体中ニ於テ硼酸ヲ分離シテ殺菌ノ効ヲ奏スト云フ

ワハテル氏ハ之ヲ服用スルトキハ人体ヲシテ結核菌ニ對シテ免疫性タラシムルコトヲ得ヘシト言ヘリ而シテ服藥數日ヲ經ルモ顯微鏡ニ依リテ尙硼酸ノ結晶ヲ檢スルコトヲ得ヘシ (Ph. C. XXXVII 718)

○アガチン Agatin  $C_6H_5OH, CH_3N=N(CH_3)C_6H_5$

「アガチン」ハ「ザリチール、アルファー、メチールフェニール、ヒドラツォン」ニシテイストラエル、ロース氏ノ創製ナリローゼンバウム氏ニ由レハ鎮痛ノ効アリ (Deutsche Med-Zig. 1892, 569) 白色葉狀結晶ニシテ少シク綠色ノ光彩アリ臭味共ニナシ水ニ溶ケス亞爾簡保兒、依的兒ニ溶ケ

易シ熔點ハ七十四度ナリ「レウマチス」「イシアス」ニ〇、五ヲ用ユ (P.C. XXXIII, 333)

○アツェトンレゾルチン Acetonresorcin

「アツェトンレゾルチン」ハ二分子ノ「レゾルチン」ト一分子ノ「アツェトン」ト抱合シタルモノナリ桂狀ノ結晶ニシテ水、アルコール、依的兒、「コロトホルム」ニハ溶解セザレモ「アルカリ」類ニハ容易ク溶解ス未タ醫藥用タルヲ聞カズ (XXXV, 207)

○アルフェール Alpher

「アルフェール」ハ「ベトール」ト「イソメート」ノ抱合体ニシテ「ザロール」ト其製法ノ原理ヲ同フス「ザリチル」酸那篤留母ト「アルファー、ナフトール、ナトリウム」ト酸格魯兒化磷トヲ混シ百二十度乃至百三十度ニ熱シ水ニ投シテ化生シタル格魯兒那篤留ト磷酸曹達トヲ除却シ残渣ヲ酒精ヨリ結晶セシム此ノ故ニ「アルフェール」ハ化學上「アルファー、

ナフトール、ザリチル酸エステル」ト云フベシ腸中ニ達スレハ「ザロー  
ル」ト「ベトール」トニ分解シ〇、五乃至一、〇ヲ關節「レウマチス」又ハ  
淋疾ニ用ユ (Ph. C. XXXV.207)

○「アミグドフェニン」 (Amygdophenin)

ドクトル、エル、スチューヴエ氏ニヨレニ本品ハ「バラアミドフェノー  
ル」ノ誘導体ニシテ其「アミド」原子族中ノ水素原子ノ代リニ扁桃酸基  
ノ嵌入シ「ヒドロオキシール」原子族中ノ水素原子ヲ炭酸「エチール」ヲ  
以テ交換セシメタル者ニシテ其始メテ之ヲ製出シタルハヒンスベルク  
及ブリームノ兩氏ナリトス、本藥ハ灰白色ノ結晶ニシテ甚タ輕ク頗ル水  
ニ溶解シ難シ内服スレハ尿中ニ「バラアミドフェノール」誘導体現出シ  
明ニ「インドフェノール」反應ヲ呈ス、氏ハ主トシテ關節痲痺質私患者  
ニ實驗シ大ニ効アルヲ見タリト云フ又解熱藥或ハ鎮痛藥トシテ試用シ

輕快スルヲ見タリト云フ、用量ハ一、〇宛一日一回又ハ數回用キテ一日  
ノ量六、〇マテ試ミタレトモ不良ノ副作用ハ四、〇マデハ呈セシヲナシ  
トニヒリ (Chrbl. f. i. m. 1795No 45)

●「アニシデン枸橼酸 Anisidincitronensaure

「アニシデン枸橼酸」ハ「フェチチデン枸橼酸」ノ代用ニナリ (Ph.C.XXXVII829)

●亞硫酸蒼鉛 Bismutum sulfurosum

亞硫酸蒼鉛ハ中性硝酸蒼鉛ニ亞硫酸那爲保護ヲ作用セシメテ製シタルモノニシテツエザリス  
氏等ハ酸酵及ヒ腐敗ヲ防止スルノ目的ヲ以テ之ヲ胃腸症ニ實用シ又驅虫劑トシテ推薦セリ

(Ph.C.XXXV672)

○「アノヂン」

本品ハ眼麻睡藥ニシテ其使用ハ四%ノ液ニ於テスマシト治療通報中ニ見エタリ然レモ本品  
ノ組成ハ末々之ヲ知ルニ由ナシ (Pharm. Cent. f. Deut. 1894)

## ●「アクトール」 Actol

クレデー氏嘗テ米國ニ遊ヒジョンズホブキンス病院ニ於テドクトルハルステット氏ノ銀箔療法ヲ實驗シ歸后助手バイエル氏ト共ニ研究ヲ企テ謂ラク銀ノ能ク其効ヲ奏スル所以ノモノハ分裂菌ノ新陳代謝成績物タル乳酸ト化合シテ乳酸銀ヲ生成スルニ由ルベシトテ在ラीडポイルハイデン社ヲシテ之ヲ製造セシメテ細菌學的實驗ヲ施行シタリシニ千倍ノ水溶液ハ五分時ニシテ分裂菌ヲ撲滅シ五万倍ノ水溶液中若クハ血清中ニ於テハ十万倍ノ溶液モ尙其生育ヲ阻害スルノ作用アリ稱シテ「アクトール」ト云フ

本品ハ注射用トナシ若クハ含嗽藥又ハ洗滌料トナスニ適ス之ヲ注射スルトキハ局部ニ稍々燒クカ如キ感ヲ覺ユルモ豫メ古加乙涅ヲ注射スルトキハ之ヲ避クルコトヲ得ベシ而シテ何等ノ惡作用アルヲ認メズ亞爾

加里性創傷液等ニ逢フモ昇汞ノ如ク不溶性ノ化合物ヲ生スルコトナシ本品ハ日光ニ感シ易ク且ツ容易ニ集團シ且ツ水ニ易溶性ナルカ故ニ散布藥トナスコト能ハス又粘膜ヲ刺戟スルノ性アリ「イトロール」ハ能ク此缺點ヲ補フコトヲ得ハシ (Ph. C. XXXVII 157)

## ○「アチピラニン」

該藥 Annali di Chim. e di farm. ノ報スル所ニ從ヘメ眼科學上ノ目的ニ用ユル過硼酸那篇留母ナリト云フ (Pham, Centlb. f. Deutsch No 39 1894)

## ●「アンチジファイリス、ゼールム」 Antisypphilis-Serum

「アンチジファイリスゼールム」ハ在龍動パールラッフス、ウエルカム社ノ發賣品ニシテヒヒエット及ヒヘリコールト氏ノ法ニ基ツキテ調製シタル皮下注射藥タリ

凡動物ハ梅毒ニ對シテ免病性ナルヲ以テ人体ニ注射スルニ動物ノ血液

ヲ以テセハ梅毒ヲ療シ得ヘシトノ臆説ヲ立テテ之ヲ實驗シタルモノアリシカ余ハ其効アルヲ認メサリキ后ペルリツフリー及ヒボナヂウス氏ハ梅毒ヲ遺傳セル生兒若クハ第二、第三期梅毒ニ惱ム所ノ動物ノ血清ヲ採リテ注射ヲ行ヒタリシカ前記ニ氏ハ第二、第三期梅毒患者ノ血ヲ一旦動物ニ注射シ更ニ其動物ノ血ヲ採リテ之ヲ人体ニ注射シ良効ヲ得タリト云フ (Ph. C. XXXVII 789)

○「アミノール」 Aminol

「アミノール」ハ「アミン」ニ石灰ヲ作用セシメテ得タル瓦斯ノ水溶液ニシテ不快ノ臭氣ヲ有シ反應ハ亞爾加里性ナリ防腐及ヒ防臭ノ作用ヲ有ス (Ph. C. XXX VI 357)

○「アンチノシン」 Antinosin

「アンチノシン」ハ「ノソフェーン」(「テトラヨードフェノール」ヲタレーンヒ)ノ那篤假讓ニシテ水ニハ藍色ヲ呈シテ溶解ス (Ph. C. XXXVI 357)

○「アルファ、クレオソート」 Aepha-Kreosot

「アルファ、クレオソート」ハ普通ノ「クレオソート」ニ二十五%ノ結晶「クアヤコール」ヲ加ヘタルモノナリ (Ph. C. XXXVI 113)

○安知必林 Antipyrinum

安知必林ハ一千八百八十四年クノル氏ノ發明ナリ近世發明ノ新藥中最モ廣ク用ヒラル、所ノ者トス「アナルゲシン」「アノヂニン」「パロヂン」「セダチン」「メトキシシン」「フェニール」等ハ皆其別名ナリ化學上第二「メチール、フェニール」ビラツォーロント稱シ百二十五分ノ「アツェト」醋酸依的兒ニ百分ノ「フェニール」ヒドラチンヲ和シ二時間百度ニ熱シ其尙ホ熔融スルモノヲ少許ノ依的兒中ニ傾注シ析出スル結晶ヲ沃度「メチール」ト「メチール」アルコホールノ同量ニ和シ熔閉管中ニ百度ニ熱シ製ス○無色板狀ノ結晶ニ感スヘキ臭氣ナク緩和ノ苦味アリ極メテ水



ニ溶ケ易シ其他酒精、依的兒、嚼囉叻ニ溶解ス水液ハ鞣酸ニ逢フテ多量ノ白色沈澱ヲ生シ又稀薄ノ水性液少許ニ發烟硝酸ヲ滴加スルキハ綠色ヲ呈シ熱ノ更ニ滴加スルキハ赤色ニ變ス或ハ水液ニ一半コロール鍍液ヲ加フレハ深紅色ヲ發ス○安知必林ハ輒近ノ解熱藥中其副作用僅微ナルニ由リテ最モ賞用スヘキモノニ屬シ急性關節痲質斯、室扶斯、丹毒痘瘡、猩紅熱、子宮炎、肺炎、心臟內膜炎、產褥熱、肺勞等ニ解熱藥トシテ卓効ヲ奏スフイレー子氏ハ解熱ノ卓効アルニ由リ解熱ノ義ニトリテ「アンチピリン」ト命シタルナリ其解熱時間ハ七乃至九時其顯著ナルニ至リテハ十八乃至二十時間ニ涉ルコトアリ最初一、○ヲ投シ而シテ五乃至六時間ヲ經ル毎ニ二、○ヲ投スルキハ解熱ノ効確實ナリ、体温ノ再ヒ昇騰スルヤ徐々ニシテ且戰慄ヲ伴ハサルヲ以テ諸多ノ解熱藥例ハ「カイリン」「タルリン」ニ優リ又耳鳴等ナキヲ以テ規尼涅、サリチル酸ニ勝ル

トコロアリトス然レモ本品ハ間歇熱ニハ効ナシ○ミユルレル氏ニ由レハ健康人ニ一、○ヲ服セシムルモ体温ニ變化ナシ安知必林ノ特異ナル副作用トモ言フヘキハ嘔吐殊ニ女子ニ於テ多ク見ルコト是レナリ○安知必林ハ其解熱作用ノ外ニ尙鎮痛ノ作用アリ疼痛ヲ兼ヌル神經諸症神經痛、偏頭痛、痛風痲質斯等ニ○、五乃至一、○ツ、一日數回投藥スベシ○皮下注射ニハ「プロセント」液ヲ用ヒ、嘔吐ヲ避ケンカ爲メニ洗腸セント欲セハ一、○、○ヲ水百五十瓦ニ溶シ其二食匙ヲ水二百瓦ニ稀薄シテ毎時洗注スヘシアレキサンデル氏法是レナリ小兒ニハ○、六以上ヲ與フヘカラス大人ニハ五乃至六瓦ヲ分三包トシテ毎二時ニ服セシムヘシ皮下注射ニハ二、○ヲ一、○ノ水ニ溶シ用ユ

ガサウロー氏ハ眼病ニ發スル眼痛及頭痛ニ一、○ヲ頓服セシメテ良効ヲ博シアルドル氏ハ慢性角膜滲潤ニ用ヒエドムンド氏ハ角膜翳ニ

甘汞ノ如ク用ヒカザチー氏ハ四乃至五%液ヲ止血藥トシテ用ヒ麥角ニ優ルヲ稱揚シオリクホー氏ハ咯血患者ニ「プロセント」液ヲ頻回吸入セシメヘノツク及ヒフシャー氏ハ外科的ニ散布藥トシテ用ヒローゼー氏ハ遲鈍性潰瘍ニ外用シゾンチンベルゲル氏ハ痙咳ニ用ヒラーゲット、スタインタール、クエイレル等ノ諸氏ハ陳痛ノ持續スルモノニ二、〇ツ、二回浣腸シテ疼痛ノ消散ニ用ヒ其他グランリン、クワイレル兩氏モ陳痛ニ皮下注射シ多田醫學士ハ輕症乃至中等症ノ脚氣ノ初期ニ用ヒテ孰レモ良効ヲ博シタリト云フ

●安知歇貌林

Antifebrinum  $C_6H_7NH(CH_2CO)$

安知歇貌林即チ「アツェタアニリード」ハ純粹「アニリン」ニ氷醋酸ヲ加ヘ熱シテ製シタル無色無臭葉狀ノ結晶ナリ中性ノ反應ヲ有シ味ハ僅カニ辛辣ナリ大約百分ノ冷水十八分ノ熱湯及ヒ三、五分ノ酒精ニ溶解ス

加里洶液ト熱スレハ芳香瓦斯ヲ發シ一二滴ノ嚼嚙防ヲ加ヘ再ヒ熱スレハ嫌フヘキ「イツニトリール」臭氣ヲ聞クヘシ本品ノ〇、一ヲ一立方仙米ノ鹽酸ニ和シ暫時加温シ其透明液ニ二立方仙米ノ石炭酸ヲ加ヘ格魯兒加爾基ニテ暗赤色ニ溷濁セシメ然ル後チ安母尼亞水ニテ飽和スルルハ藍色ヲ呈スベシ

○安知歇貌林ハ其醫効頗ル安知必林ニ類シ管ニ解熱藥關節痲質斯藥タルノミナラス神經痛ニ用ヒテ安知必林ヨリモ其奏効確實ナルカ如シ殊ニ安知必林ニ優ルノ點ハ(一)無味ナルヲ(二)廉價ナルヲ(三)少量ニシテ効ヲ見ルヲ(四)嘔吐ヲ發サ、ルヲ(五)發疹ヲ呈スル少ナキヲ是ナリ然レモ其安知必林ニ及ハサル所ハ(一)免熱時間長カラサルヲ(二)温度再昇ノ時屢戰慄ヲ見ルヲ(三)往々蒼身症ヲ見ルヲ是レナリ  
○解熱藥トシテ窒扶斯、肺炎、急性關節痲質斯、丹毒、助膜炎、產褥熱、

肺勞等ニ用ユ而ノ其之レヲ用ユルヤ用量ニ最モ注意スヘシ窒扶斯ニハ  
○、一ヲ以テ始メ漸々○、二五ニ増量スヘシ(極量○、五)時トシテ非常  
ニ虚脱ヲ來タスコアリケスト氏ハ小兒ニ毎二時○、二五ヲ與ヘ虚脱ニ  
陷ラシメ終ニ救フコ能ハサリシナリ

其他鎮痛藥トシテ諸部ノ筋痛或ハ神經痛ニ用ユヘシグットマン氏ハ  
日ノ最大量ヲ三、〇トシ一回ノ最小量ヲ〇、五トシテ處方セリ○極量  
一回○、五一日四、〇トス

●「アドヘソール」 Adhasol

「アドヘソール」ハ「ステレソール」ノ代用藥ニシテ三百五十分ノ「コメール」樹脂、三十分ノ安  
息香、三十分ノ「トルバルサム」、二十分ノ「チミアン」油、三十分ノ「アルファナアトール」及ヒ  
千分ノ依的兒ヨリ成レルモノナリ(Ph. C. XXXVI 557)

●「アセトラクタ」 Acetrakta

醋酸ヲ用ヒテ浸出シタル粉末狀越幾斯ノ總稱ナリ

●「アルファグアヤコール」 Alpha-Guajakol

「アルファグアヤコール」ハ人工ニ依リテ集造シタル結晶性ノ「グアヤコール」ニシテ普通品ニ  
區別センカ爲ニ製造者カ特ニ命シタル名ナリ(Ph. C. XXXVI 11)

●「アンチヂスベブチウム」 Anti-Dyspepticum

「アンチヂスベブチウム」ハウエルトシツキー氏カ船疊ニ賞用ナル新藥ニシテ酒石酸ノ重炭  
酸曹達複鹽ニ麻痺涅矢亞、確砂及ヒ規尼涅ヲ添加シテ製シタルモノナリ(Ph. C. XXXV 307)

○「アンチセブシン」 Antiseptin

「アンチセブシン」ハ「アンチフェブリン」ノ親離母交換体ニシテ「アンチフェブリン」ノ如ク  
解熱及ヒ鎮痛作用アリ制腐力ハ之レヨリ強シ内服ニハ〇、〇二乃至〇、〇五ヲ散藥トシテ用  
ヒ又痔病ニ坐藥トス

●「アンチバチルラーレ」 Anti-Bacillare

「アンチバチルラール」ハ「フチシス」ニ對スル新藥ニシテプロフェツソル、ガラファー氏ノ考案ニ出ツ本品中ニハ「クレオソート」、「トルバルサム」、偏里設林、古埤乙涅及ヒ亞砒酸那篤留誤ヲ含有ス (Ph. C. XXXVI 92)

●「アンチテトライチン」Antitetrizin

「アンチテトライチン」ハ一種ノ規那誘導体ニシテツアンベレッチー氏カ「ロイマチス」神經痛「インフルエンザ」等ニ賞用スル新藥ナリ用量ハ一回〇・二乃至〇・二五一日〇・七五乃至一、五ナリ (Ph. C. XXXV 672)

●「アポリシン」Apolisin

「アポリシン」ハ拘櫛酸ト「バラフェチチデン」トノ化合物ニシテ帶黃白色結晶様ノ粉狀ヲナシ稍々酸味ヲ有ス冷水五十分ニ、熱湯廿五分ニ溶解シ亞爾個保爾、偏里設林、硫強酸及ヒ硝酸等ニハ容易ニ溶解ス、熔融點ハ七十度ナリ、チンキー及ヒヤウオルスキー氏ノ實驗ニ據レハ本品

ハ解熱及ヒ麻痺ノ二作用ヲ有シテ毒性ナシ普通用量〇・五乃至一瓦ナリ本品ハ蓋シ「チトロフェーン」ト同一物ナルヘシ (Ph. C. XXXVI 510)

●「アンチストレプトコクシン」Antistreptococcin

「アンチストレプトコクシン」ハマルモレック氏ノ丹毒解毒劑ニシテ同氏ノ實見ニ依レハ多數ノ重症患者ニ用ヒテ靈驗アリト云フ (Ph. C. XXXVI 451)

○アンチチルヴィン Antinervin

「アンチチルヴィン」ハ其組成ニ就テ學者間ニ二ノ異說アリシモ竟ニリステル氏ノ試驗ニ由テ確定セリ (Pharm. Ztg. 1891, Nr. 50, S. 393) 該試驗ニ由レバ「アンチチルヴィン」ハ化學上「ザリチール、ブローム、アニリド」ト稱シ二十五分ノ貌魯母「アンモニウム」ト二十五分ノ「ザリチール」酸ト五十分ノ「アツェタアニリド」トヨリ成リ  $C_6H_4 \begin{matrix} Br \\ \vee \\ NH_2 \end{matrix} CO_2$   $C_6H_4OH$ ノ構造ヲ有ス費府ノブラットフォート氏ハ曾テ本品ニ「ザルブ

ロマリード」ノ名ヲ命シタリ、白色酸味ノ粉末ニシテ冷水ニハ僅カニ溶解シ熱湯、酒精、依的兒ニ溶解ス解熱鎮痛ノ二作用アリ小兒ニハ〇、一〇、二大人ニハ〇、五〇、八ヲ用ユ(P. C. XXXII, 425. XXXIV, 430)

●「アイトチリン」Eitnerin

「アイトチリン」ハ製革所ニ於テ卵黄ノ代用品トシテ使用スルモノニシテ之ヲ以テ處理シタル獸皮ハ卵黄ヲ以テセルモノヨリ光澤アリテ且ツ柔軟ナリ(P. C. XXXV, 550)

●「アンチバラシチン」Antiparasitin

「アンチバラシチン」ハ在伯林エスクラップ藥局發賣ノ疥癬、頭疹、泡狀皮膚疹、癩及ヒ諸種ノ寄生虫ニ對スル有効藥ナリ製法未詳(P. C. XXXV 657)

○亞沃度化アンチピリン Antipyrinjodür

フランクフルト府デュロイ氏ノ「パテント」品ニシテ化學新聞ノ報スル

所ニ由レハ「アトーム」ノ沃度ヲ十二分ノ九十%酒精ニ溶解シ又別ニ「モレギュール」ノ「アンチピリン」ヲ四分ノ酒精ニ溶解シ此ノ兩液ヲ温ニ乘シテ和合シ結晶セシムルモノトス本品ハ恐クハ前ニ論シタル沃度「アンチピリン」ニ同ク防腐解熱ノ効アルベシ(P. C. XXXIII, 383)

○アンチスバスミン Antispasmin

「アンチスバスミン」ハ一分子ノ「ナルセイン、ナトリウム」ト三分子ノ「ザリチール酸ナトリウム」トノ抱合体ニシテ白色潮解性ノ結晶粉末ナリ水ニハ微ニ黄色ヲ呈メ溶解ス「アルカリ」性反應ヲ有スデンメ氏ノ試驗ニ由レハ卓越ナル催眠兼鎮痛藥ナリトス殊ニ小兒科ニ適ス化學上ノ性質ハ中央藥學雜誌(四ノ一七三)メルク氏ノ報告ニ就テ見ルベシ

○アンチヂセンテリクーム Antidysentericum

本品ハ急性慢性下痢及ヒ赤痢ノ新特效藥トシテラーゲマン氏ノ製出シ

タルモノナリ一種ノ丸劑ニシテ純「ベルレチイリー」〇、「ミロバラノ  
ルーム、インヂコローム」七、五柘榴根皮越幾斯一、五薔薇越幾斯一、五  
亞刺比亞護謨〇、五七瓦ヲ以テ製シタルモノトス (P. C. XXXIV, 568,  
597)

○「アルゴニン」 Argonin

「アルゴニン」ハ銀ト乾酪及ヒ亞爾加里トノ新化合物ニシテ乾酪ノ那篤  
榴謨化合物ノ溶液ニ硝酸銀ヲ作用セシメ亞爾個保爾ヲ加ヘテ沈降セシ  
メタル白色微細ノ紛末ナリ  
本品ハ冷水ニハ困難ニ熱湯ニハ容易ニ溶解シ其溶液ハ日光ニ感シ易シ  
而シテ其中ニ含メル銀ハ普通試藥ニ由リテ証スルコト能ハス食鹽ヲ以  
テスルモ沈澱セス酸類ニ逢ヒテ分解ス暗色燻中ニ貯フヘシ  
ヤダッソン及ヒマイエル氏ノ實驗ニ據レハ本品ハ硝酸銀ノ如キ殺菌力

ヲ有シ而シテ毫モ腐蝕性ナシト云フマイステル、ルチウス及ヒブリウ  
ニシテ色素會社ノ製造ニ係ル (Ph. C. XXXVI 358)

○アンチヂフテリン Antidiphtherin

「アンチヂフテリン」ハ教授クレブス氏ガ「ヂフテリヤバチルス」培養液  
ヨリ製シタル液ニシテコッホ氏ノ「トュベルクリル」ニ類シタルモノナ  
リ該液ハ能ク「ヂフテリヤバチルス」ヲ撲滅スルノ力アリテクレーブ  
ス氏カ「ヂフテリヤ」患者ニ施シタル試験ニ由レハ二十四乃至四十八時  
間内ニ義膜ヲ溶崩セシムルノ効アルモノトス (P. C. XXXV, 568)

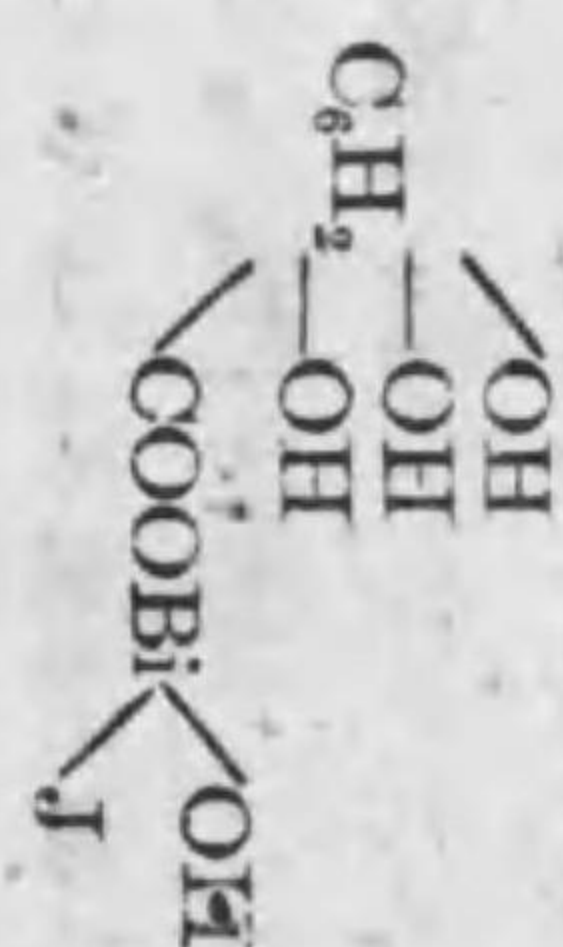
●「アルゲンタミン」 Argentamin

「アルゲンタミン」ハ蛋白質ヲ沈澱セシムルコトナキ防腐藥ニシテ「エ  
チレインヂアミン」ヲ水ニ溶解シ磷酸銀ヲ加ヘテ製シタルシエーリン  
ク商社ノ專賣品ナリドクトル、シッフェル氏ハ大學教授ナイセル氏ノ下

ニ於テ精密ナル試験ヲ行ヒ頗ル満足ノ成績ヲ得タリ本品ハ隨意ニ水ヲ以テ稀釋スルコトヲ得ヘク特ニ淋疾ニハ從來慣用シ來レル硝酸銀液ノ代ニ用ヒテ大利アリトス

本品ハ防腐性ノ外又粘液ヲ溶解スル作用ヲ有シ且ツ食鹽ニ逢フモ沈澱セス是レ淋疾ニ用ヒテ利アル所以ナリ (Spohr. Zty 1894, 211)

●「アイロール」 Airool



「アイロール」ハルデー氏ノ考案ニ基ツキホフマン氏ノ製造シタルモノニシテ灰綠色容大ノ細粉ヲナシ臭味共ニ無ク且ツ日光ニ觸レテ變化セ

ス然レトモ濕潤シタル空氣中ニ露置スレハ漸ク變シテ赤色ノ粉末トナリ沃度含量ノ少キ鹽基性化合物ト成ル、普通溶解藥ニ溶解セサレトモ那篤倫滷液ニハ容易ク溶解シ空氣中ノ酸素ヲ攝取シテ速ニ赤變ス又多量ノ水ヲ以テ之ヲ處理スレハ漸次ニ前記ノ赤色粉末ニ化ス熱湯ヲ以テスレハ更ニ速ナリ

本品ハ少量ノ水及ヒ偲里設林ヲ加フレハ乳劑トナリ久シキヲ經ルモ變色セス、桐々阿酪ト研和スルモ變色スルコトナシ

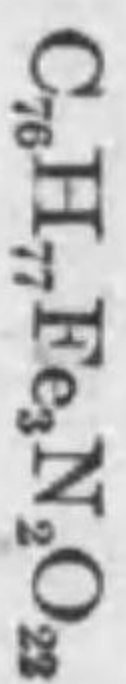
本品ハ下腿潰瘍ニ散布シテ甚タ好績アリ又火傷、會陰破裂、挫傷、軟性下疳等ニ應用シテ良果アリ (Ph. C. XXXVI 46)

○アンチトキシシン Antioxin

「アンチトキシシン」ハ滅殺シタル窒扶斯培養液ノ名ニシテ筋下ニ注射スル片ハ窒扶斯ヲ治癒スルノ効アルモノトス胸腺ノ滅殺「ブイロン」ニ窒

扶斯「バチルス」培養液ヲ種植シ十分ニ發育シタル後七十二時間、卅六乃至三十七度ニ熱シテ更ニ六十三度ニ高熱シテ其發育力ヲ撲滅シタルモノトス (P. C. XXXIV, 662)

●「アルギノイド鐵」 Alginoid Eisen



スタンフォールド氏ハ「アルギン」酸ノ二三不溶解性金屬鹽ヲ製シテ新ニ之ヲ醫藥ニ供用セリ「アルギノイド鐵」ハ即チ其一ニシテ「アルギン」酸那篤留膜ノ溶液ニ格魯兒鐵ノ溶液ヲ加ヘテ沈降セシメタル「アルギン」酸鐵ニ外ナラス本品ハ全ク無味ノ褐色粉末ニシテ收斂性ナキノミナラス却リテ輕キ通痢作用ヲ有シ一〇・九七%ノ鐵ヲ含有スルカ故ニ爾他ノ鐵製劑ニ堪フル能ハサルモノニ用フルニ適ス本品ハ安母尼亞ニ溶解ス之ヲ蒸發スレハ水ニ溶解セサルニ至ル用量ハ〇、一五乃至一、〇瓦ナ

リ (Ph. C. XXXIX 620)

●「アルギノイド」麻偏涅叟謨 Alginoid-magnesium



「アルギノイド」麻偏涅叟謨ハ「アルギン」酸ヲ炭酸麻偏涅叟謨ニ作用セシメテ得タルモノニシテ水ニ溶解ス四、二%ノ麻偏涅叟謨ヲ含ミ四十%ノ水溶液ハ良好ナル粘漿藥トシテ應用セラル (Ph. C. XXXIX 620)

●「アルギノイド」亞酸化水銀 Alginoid-Quecksilberoxydul

「アルギノイド」亞酸化水銀ハ灰色ヲ有シ安母尼亞ニ逢フテ黑變ス硝酸亞酸化汞ニ「アルギン」酸那篤留膜ヲ作用セシメテ製ス水銀ノ含量ハ三十三%ナリ (Ph. C. XXXIX 621)

●「アルギノイド」酸化水銀 Alginoid-Quecksilberoxygd

「アルギノイド」酸化水銀ハ格魯兒汞ヲ「アルギン」酸ニ作用セシムルノ方法ニ據リテ沈降セシムルコト能ハス是レ「アルギン」酸ノ「アルプシ



ン」ト異ナル所ナリ本品ハ硝酸々化汞ニ「アルギン」酸ヲ作用セシメテ製シタル帶白灰色ノ粉末ニシテ安母尼亞水ニ溶解シ其溶液ハ鋼鐵製ノ器具ヲ腐蝕セサルヲ以テ用ヒテ消毒スルニ宜シ (Ph. C. XXXIX 621)

●「アルギノイド」蒼鉛 Alginoïd-Wisnutt

「アルギノイド」蒼鉛ハ黄色ノ粉末ニシテ三十二%ノ蒼鉛ヲ含有シ安母尼亞性溶液ヲ蒸發スルモ澄明ニシテ變テク且ツ之ヲ水ト混和スルコトヲ得ベシ

本品ハ硝酸蒼鉛ニ「アルギン」酸ヲ加シテ作用セシメテ製シタルモノナリ (Ph. C. XXXIX 621)

●「アルギノイド」莫兒比涅 Alginoïd-morphin

「アルギン」酸ハ諸亞爾嘉魯乙度ト化合シテ水ニ溶解性ノ鹽ヲ生ス「アルギノイド」莫兒比涅ハ則チ其一ニシテ三十五%ノ亞爾嘉魯乙度ヲ含有ス (Ph. C. XXXIX 620)

●「アルギノイド」斯篤利幾尼涅 Alginoïd-Strychnin

「アルギノイド」斯篤利幾尼涅ハ五十%ノ亞爾嘉魯乙度ヲ含有スルモノナリ (Ph. C. XXXIX 621)

●「アルギノイド」安知門 Alginoïd-Antimon

「アルギノイド」安知門ハ「アルギン」酸ヲ加シテ格魯兒安知門ヲ作用セシメテ得タル白色ノ粉末ニシテ四、五%ノ安知門ヲ含有ス其安母尼亞性溶液ヲ蒸發スルモ尙清存シテ變化ナシ (Ph. C. XXXIX 620)

●「アルギノイド」砒素 Alginoïd-Arsenik

「アルギノイド」砒素ハ「アルギン」酸ヲ加シテ格魯兒砒素ヲ作用セシメテ製シタルモノニシテ其水溶液ハ「ホーレル」水ノ代用トナスヲ得ベシ (Ph. C. XXXIX 626)

○アンチレウマチニーム Antirheumatinum

カナム氏ハ撒里失兒酸那篤留母ト「メチーレンブラウ」トノ抱合物ニ「アンチレウマチニーム」ノ名ヲ命シタリ (Apoth.-Ztg 1893, 597) 晴青

色柱狀結晶ニシテ水酒精ニ溶ケ易シ味ハ搔クガ如クニシテ撒里失兒酸ニ似タリフイッシュェル氏ハ〇、六乃至一、〇ヲ丸劑トシテ二乃至三時毎ニ用ヒタリ服後ノ尿ハ青色ニシテ後綠色トナリ時トシテハ既ニ綠色トナリテ排尿スルコアリ (Ph. C. XXXIV, 754)

●「アニリピリン」 Anilipyrin

「アニリピリン」ハギルベルト及ヒイフォン氏ノ製造ニ係リ安知歇貌林一分ト安知必林二分トヲ熔合シテ得タルモノニシテ水ニハ頗ル溶解シ易ク毒性少ナシ解熱ノ効ハ安知歇貌林ヨリハ弱ク安知必林ヨリハ強シ殊ニ流行性感胃、關節炎、偏頭痛、神經痛等ニ宜シ服量ハ一回〇、五一日ニ、〇ナリ (Ph. C. XXXVIII 501)

又曰「アニリピリン」ハ安知必林ト安知歇貌林トノ化合物ニシテギルベルト及ヒイフォン氏ハ其化學的性質及ヒ治療的用法ニ關シ研究ノ結果

之ヲ二種ニ區別シ一ヲ「アルファアニリピリン」ト稱シ他ヲ「ベタアニリピリン」ト云フ甲ハ安知必林一分子ヲ含有シ五十乃至五十五度ニ於テ軟化シ七十五度ニ於テ熔融ス乙ハ其二分子ヲ含有シ七十五乃至八十度ニテ軟化シタル後百度ニ於テ熔融ス (Ph. C. XXXIX 242)

●「アルファオイカイン」 Alpha-Eucain

「アルファオイカイン」ハ在伯林シェーリング株式會社カ其製品タル「ア」印鹽酸オイカイン」即チ「ベンツォイル、メチール、テトラ、メチール、バラオキシ、ビベリチン、カルボン酸メチールエステル」ノ鹽酸鹽ニ附シタル名稱ナリ (Ph. C. XXXIX 552)

●「アマロール」 Amarol

「アマロール」ハ「インゲストール」ノ別名ナリ

○「アスピドスペルミン」 Aspidosperminum

「アスピドスベルマ、クエブラヒーロ」皮ヨリ製シタル「アルカロイド」ナ  
リ無色針狀ノ結晶ニシテ酒精等ニ溶解シ易シ本品ハ呼吸困難ニ用ユ其  
効ハ「クエブラヒン」ニ若カズ一回ノ量〇、〇〇一乃至〇、〇〇二トス藥  
用ニハ鹽酸「アスピルドスベルミン」ヲ用ユ

○「アピラニン」Apyonin

黄色結晶性亞尼林色素ナリ「ピチクタンニン」ノ如ク眼科治療術ニ施用スルモノトス然レ未ダ精  
檢ヲ經ズ(P. C. XXXII, 287)

●「アイロフォルム」Airoform

「アマロフォルム」ハ「アイロール」ノ別名ナリ

●「アセトナール」Acetnal

「アセトナール」 醋酸亞爾密紐誤那爲價誤ニ外ナラス

●「アセルトンコロヂウム」Acetoncollodium

「フィルモーゲン」ト同物ナリ

●「アチシン」Anasin

「アチシン」ハ「アツェトククロフォルム」二分ヲ水百分中ニ混攪シテ製  
シタル一種ノ局處麻醉藥ニシテ其効力ハ二乃至二、五%ノ古加乙涅液  
ニ匹敵ス (Ph. C. XXXVIII 372) 又曰ク「アチシン」ハ「ホフマン、ラ、  
ローシユ社」ニ於テ製造シタル化學的純粹ノ「アセトククロ、フォルム」ノ  
濃厚液ナリ (Ph. C. XXXOIII 458)

○「アミーレンヒドラーテ」Amylenhydrat C<sub>2</sub>H<sub>12</sub>O

無色透明中性揮發性ノ液ニシテ特異ノ臭氣ト灼クカ如キ味トアリ酒精  
依的兒等ニ溶ケ易ク水ノ八分ニ溶解スフォン、メーリング氏ハ催眠藥ト  
シテ用ヒタリ其効力ハ「クロラールヒドラーテ」ノ如ク強カラス又「バ  
ラアルデヒード」ノ如ク弱カラサルモノトス若シ痛疼アルカ爲ニ眠ラ

レサル者ニハ莫爾比涅ニ伍スヘシ不快ノ副作用ハ稀レニアルノミウイ  
ルデルムート氏ハ癩癩ニ賞用セリ極量ハ一回四、〇一日八、〇ニシテ通  
常三、乃至四、〇ヲ水ニ溶シ麥酒ニ和シテ與フ

○亞鉛膠 Zinkleim

トロエトレル氏ハウシナ氏ノ報告ニ由リ濃厚ノ亞鉛膠ヲ製シ脫脂綿其他防腐織帶品ノ固定ニ  
用ヒタリ亞鉛膠ハ酸化亞鉛十分「ゲラチン」三十分「クリセリン」三十分水三十分ヨリ成ルモ  
ノトス (Med-Chirurg. Rundsch. 1891, 334)

●「アミロヨードフォルム」 Amylojodoforn

「アミロヨードフォルム」ハ澱粉沃度及ビ「フォルムアルデヒド」ヨリ成レル黒藍色ノ化合物  
ナリ (Ph. C. XXXVIII 36)

●「アルゲンツール」 Argentol



「アルゲンツール」ハ「オキシヒノリン」ノ銀化合物ニシテ防腐ノ効アリ軟膏トシテ梅毒等ニ  
應用ス在ハンブルヒフリチエ商會ノ發賣ニ係ル (Ph. C. XXXVIII 102)

○亞尼林フツクシン Anilin-Fuchsin

一千八百七十六年ニフェルツ、リッテル兩氏ハ「フツクシン」ノ亞爾箇保  
兒溶液ヲ服用シテ決シテ其害ナキニアラサルヲ經驗シタルニモ拘ハ  
ラスエー、ボンペロン氏ハ自家經驗ニ由リ終ニ一八センチ瓦ノ「フク  
シン」ヲ試験管中ニ少許ノ亞爾箇保兒ニ溶解シ六立方仙米ノ亞尼林ト  
三立方仙米ノ溶性石炭酸ヲ加ヘ温メテ亞爾箇保兒ヲ去リ其〇、一立方  
仙米ハ二ミリ瓦ノ「フツクシン」六センチ瓦ノ亞尼林三センチ瓦ノ石炭  
酸ヲ含ムカ如クナラシメ其一立方仙米ニ二立方仙米ノ虞利設林ヲ加ヘ  
テ之レヲ結核患者ニ皮下注射シタリキ然レモ此ノ試験ハ尙未タ精確ニ  
至ラズ (P. C. XXXII, 555)

## ●「アミノフォルム」 Aminoforn

「アシノフォルム」ハプロフェツソルニコライエル氏ノ所謂「ウロトロピン」ニシテ「ヘキサメチレントラミン」ニ外ナラス  
 本品ハ在スルツバツハドクトルレーデル氏ノ製造所ノ發賣ニ係レル  
 無臭微細ノ結晶粉末ニシテ水ニハ容易ニ酒精ニハ困難ニ溶解シ初メハ  
 甘ク后稍苦味ヲ覺フ亞爾加里ニ逢ヒテ變化セサレトモ稀鹽酸類ト共ニ  
 熱スレハ分解シテ「フォルムアルデヒド」ヲ發生スドクトルワルテル  
 氏ハ之ヲ痛風ノ豫防藥トシテ毎朝一乃至二瓦ヲ半「リートル」ノ井水ニ  
 溶解シ珈琲ト共ニ服用セシム (Ph. C. XXXIX 183)

## ●「アルソール」 Alsol

「アルソール」ハアテインステット及ヒレーデケル兩氏カ其製造所ニ於  
 テ造レル醋酸酒石酸亞爾密紐謨ニ命シタル名ニシテ譽士二十三、六七

%又ハ二十五、三五%醋酸三十、七七%又ハ二十七、八三%無水酒石酸  
 二十七、一七又ハ二十七、七八%水十八、一八又ハ十八、八一ヲ含有ス、  
 水ニ溶解シテ酸性ヲ微シ加熱スルモ變化ナシ

本品ハ格魯兒酸加留謨、石炭酸及ヒ昇汞ノ代用品ニシテ無毒ナリ通常  
 ○、五乃至一%ノ溶液トナシ尙純偏里設林又ハ砂糖ヲ添加シテ含嗽料  
 トナス而シテ前記製造所ニ於テハ便宜上五十%ノ溶液トナシテ販賣ス  
 (Ph. C. XXXIII 430. XXXVII 860. XXXVII 26 90)

## ○「アドニジン」 Adonidin

ツエルヴェロ氏ガ「アドニス、ゲエルナリス」中ニ發見シタル糖原質ニシテ無色無形非常ニ苦  
 味ノ物質ナリ効用ハ「ゲキダリス」ニ同シ

## ○「アドニン」 Adonin

「アドニン」ハ「アドニス、ウエルナリス」中ニ「アドニジン」ヲ發見スルノ際ニ田原長純氏

ガ發見シタル「グリコシード」ニシテ  $C_{24}H_{40}O_9$  ノ構成チナセリ効用ハ「アドニチン」ノ如クナ  
レド、稍弱性ナリト云フ (Ber. d. D. chem. Ges. XXIV, 2579)

○アニス酸 Acidum anisicum

アニス實ヨリ製スル無色針狀ノ結晶ナリ撒里失兒酸ノ如ク防腐解熱ノ効アリ

●「アイゴン」 Eigon

「アイゴン」ハチーテリツヒ氏製造所ノ製品ニシテ一定ノ集成ヲ有シ且  
ツ固ク結合セル多量ノ沃度ヲ含メル沃度蛋白ナリ、「アイゴン」ノ諸製  
劑ヲ造ルニ用フル基礎劑ニ三種アリ一ヲ「アルファアイゴン」又沃度「ア  
ルブーメン」ト稱シ二ヲ「アルファアイゴン」那篤留謨又ハ沃度「アルブ  
ミン」那篤留謨ニヲ「ベタアイゴン」又沃度百布頓ト云フ甲ハ淡褐色無  
味無臭ノ粉末ニシテ二十%ノ沃度ヲ含有シ乙ハ殆ント白色ノ粉末ニシテ  
臭味ナク蛋白ニ結合スル所ノ沃度ハ十五%ナリ孰レモ永久ノ保存ニ堪

ヘ之ヲ外用ニ供スルモ毒性ナク又濕疹等ヲ生スルコトナシ之ヲ内服スレ  
ハ容易ニ吸収セラレ殊ニ丙ハ己ニ消化ノ形態ニ在ルヲ以テ消化不良症  
ニ宜シ

今左ニ「アイゴン」製劑ノ二三ヲ擧ケン (Ph. C. XXXIX 183—184)

沃度「アルブミン」麥芽越幾斯 (蛋白ニ結合セル沃度 〇・〇三%ヲ含ム)

沃度百布頓酒 (百布頓ニ結合セル沃度 〇・〇三%ヲ含ム)

沃度「アルブミン」軟膏 (五%又ハ十%ノ「アルファアイゴン」ヲ含ム)

沃度「アルブミン」座藥 (二%ノ「アルファアイゴン」ヲ含ム)

○「アントラロビン」 Anthrarobsn



「アントラロビン」ハ「アリヅァリン」ノ還元產物ナリ黃白色ノ粉末ニシ  
テ水、稀酸類ニ溶解セズ亞爾箇保兒ニ容易ク溶解ス又亞爾加里ニ溶ケ

易ク其溶液ハ黃褐色ニシテ酸化シ易シ ○本品ハリールマン氏ノ發明ニシテ「クリザロビン」ノ如ク諸種ノ皮膚病ニ應用スベールンド氏ハ「アントラロビン」一〇、〇阿列布油三〇、〇「ラノリン」六〇、〇ノ軟膏トナシ用ヒタリ

○「アルブチン」Arbutinum C<sub>12</sub>H<sub>16</sub>O<sub>7</sub>

「アルブチン」ハ烏華烏爾失葉ノ糖原質ナリ長キ絹絲様ノ針狀結晶ナリ臭氣ナクシテ苦味アリ水、酒精ニ溶解ス利尿ノ効顯著ナリ〇、五乃至一、〇ヲ水劑散劑トシテ膀胱加答兒其他尿管ノ諸患ニ賞用ス

○「アガリチン」Agaricinum



落葉茸松ヨリ製シタル藥物ニフレウリー氏「アガリチン」酸、マルチウス氏「ラリチン」、シヨオンブロート氏「アガリチン」等アリ然レモ皆是

レ「イデンチッシュ」ノモノニシテ恐クハヤーンズ氏ノ不純粹「アガリチン」酸ト稱スルモノナルベシ〇白色ノ粉末ニシテ僅カニ臭味アリ反應ハ酸性ナリ英國ノヨング氏ハ肺勞患者ノ盜汗ニ賞用セリホーフマイステル氏ニ由レハ是レ其汗腺ヲ侵スカ故ナリ、又肺勞者ニ用ヒテ睡眠ヲ促シ咳喇刺戟ヲ減スルノ効アリ内服ニハ〇、〇一乃至〇、〇五乃至〇、一ヲ丸劑散劑トシテ與フ一回ノ極量ハ〇、一トス

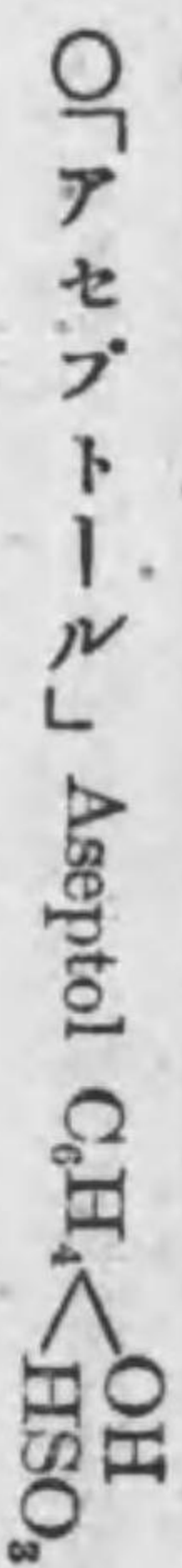
○「アロイン」Alouinum

蘆薈ノ主成分ニシテ淡黄色無臭ノ結晶ナリ有力ノ下劑トス〇、一二乃至、二五ヲ丸劑トシテ用ヒ又〇、一五乃至〇、二ヲ皮下ニ注射ス

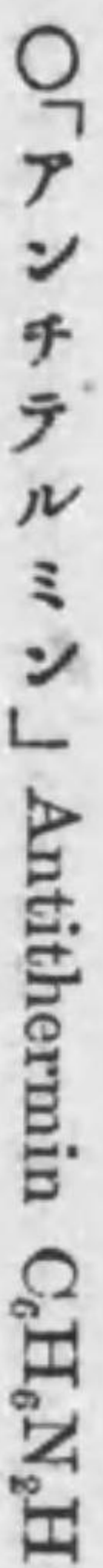
○「アネモニン」Anemonium C<sub>15</sub>H<sub>12</sub>O<sub>2</sub>

「アネモニン」アルサチルラ」ノ有効成分ニシテ無臭無臭菱柱狀結晶ナリ鹽酸ニ容易ク溶解ス氣管枝加答兒、咳嗽喘息、月經異常、副腎丸炎、交感神經痛ニ一日〇、〇二一〇、〇四ヲ與フ一日

ノ極量ヲ〇・一トシ〇・二ハ既ニ頭痛ヲ喚起スルコトアリ



「アセプトール」ハ化學上眞性磺基石炭酸ニシテ防腐制腐ノ作用アリ、水、酒精、處利設林ニ溶解スル舍利別ノ液ナリ、胃腸ノ加答兒ニ制腐藥トシテ用ユルコトアリ



無色光輝アル結晶ニシテ咀嚼スルハ微ニ灼熱ノ感アリ沸騰ノ水、及酒精ニハ容易ク溶解スコツト氏創メテ本品ヲ解熱劑トシテ應用セリ用量ハ〇・四乃至〇・六トス



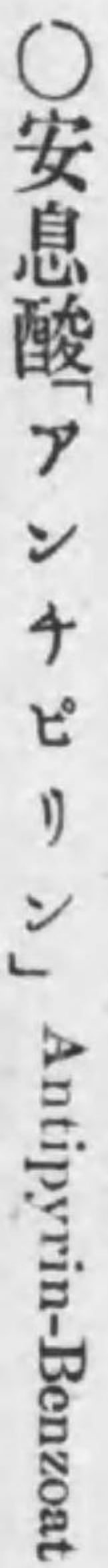
「アピオール」ハ洋芹實ノ油分ノ成分ニシテ一ニ洋芹腦ト云フ白色針狀ノ結晶ニシテ熱スレハ昇華シ水ニハ殆ント溶解セス強硫酸ニ紫紅色ヲ呈シテ溶解スルハ其特異反應ナリ〇佛國ニ於テ間歇熱ニ規尼涅ニ代ヘテ多ク用ユ又月經困難ニモ良効アリ一回ノ用量ハ〇・二五トス



「アスパラギン」水銀ハ梅毒患者ニ皮下注射トシテ用ユルモノニシテ其製法ハルードウィッヒ氏左ノ如ク示シタリ「アスパラギン」ヲ温湯ニ溶解シ之レニ酸化汞ヲ可及的溶解シ其既ニ溶解セサルニ至リ濾過シ水ヲ加ヘテ一乃至二「プロセント」ノ水銀ヲ含ム溶液トナスヘシ此ノ如クノ製シタルノハ無色無臭ニシテ金屬様ノ鹽味アリト云フ (P. C. XXXIII, 189)



「アレキシン」ハクレープス氏ノ精製シタル「ドュマルクリン」ノ別名「ドュマルクロチザン」ノ一名ナリ「トニベルクロチザン」ヲ參看スベシ (Wiener med. Bd. 1892, 173)



安息酸ノ熱水溶液ニ「アンチピリン」ヲ加ヘテ器底ニ沈降スル黄色液ノ冷却スルニ從ヒ析出スル所ノ結晶ヲ亞爾簡保兒ヨリ再結晶セシメテ得



タル結晶ナリ味ハ刺スカ如ク臭ハ安息酸ニ似タリクレッザチー氏ノ創製ナリ然レモ未タ醫藥用トシタル結果ヲ聞カス(P. C. XXXIII, 244)

○安息酸蒼鉛

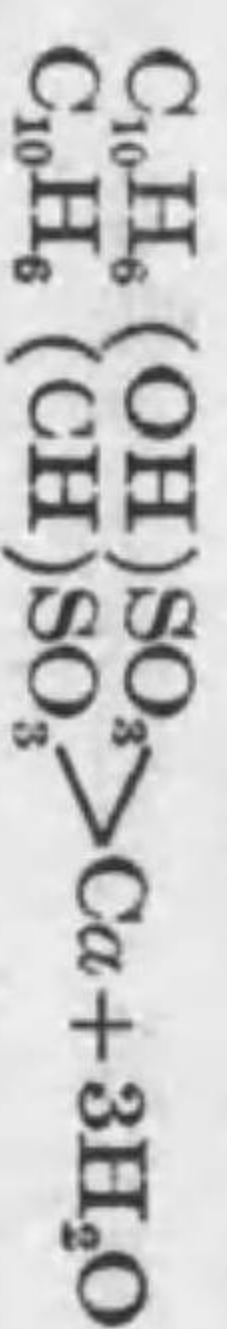
Bismutum benzoicum

フインゲル氏創メテ賞賛シヴィバルト氏之ヲ撒里失兒酸鹽ニ代ヘテ用ユルノ議ヲ起シタル所ノ安息酸蒼鉛ハ鹽基性硝酸蒼鉛百瓦ノ硝酸性水溶解ニ虞利設林二十瓦ヲ加ヘ置キ又別ニ七十六瓦ノ安息酸那篤留母ヲ二百瓦ノ水ニ溶シタルモノヲ注加シ成出シタル白色ノ粉末ヲ集メ製ス僅カニ金屬様ノ臭味アリ人身体中ニ攝取セラレテ安息酸ト蒼鉛トニ分解スヴィバルト氏ニ由レハ楊曹ニ代ヒテ内用シ又防腐藥トメ外用スルヲ得シ(P. C. XXXI, 180, XXXIII, 283)

●「アポモルヒ子」 Apomorphinum  $C_7H_7NO_2$

「アポモルヒ子」ハ通常吐劑トシテ皮下ニ注射スル救急藥ナリ多クハ鹽酸鹽ヲ用フ鹽酸「アポモルヒ子」ハ白色又ハ灰白結晶様ノ粉末ナリ少量ハ痰、發汗ノ効アリ吐劑トシテハ〇・〇〇〇五乃至〇・〇一二歳未滿ノ小兒ニハ〇・〇〇〇八乃至〇・〇〇一五乃至十歳未滿ニハ〇・〇〇二乃至〇・〇〇五痰藥トシテハ〇・〇〇一乃至〇・〇〇三小兒ニハ〇・〇〇三乃至〇・〇〇〇五トス極量ハ一回〇・〇二一日〇・一〇ナリ

○「アサプロール」 Asaprool



「アサプロール」ハ「ベーター、ナフトール、アルファー、モノズルフォン」酸ノ石灰鹽類ニシテ三分子ノ水ヲ含ミタル結晶体ナリ諸種ノ「バクテリア」ノ發育ヲ抑止スルノ力アリ小葉狀ノ結晶ニシテ水ニ溶ケ易シ百度ニ熱スレハ分解ススタックレル、デュリイフ兩氏ノ試験ニヨレハ無毒

ノ者トス五立方仙米ノ肉汁培養液ニ本品ノ五「フロセント」溶液ノ二立方仙米ヲ加ヘタルモノハ窒扶斯、虎列刺、「ヘルベス、トンズランヌ」等ノ「バクテリヤ」ノ發生ヲ抑止スヘシ(P.C.XXXIII.320)メルク氏ノ報告ニヨレハ本品ハ白色乃至微ニ赤色ヲ帶ヒタル無臭ノ粉末ニシテ初メ苦味アリテ後ニ甘味アリ依的兒ニ溶ケ難ク水酒精ニ溶ケ易ク其水液ハ一半格魯兒鐵液ニ由テ著シク藍色ヲ呈ス楊曹ノ如ク腎藏ヨリ排泄スボムバルト、ド<sup>ニ</sup>ヂヤルジンボーメ、スタックレル諸氏ノ試験ニ由レハ解熱、鎮痛ノ効アリ、急性、慢性關節レウマチス、筋レウマチス、筋痛其他インフルインザ、タイホイド、扁桃腺炎、喉頭炎、結核、喘息等ニ應用シテ絶テ耳鳴、嘔吐等ヲ發ス<sup>ナ</sup>シケルン氏モ亦本品ヲ賞用セリボムバルト氏ハ「アサブロール」ニ、一四、茴香水三〇、〇單含二〇、〇ヲ少許ツ、茶、「コーヒー」、糖水、又ハ「ビール」ニ和シ二十四時間ニ分服スルノ

方ヲ處セリ (P. C. XXXIV, 597)

○「アナルゲン」 Analgen  $C_9H_9OOC_2H_5NHCOOCH_3N$

「アナルゲン」ハ眞性「オキスエチール、アルファー、モノアツエチール、アミード、ヒノリン」ト稱シ新解熱藥ナリ(Apoth. Ztg. 1892,142) ○「アナルゲン」ニ二種アリ一ハ「アツエチールアナルゲン」ト云ヒ一ハ「ペンツアナルゲン」ト云フ共ニ其製法ハ同一ナリ(P.C.XXXIII.732) ○アツエチールアナルゲン」ノ製法ハ眞性「オキシヒノリン」 $C_6H_4(OH)N$ ヲ一半「モレキユール」ノ腐蝕那篤倫ト「プロームアツエチール」トノ酒精溶液ニ投シテ煮沸シ成生シタル眞性「オキシヒノリン、エチールエーテル」ヲ冷却シツ、五倍ノ硝酸(一、五二)ニ加ヘ溶解シタル後加熱シテ硝基化合物トナシ成生シタル「アルファー、ニトロ、オルト、オキシエチールヒノリン」ノ硝酸鹽ヲ炭酸那篤留母ニテ分解シ「オキスエチールニト

ロヒノリン」ヲ發生機水素ニテ還元シ眞性「オキスエチール、アルファ  
ー、アミードヒノリン」トナシ更ニ「アツェチリレン」シテ以テ所謂ル  
「アナルゲン」トナスナリ本品ハ、○ヲ「レウマチス」ニ應用ス

○「アスポリン」Asbolin

「アスポリン」ハ煤炭ヨリ製シタルモノニシテプラコンノツト氏ハ殊ニ結核ニ用ヒタリマハ  
ール、テスヴィグ子ス両氏ノ説ニ由レハ黄色舍利別糖ノ液ニシテ其主成分ハ「アレンツカテヒ  
ン」ト「ホモブレンツカテヒン」ナリト云フ(P. C. XXXIII, 527)

○「アルムノール」Alumnol

「アルムノール」ノ發見者ハインツ、リーブレヒト兩氏ニ由レハ「ナフト  
ール」硫酸ノ礬土鹽ナリ (Berl. Klin. Wechenschr. 1892, 1158) 白色微  
細ノ粉末ニシテ冷水ニ溶ケ易シ而シテ亞爾簡保兒液ハ美麗ナル青色ノ光  
彩ヲ發ス「アルムノール」ハ還元性强ク其軟膏ハ空氣中ニ置クニ從ヒ暗

色ヲ呈ス、又「アルムノール」水溶液ハ蛋白質膠質ヲ沈降セシムルノ力  
アリ然レモ他ノ物質ニ異ナル處ハ其多量ニ於テ再ヒ之レヲ溶解スルニ  
アリ此ノ故ニ濃液ニ由テ閉塞スヘキ瘻管等ニ「アルムノール」ヲ散布ス  
ルキハ能ク其害ヲ避クルヲ得ベシハインツ、リーブレヒト兩氏ニヨレ  
ハ「アルムノール」ハ外科産科皮膚病科等ニ於テ廣ク應用スルヲ得ベシ  
(P. C. XXXIII, 690, 687, XXXIV, 52, 129)

○「アツェト、オルト、トルネード」 $C_7H_7NH_2O$

無色ノ針狀結晶ニシテ熱水ニ溶ケ易ク又亞爾簡保兒、依的兒ニ溶ケ易  
シ熔點ハ百〇七度「アンチフェリン」ノ如キ有力ナル解熱藥ナリエー、  
バルバリニー氏ノ動物ニ於ケル試験ニ由レハ其解熱スルヤ數度ニ至ル  
「アルノミナラズ、有機体ニ無毒ナリ」(Lerap. modern. 1892, S. 532) 然レ  
モ未タ用量ヲ詳カラス (P. C. XXXIV, 58)

○「アランギン」 Alangin

「アランギン、ラマルキ」樹ノ根又ハ樹皮中ニ存スル、嘔吐ヲ發スヘキ  
亞爾加魯乙度ナリ (P. C. XXXIV, 125)

○亞鉛油(「チンクオエル」ヲ見ヨ)

○「アブラストール」 Abristol (酒類防腐藥)

○「アミードアンチピリン」 Amid-Antipyrin

○「アツェトアミードアンチピリン」 Acetamido-Antipyrin

### 佐部

○「ザリピリン」 Salipyrinum



「ザリピリン」ハ其酒精ヨリ結晶セシメタルモノハ美麗ナル六角系統ノ  
結晶ニシテ不快ナラサル甘味アリ熔點ハ九十一、五度ナリ以テ其純雜

鑑識ノ要素トス撒里失兒酸四十二、三分ト「アンチピリン」五十七、七分  
ヨリ成ルグットマン氏ハ解熱藥ノ秀透ナルモノトナシモーゼンガイル  
氏ハ「インフルインザ」ノ特效藥トセリヘンニング氏ハ儂麻質斯(急性  
慢性ヲ別タズ)ノ有効藥トシ兼チ「インフルインザ」ノ特效藥トセリ  
(Deutsche med. Wochenschr. 1891) 用量ハ、〇—二、〇—一日數回投  
與ス

○「サリピラツォリン」 Salipylazolin (「サリピリン」ニ同シ)

○「ザラツォロン」 Salazolon (「サラピリン」ニ同シ)

○「サロサンタール」油 Oleum Salosantali (「サロサンタール」  
ニ同シ)

○「サロサンタール」 Salosantal

「サロサンタール」ハドクトルウェルル氏カ泌尿器病ニ用ヒテ効アルコトヲ認メタル製品ニ

シテ撒魯爾、東印度産白檀油及ヒ矯味藥ヨリ成リ其成分ハ分解スルコトナクシテ体中ヲ通過  
スドクトルハルレ氏製造所ノ發賣品ナリ (Ph. C. XXXIX 263)

●「サグラヂン」 Sagraidin

「サグラヂン」ハ拉護奴斯越幾斯ノ苦味ヲ去リタルモノ、二十%溶液ニ二%ノ薄荷精ヲ混和  
シタルモノナリ (Ph. C. XXXVIII 103)

●「サリガルロール」 Saligallol

「サリガルロール」ハ焦性沒食子酸ノ二撒里失爾酸鹽ニシテ研和シ難キ  
樹脂様ノ固塊ナリ然レトモ二分ノ「アセトン」若クハ十五分ノ「噶囉仿謨  
ニ溶解スルヲ以テ假漆トシテ應用スルコトヲ得ヘシ本品ハ其作用頗ル  
徐々ニシテ且ツ緩和ナルカ故ニ「オイガルロール」ヲ添加シテ用フルヲ  
可トス即チ「サリガルロール」ニ乃至十五瓦「オイガルロール」ニ乃至四  
十瓦ニ「アセトン」ヲ加ヘテ全量百瓦トナスヘシ (Ph. C. XXXIX 507)

●「サリガルロール」液 Solutio Lalgalloli

「サリガルロール」液ハ「サリガルロール」三十四分ニ「アセトン」六十六分ニ溶解シタルモノ  
ナリ (P. C. XXXIX 504)

●「サリタンノール」 Salitannol

「サリタンノール」ハデブネル氏ノ特許法ニ據リテ製シタル撒里失爾酸  
ト沒食子酸トノ凝縮成績物ニシテ白色無晶形ノ粉末ナリ  
本品ハ二百十度ニ於テ熔融シ酒精ニハ殆ント全ク溶解セス又水、偏蘇  
爾、依的兒、噶囉仿謨等ニモ溶解セス之ニ反シテ亞爾加里ニハ容易ニ溶  
解ス創傷藥トシテ用ヒラル (Ph. C. XXXVIII 792)

○「ザッカリン」 Saccharinum



「ザッカリン」一名眞性硫酸アミン安息酸アンヒドリックト「或ハ安息酸」ズ

ルフィニード」ト云ヒ強烈ノ甘味ヲ有スル白色ノ粉末ナリ糖尿患者ニ向テ白糖ノ代リニ用ユヘシ然レモ身体ヲ營養スルノ力ナシ大概變化セスシテ尿中ニ排泄シ來ル「ザッカリン」ハ諸種ノ「アルカロイド」ニ逢フテ抱合シ、固有ノ苦味ヲ著シク減少スルノ力アルニ由リ終ニ「ザッカリンキニート」ナルモノヲ製出スルニ至レリ○「ザッカリン」ニ關スル報告ハ固ヨリ少カラサレモ今ヤ冗長ヲ壓フテ省畧ニ附セリ

●「サリフェリン」 Saliferin

「サリフェリン」ハ又「サリチールアニリド」ト稱シテラウエル氏ノ發賣ニ係ル本品ハ安知歇貌林ニ撒里失爾酸ヲ作用セシメテ製シタルモノニシテ白色ノ粉末ヲナシ水ニハ溶解セサレトモ亞爾個保爾ニハ容易ニ溶解シ藍色試験紙ヲ赤變ス (Ph. C. XXXV. 672)

●「サッカラムアルチフィシアール」 Saccharum artificial

在フランクフルトチムメル規那製造所ニ於テ自製ノ「サッカリン」ニ附シタル名稱ナリ (Ph. C. XXXVII 92)

●「サリフォルミン」 Saliformin

「サリフォルミン」ハ「サリチール酸フォルミン」(ヘキサメチレンテトラミン)ニシテ純「ヘキサメチレントラミン」ト同シク尿酸ヲ溶解スルノ効アリメルク社ノ製ナリ (Ph. C. XXXVII 734)

●「撒里失爾酸」テオブロミン」 Salicylsäures Theobromin

撒里失爾酸「テオブロミン」ハ在ダラムスタットメルク社ノ專賣品ニシテ「ヂウレチン」ノ代用藥ナリ本品ハ撒里失爾酸ト「テオブロミン」トヲ水ト共ニ煮沸スルトキハ溶液中ヨリ結晶シ來ルモノニシテ酸性反應ヲ徴シ爽快ナル苦味ヲ有ス (Ph. C. XXXVII 326)

○撒里失兒醋酸 Salicylessigsäure



撒里失兒酸那篤留母百六十九分ヲ四十%ノ那篤倫滷汁百分ニ溶解シ冷後第一格魯兒醋酸那篤留母百三十分乃至百四十分ヲ加フルキハ強烈ノ反應ヲ起スヘシ稀鹽酸ニ由テ析出スル所ノ「ザリチル」醋酸ヲ水ニテ洗ヒ乾カシテ製ス少シ撒里失兒酸ノ遊離シテ存スルアラバ依的兒ヲ以テ洗フヘシ光輝アル板收ノ結晶ニシテ熔點ハ百八十八度ナリ○有力ナル防腐藥トス然レトモ其用法等未タ詳ナラズ

○撒里失兒酸「フェノコル」 Phenocollum Salicylicum

「サロコール」一名ザリチール酸フェノコールハ「フェノコール」ノ「ザリチル酸鹽」ニシテ長キ針狀ノ結晶ナリ水ニ溶ケ易ク甘味ニシテ不快ナラズ  $P.C_6H_4 \begin{matrix} \diagup OCH_3 \\ \diagdown NH_2 \end{matrix} \begin{matrix} \diagup NH_2 \\ \diagdown COOH \end{matrix} \begin{matrix} \diagup OH \\ \diagdown COOH \end{matrix}$  鹽酸「フェノコール」ニ於ケルカ如キ副作用ヲ見ルコトナク確實有力ナル解熱藥、鎮痛藥、痲瘋質斯藥

タリ一、○乃至二、○ヲ一日數回用ユ「インフルインザ」ニハ特效藥タリトス (P. C. XXXII,665,XXXIV,152)

○撒里失兒「アツトール」 Salicylactol

「ザロール」ヲ服用スルキハ体中ニ分解シテ「フェノール」ヲ析出ス而シテ「フェノール」ハ屢々中毒ノ原因トナルコトアルカ故ニ「コーベルト」及ヒ「ヘツセルバツ」ハ諸氏ハ「ザロール」ノ應用ヲ否拒シタリ此ニ於テカ体中ニ分解シテ撒里失兒酸ト「アミードフェノール」トニ變化スル處ノ所謂「ザロフェーン」ナルモノヲ製出シタリ是レト同一ノ要求ニ由テ「ペー、フリチュ氏」ハ即チ「ザリチールアツトール」ト稱スル新化合物ヲ製出セリ○本品ハ「モノコロールアツェトン」ニ撒里失兒酸那篤留母ヲ作用セシメテ製シタルモノニシテ長キ羊毛狀ノ結晶体ナリ  $CH_3.CO.CH_2.Cl + C_6H_5.OH.COONa = CH_3.CO.CH_2.O_2C.C_6H_4.OH + NaCl$

熔點ハ七十一度冷水ニ溶解セス温アルコール、依的兒、硫化炭素ニ溶ケ  
易シ(P.C.XXXIV,194)○教授ボウルゲット氏ハ此新藥ヲ夏季下痢ニ二  
乃至四瓦ツ、一日數回應用シテ非常ニ好成績ヲ博シ遂ニ又虎列刺ノ豫  
防兼特效藥ナルヘシト斷言セリ (P. C. XXXIV, 236)

●撒里失爾酸「オキシフェナセチン」

Oxyphenacetinsalicylat

撒里失爾酸「オキシフェナセチン」ハ「クロールフェナセチン」及ヒ「プロ  
ームフェナセチン」ヲ撒里失爾酸那篤留謨若クハ其代用品ト共ニ熱シテ  
製シタルモノニシテ酒精溶液中ヨリハ光澤アル板狀結晶ヲナシテ析出  
シ百三十二乃至百三十四度ニ於テ熔融ス本品ハ之ヲ集成スル所ノ各成  
分ニ於テ見ルカ如キ有害ノ副作用アルヲ認メス、マイステル、ルチリ  
ス及ヒブリンニング色素製造所ノ特許品タリ(P. C. XXXVII 786)

●「サリチールアニリド」Salicylanilid (「サリフェリン」ニ  
同シ)

●撒里失爾酸亞爾密紐謨加留謨 Aluminu m-Kaliumsalicylat

撒里失爾酸亞爾密紐謨加留謨ハアテンステット氏特許ノ法ニ據リ醋酸加留謨ニ撒里失爾酸亞  
爾密紐謨ヲ作用セシメテ得タルモノニシテ収斂藥并ニ防腐藥トシテ應用セラル (Ph. C.  
XXXVI 207)

●「サルプリン」Saluprin

「サルプリン」ハ瑞典ノ專賣品ニシテ二分ノ醋酸、二十五分ノ醋酸依的兒、五十分ノ亞爾密保  
爾及ヒ二十三分ノ水ヨリ成ル、本品ハ水ヲ以テ稀釋シ挫傷、虫類ノ刺傷、齒痛「ロイマチス」等  
ニ用ヒテ効アリ(Ph. C. XXXVI 63)

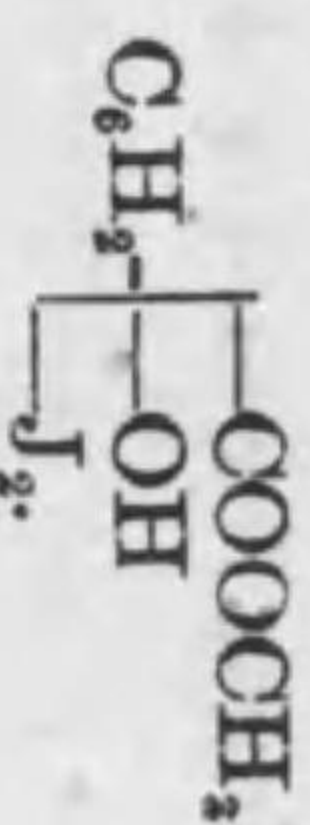
●撒里失爾酸嘉度密烏謨 Cadmium salicylicum

撒里失爾酸嘉度密烏謨ハ撒里失爾酸ニ水酸化嘉度密烏謨若クハ炭酸嘉



度密烏謨ヲ作用セシメテ製シタルモノニシテ二十四分ノ沸湯、六十八分ノ冷水及ヒ亞爾個保爾、依的兒、僱里設林ニ溶解スツエザリス氏ハ之ヲ化膿性眼炎ニ用ヒ又收斂藥トシテ應用ヲ試ミ共ニ好果ヲ得タリ (Ph. C. XXXV 672)

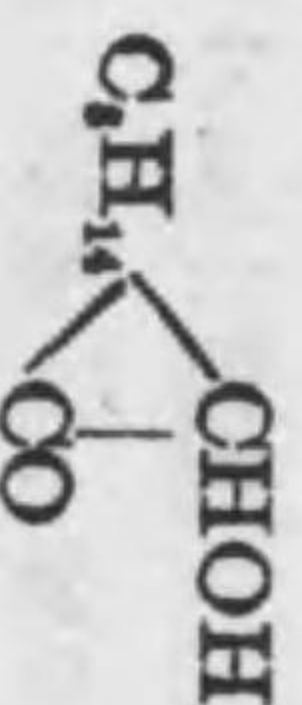
●「サノフォルム」 Sanoform



「サノフォルム」ハ冬綠油即チ撒里失爾酸「メチールユステル」ニ沃度ヲ作用セシメテ製スル沃度仿謨ノ代用藥ナリ本品ハ六十二、七%ノ沃度ヲ含有シ無臭無味白色ノ結晶性粉末ニシテ約十分ノ熱亞爾個保爾ニ溶解シ依的兒及ヒ華攝林ニハ甚タ溶解シ易シ  
本品ハ百十度ニ於テ熔融シ日光ニ對シテハ全く不變性ナルカ故ニ繙帶

ヲ造ルニ適ス是レ損失及ヒ分解スルコトナクシテ消毒シ得ルヲ以テナリ  
本品ハ著シク乾燥スル性質ヲ有シ創傷分泌物ニ逢ヒ固着スル所ノ皮膚ヲ生ス、ラングカルト氏ハ本品ノ無毒ナルコトヲ証明セリ、マイステル、ルチウス及ヒブリャーニング色素製造所ノ製品ナリ (Ph. C. XXXVII 313)

●酸化樟腦 Oxycampher



酸化樟腦ハ藥用樟腦中ノ水ニ溶ケル酸化成績物ニシテ在ミユンヘンドクトル、マナッセル氏ノ創製品ナリドクトル、ハインツ氏ハ之ヲ呼吸困難及ヒ神經過敏症ニ實用セリ (Ph. C. XXVII 734)

○「ザラツェトール」Salacetol

「ザラツェトール」ハ前條「トリチールアツェトール」ノ署名ナリ(P. C. XXXIV. 236)

○三格魯兒化醋酸 Trichloressigsäure  $\text{CCl}_3-\text{COOH}$

「クロラール」ヲ硝酸又ハ過滿俺酸加里ヲ以テ酸化シテ製シ潮解シ易スキ無色ノ結晶ナリ一種刺スカ如キ臭氣ト酸性ノ反應トアリ水酒精ニ溶ケ易シ疣贅、皰、等ノ腐蝕藥トシテ用ヒ(P. C. XXXIV. 393)又エールマン氏ハ鼻腔、咽頭ノ疾患ニ應用セリ收斂藥トシテハ一%溶液ヲ用ユヘシエールマン氏ハ三格魯兒化醋酸○、三純沃度○、一五沃度加里○、二「グリセリン」三○、○右混和塗布セリ

○三格魯兒化沃度 Jodo-trichlorid JCl<sub>3</sub>

乾燥シタル格魯兒瓦斯ヲ沃度蒸氣ニ接觸シテ製ス黃色結晶様ノ粉末ニシテ常温ニ於テ己ニ揮發ス五十四、三九%ノ沃度ト四五、六一%ノ格魯

兒ヨリ成ルリーデル氏ニ由レハ極メテ強烈ノ消毒藥ニシテ千分一ノ溶液ハ能ク抗抵力強キ胚種ヲ撲滅スルノ力アリランゲンブク氏ハ石炭酸、昇汞等ニ代ヘテ外科的ニ應用セリ内服ニハ胃中ノ分解異常ノモノニ○、一ヲ用ユルノミ外用ニハ千乃至千五百倍液ヲ用ユ

○三貌魯母化沃度 Jodium tribromatum

此ノ化合物ハ三貌魯母化沃度ト稱スヘキモノニハアラス何トナレハ其分析上ノ成果ニ由レハ沃度ノ第一貌魯母母化合物ナレハナリ然レモ今ハ「メルク」商社ノ報告ニ從フ○沃度貌魯母ハ暗褐色不快ノ臭氣アル液体ナリ水ニ溶ケ易シクラウゼ氏ハ三「ブローム」化沃度ト稱シテ小兒ノ「ヂフテリヤ」性咽頭痛ニ噴霧劑又ハ咽雷劑トシテ應用シ良結果ヲ得タリト「ムフ」(Sem. mde. 1892, Zr. 36)但シ時トシテハ急性沃度中毒ヲ併發スルノ虞アルヲ忘ルヘカラズトス○本品ハ既ニ千八百八十四年ニエス、

エン、クラーム氏之ヲ「ヂフテリヤ」ニ應用シタルコトヲ忘ルヘカラズ

○「サロロール」Salocoll

○「ニブロール」化フェノール蒼鉛

Tribromphenol-Wismut

黄色中性、不溶性粉末ニシテ無味無臭ナリ殆ント無色ニシテ諸部ノ  
粘膜ニ應用スルモ異状ヲ見ズ四十九、五%ノ酸化蒼鉛ト五十%ノニブ  
ロールフェノールヲ含ムヒュッペ氏ニ由レハ殆ント「コンマバチルス」ノ  
特效薬トモ言フベキ者ニシテ輕症ノ虎列刺患者ニ一日五乃至七瓦ヲ與  
フルキハ殆ント全ク治癒ニ趣ケリ其重症ノモノニアリテモ極メテ好結  
果ヲ證シ死亡數モ四十五「プロセント」ニ下レリト云フ (Berl. Klin. Wo  
chenschr. 1893, 162)

○撒里失爾酸蒼鉛(鹽基性ザリチル酸蒼鉛ヲ見ヨ)

○「サナトール」Sanatol

レランハルド氏ノ「サナトール」ト稱シテ市上ニ出シタルモノハ一種ノ  
消毒薬ニシテ維納上等衛生會員ノ報告ニ由レハ九、二%ノ遊離硫酸(の〇)  
ト硫酸鹽ト二七、〇乃至二九、〇%ノ「フェノール」硫酸ヨリ成リテ恐ラ  
クハ粗製ノ「クレソール」ヲ硫酸ニテ處置シ後チ水ヲ加ヘテ稀薄シタル  
モノナルヘント云フ (P. C. XXXIV, 568)

○「ザングイナリン」Sanguinalin

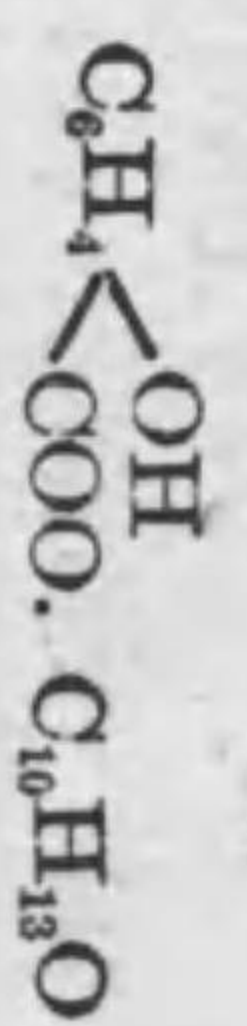
「ザングイナリア、カナアンジス」根ヨリ得タル樹脂中ノ類鹽基ニシテ白色針狀又ハ粉末ナ  
リ少量ハ強壯薬ニシテ大量ハ鎮靜薬ナリ良好ノ膽汁分泌催進劑兼通經劑トス一回ノ量ハ〇、  
〇二乃至〇、〇五乃至〇、一トス

○「ザルミン」Salumin

「ザルミン」ハ撒里失兒酸アルミニウムニシテ水酒精ニ溶解セス然レモ「アンモニヤ」水ニ

達フテ水ニ溶ケ易スキ復鹽ヲ構成ス此ノ重鹽ノ虞利設林溶液ハ永ク保貯スルヲ得ヘシ鼻腔咽頭ノ嗽衝加答兒ニ應用ス(P. C. XXXIV, 722,755)

●「ザリチモール」 Salithymol



「サリチモール」ハ撒里失爾酸曹達及ヒ知母爾那篤留謨ニ三格魯兒燐ヲ加ヘ百二十度乃至百三十度ニ熱シテ製シタル撒里失爾酸知母爾エステル」ニシテ無色結晶様ノ粉末ヲナシ稍々甘味ヲ有シ水ニハ困難ニ亞爾個保爾及ヒ依的兒ニハ容易ニ溶解ス防腐藥トシテ用フ(P. C. XXXVI 120)

●「サナトーゲン」 Sanatogen

「サナトーゲン」ハ乳汁ヨリ製シタル乾酪ヲ用ヒテ造レル偪里設林燐酸那篤留謨乾酪ニシテフェイス及ヒトロイベル氏ニ據レハ爾他ノ乾酪製品

ヨリハ臭味共ニ佳ナリト云フ之ヲ肉汁等ニ和セント欲セハ先ツ水ヲ加ヘテ混攪シタル后ニ於テスベシ (Ph. C. XXXIX 184)

○「ザロール」 Salolum  $\text{C}_6\text{H}_5\text{CH}_2\text{COOC}_6\text{H}_5$

「ザロール」一名ザリチール酸「フェニールエーテル」ハ「ザリチール酸ナトリウム」ト「フェニールナトリウム」トノ混合物ニ酸格魯兒化燐ヲ永ク作用セシメテ得ル所ノモノナリ○白色結晶狀粉末ニシテ弱芳香性ノ臭味アリ水ニハ殆ント溶解セサレモ酒精依的兒ニ溶ケ易シ胃中ニハ變化セス十二指腸中ニ至リ撒里失兒酸尿素ト硫酸「フェニール」トニ分解シ此ニ防腐作用ヲ發露スル者トスエム、ザリー氏ハ慢性癩麻質斯ニ一日三回二、○ヲ用ヒ又惡臭潰瘍及ヒ耳漏ニ防腐散布藥トシテ應用シ其他淋疾、虎列刺、窒扶斯、赤痢、腸加答兒等ニ試用シテ皆良結果ヲ得タリ用量一日三回○、五―一、○ヲ常トス極量ハ一日六乃至八、○トス

●「サリゲニン」 Saligenin

「サリゲニン」ハ「オルトオキシベンチールアルコホール」ニシテ敢テ新薬ト稱スルニ足ラサレトモドクトルワルテル氏ハドクトルレーデル氏ノ人工集成品ヲ急性痛風關節炎ニ用ヒテ好果ヲ得タリト云フ  
レーデル氏製「サリゲニン」ハ眞珠様ノ光澤ヲ有シ八十六度ニ於テ熔融スル小板狀晶ニシテ水ニハ僅ニ溶解シテ多少ノ澁苦味ヲ與フ一日用量三瓦ニテ足ル (Ph. C. XXXIX 184)

●催眠水 Schlafwasser

抱水格魯刺爾、スルフォナール」及ヒ「トリオナール」等ヲ患者ニ服セシムルニ際シ抱水格魯刺爾ハ味宜シカラズ「ズルフォナール」及ヒ「トリオナール」ハ共ニ難溶性ニシテ不便ナリレーウインスタインシュレーゲル及ヒフオスウインケル氏等ハ之ヲ炭酸水ニ溶解シテ此等ノ不利ヲ避ケ

ントセリ催眠水則チ是レナリ (Ph. C. XXXV 323) (「トリオナール」炭酸水ヲ参照スベシ)

○醋酸礬土液 Aluminiumacetatsolution

醋酸礬土液ハ防腐藥トシテ用ユルモノニシテ之レヲ製スルニハ明礬ヲ水ニ溶シ「アンモニヤ」水ヲ加ヘ沈澱セシメ該沈澱ヲ能ク洗ヒ稀醋酸ニ溶シ之レニ炭酸石灰ヲ加ヘ二十四時間放置シ然ル後濾過シ壓搾シ其濾液ヲ集ムルナリ

○醋酸トリブロームフェノール水銀

Hydrargyrum tribrompenolo-aceticum

黄色針狀ノ結晶ニシテ二十九、三二%ノ水銀ヲ含ムウールマン氏ニ由レハ有効ナル水銀劑ニシテ梅毒等皮ニ下注射トシテ用ユヘキモノナリ (P. C. XXXIV, 60)

○「ザプロール」 Saprool

「ザプロール」ハ「クレソール」含有ノ防腐藥トスヒューゴ、ラーセル氏之レヲ試験シテ其有

効ナルヲ證シ、ドクトル、スピンドレル氏ハ其内ニ含ム所ノ「クレソール」ノ定量法ヲ研究セ  
テ (Centralblatte für Bacteriologie u. Parasitenkunde, Bd. XII, 1892, Nr. 7-8 - P. C. XXXIII  
968 XXXIV. 409)

●「サラクトール」 Salactol

「サラクトール」ハ撒里失爾酸曹達及ヒ乳酸曹達ヨリ成レル一種ノ化合  
物ヲ一%ノ過酸化水素水ニ溶解シタル專賣品ニシテワルレ氏カ「チフ  
テリー」症ニ賞用シタルヲ初メトシ之ヲ諸家ノ實驗ニ徵スルニペーリ  
ング氏ノ血清ヲ以テスルヨリ成績更ニ佳良ナリ毎四時之ヲ喉頭ニ塗布  
シ且ツ同量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタル液ヲ以テ時々含嗽ヲ行ヒ又ハ之ヲ  
吸入セシムヘシ (Ph. C. XXXO 671)

○「ザロフェン」 Salophen

白色微細ノ無臭無味ノ結晶ナリ水ニ溶解セサレモ酒精依的兒ニ溶解シ

易シ五十一%ノ撒里失兒酸ヲ含有スヒツユマン氏ハ〇、五乃至一、〇ツ  
、一日數回急性關節「レウマチス」ニ與ヘテ良結果ヲ得タリト云フ (Be  
rl. klin. Wochenschr. 1892, Nr. 49) 一日ノ量ハ六乃至八、瓦ニ至ラシム  
ルモ害ナカルベシジール氏ハ八、〇ヲフリオリーッヒ氏ハ七、〇ヲ一  
日間ニ投與シタルヲアリシト云フ

幾部

○「キシレンノールザローン」 Xylenolsalole



一分子ノ撒里失兒酸ト一分子ノ「キシレンノール」トノ混和物ニ脱水藥ヲ  
作用セシメテ製ス本品ニ眞性、異性、假性及ヒ此ノ三種混合ノモノト  
アリ前ノ三種ハ固形物ニシテ後ノ一種ハ液体ナリ孰レモ水ニ溶解セス  
「アルコール」「エーテル」「ナトロン」滴汁ニ溶ケ易シ胃腸ノ消毒藥トシ

テ用ユ然レモ未タ其用量ヲ詳カニセス

○「キノロール」Xylolum  $C_6H_4(OH)_2$ 。

石炭夢兒油ヨリ割温蒸餾ニ由テ得タル無色透明一種固有ノ臭氣アル液ナリツオエルクエル氏ハ痘瘡ニ賞用セリ然レモ未タ廣ク用ヒラレズ十五、二十、三十滴ヲ膠囊ニ入レテ與ヘ防腐藥トシテ外用セリ

●「キノピリン」Chinopyrin

「キノピリン」ハサンテッソン氏カ規尼涅鹽ト安知必林トノ混和物ニ附シタル名稱ニシテ麻刺里亞ニ皮下注射藥トシテ用フラフェラン氏ニ據レハ製法左ノ如シ

鹽酸規尼涅三瓦ト安知必林二瓦トヲ混和シ試験管内ニ投シ水六瓦ヲ注加シテ加温スベシ、(Ph. C. XXXVIII 582)

○蟻酸那篤留母 Natrium formicum

ゼンゲル氏曾テ外科的處置ヲ結核患者ニ施スニ當リ不純ノ虞利設林ヲ以テ沃度防虞利設林乳劑ヲ製シテ試用セシニ純粹ノ「グリセリン」ヲ用ヒシヨリモ其効驗顯著ナリシカ故ニ退テ不純ノ「グリセリン」ヲ試験シタリシニ著シク多量ノ蟻酸ヲ含ミ居ルヲ發明シ此ニ於テ蟻酸ハ結核ニ効アルモノト思惟シ終ニ沃度防二、○「グリセリン」ニ〇、〇蟻酸「ナトリウム」ニ、〇ノ乳劑ヲ製シ使用セリ (Berl. klin. Wochenschr, 1891, 350) 然レモゼンゲル氏カ其藥効ヲ説明スルヤ人身体中ニ於テ酸化作用ノ爲メニ沃度防ヨリ蟻酸ト沃度水素酸トヲ化生スルニアリト言ヒシハ吾人藥學者ノ容易ニ肯定スル處ニアラズ

●縷艸酸薄荷腦 Menthalum valerianicum

縷艸酸薄荷腦ハ在維納ドクトルフリーセル氏カ偏頭痛ニ賞用スル所ノモノニシテ本品五瓦ニ蒸餾水廿五瓦橙花舍利別二十五瓦ヲ加ク二時間毎ニ二十五滴ツ、ヲ與フ (Ph. C. XXXIX 669)

○ギム子マ酸 *Gymnemasäure*

オエフェレ氏會テ糖尿患者ノ味覺異狀ニ「ギム子マ」葉ヲ咀嚼セシメテ大ニ患者ノ意ニ適シタルヲ發明シ終ニ該ノ「ギム子マ」葉中ニ含有スル「ギムネマ」酸ヲ茶葉ニ浸漬シテ應用スルノ工夫ヲナセリ即チ○、一瓦ノ「ギム子マ」酸(メルク會社製)ヲ五瓦ノ酒精ニ溶シ之レニ四瓦ノ茶葉ヲ潰ケ時々反拈シテ遂ニ乾燥スルニ至ラシメ此ノ茶葉ヲ糖尿患者ニ含マシムルナリ (P. C. XXXIV, 642)

●「キノフォルム」 *Chinoform*

「キノフォルム」ハ規那皮ノ水溶液ヨリメルク氏特許法ニ據リテ製ス其法没食子ヨリ「マン」フォルム」ヲ製スルニ同シ(Ph. C. XXXVII 829)

●「キナフトール」 *Chinaphthol*

「キナフトール」ハ化學上「ベタナフトール、アルファモノズルフオ酸規尼

涅ト稱スヘキモノニシテプロフェッソルリーゲレル氏ノ法ニ基ツキ在ダ  
ルムスタットメルク氏ノ製造シタルモノニシテ亞爾個保爾及ヒ熱湯ニ  
ハ少シク溶解シ冷水ニハ溶解セサル黄色結晶性ノ粉末ナリ味苦シ胃内  
ニ在リテハ變化セス腸中ニ入りテ始メテ規尼涅ト「ベタナフトール」ト  
ニ分解ス本品ハ解熱ノ効アル規尼涅ト殺菌ノ効アル「ベタナフトール」  
酸トヨリ成立スルヲ以テ腸窒扶斯ニ用ヒテ奏効殊ニ著シ其他腸結核、  
痢病、急性關節僂麻質斯及ヒ産褥熱ニモ良果アリテ毫モ中毒作用アル  
コトナシ「オブラート」ニ包ミテ服セシムルヲ最モ可トス一回用量○、  
五瓦一日量ニ乃至三瓦トス四十度以上ノ體熱アル病人ニハ一日五瓦ヲ  
モ投スルコトヲ得ベシ (Ph. C. XXXVII 829)

●器官製劑類 *Organo-Peäparate*

在龍動パールラップス、ウエルカム商社ノ引札中ニ左記ノ板藥アリ (Ph.



C. XXXVII 786)

肝臟製劑 肝臟硬結、黃膽等ニ用フ

乳腺製劑 月經過多、月經停滯、子宮、纖維瘤等ニ用フ

脊髓製劑 腦脊髓病ニ用フ

唾液腺製劑 「ブチアリン」ノ缺乏又ハ唾液腺ヲ切除シタル場合等ニ用フ

其他子宮製劑、喇叭管製劑等ノ製劑アリ

由部

○有機液 Lipués organiques

有機液ト稱スルモノニ左ノ數種アリ

- (一)プロウンセカドル氏翠丸液一名「セカルチン」Séguardin (11)コンスタンチン、パウル氏「ツェレブリン」一名腦灰白質液 (三) 甲狀腺液

- (四)腎臟液一名ヂエウラフォイ氏「チフリン」(五)副腎腎一名ハッチャード氏ノ「アッチソン」注射液(六)臍液(七)乳糜腺液(八)脾液(八)骨髓粹(十)筋液コレナリ

女部

●「メラコール」Melachol

「メラコール」ハ肝臟病者ニ用フル藥品ニシテ枸橼酸磷酸那爲保護ノ濃水溶液ナリ (Ph. C. XXXVII 806)

○「メトキシコッフエイン」Methoxycoffeinum  
白色輕鬆ノ結晶粉ナリ神經痛ニ用ユ

○「メチラール」Methylum CH<sub>3</sub>(OCH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>  
二分ノ褐石二分ノ「メチールアルコール」三分ノ硫酸及ヒ二分ノ水ヲ蒸餾シテ得ル無色透明流動シ易キ液ナリ水、酒精、脂肪油、揮發油ニ能ク

溶解ス味ハ灼クカ如ク攝氏四十二度ニ於テ沸騰ス皮膚ニ滴下スレハ忽チ蒸發ズルカ爲メニ局部ニ非常ノ寒冷ヲ覺ユ○擦劑塗劑トシテ局處麻酔ニ用ユベルソナリー氏ハ催眠藥トシテ用ヒ又「ストリキニーチ」ノ中毒ニ實用セリ「クラフトユービング」氏ハ催眠藥トシテ皮下ニ注射スルヲ賞讃セリ殊ニ酒客譫妄ニ一ト九分ノ溶液ヲ每二乃至三時ニ一筒ツ、注射シテ睡眠ヲ催フスニ至ルナリ擦劑ニハ一ト十ヲ用ヒ浣腸ニハ一ト百ヲ用ユ内服ニハ一―八ヲ單舎ニ和シテ用ユ

○「メチールヨヂット」Methylodid

透明揮發ノ液ナリ四十四度ニ沸騰ス本品ヲ棉花ニ濡キ皮膚ニ壓貼スレハ劇甚ノ灼感ヲ覺ヒ二三時間ニシテ發泡シ爾後更ニ疼痛ヲ殘スヲナシ

●「メヅルラーデン」Medulladen

「メヅルラーデン」ハ骨髓髓幾斯ニシテ痛風尿石等ニ用ヒ又惡性貧血症ニ効アリ (Ph. C.)

XXXVI 659

○「メチールヴィチレット」Methylviolet

ヤエニツク氏ハ「メチールヴィチレット」ノ飽和水溶液ヲ「チフテリヤ」患部ニ塗布シ患部ノ周圍ノ粘膜ノ著シク藍色ヲ呈スルニ至ラシメ患者ノ義膜ノ着色セシモノ、脱色スルヤ再ヒ色素ヲ塗布ス此ノ如クスルヲ持續ノ止マサレハ能ク「チフテリヤ」ノ危險ヲ救ヒ得ヘシト云ヘリ然レモ「チフテリヤ」ノ滲出物血中ニ吸収セラレテ全身ニ「チフテリヤ」中毒症狀ヲ呈スルニ至レル重症ノモノニアリテハ固トヨリ此ノ法ニ由テ救フイ難キハ勿論ナリトス (Therap. Monatsh. 1892, Nr7, S.340)

○「メチールフェナツェチン」Methylphenacetin (解熱催眠藥)

○「メチールクロリット」Methylchlorid CH<sub>3</sub>Cl

「メチールクロリット」即チ第一格魯兒化「メチール」ハ無色甘味ノ瓦斯

ニシテ依的兒様ノ臭氣アリ強壓ト強寒トヲ加フレハ無色ノ流動シ易キ液体トナリ局處麻醉藥トシテ用ユ又神經痛ニ集積器ヨリ噴出スル濃霧ヲ接觸セシメテ疼痛ヲ緩解スルニ用ユ

○「メチレンクロリッド」 Methylenechlorid  $\text{CH}_2\text{Cl}$

無色ノ液ニシテ四十度ニ沸騰ス知覺麻醉藥トシテ嘔嘔防ニ代用ス

○「メチールエチルエーテル」 Methylaethylaether  $\text{C}_2\text{H}_5\text{C}_2\text{H}_5\text{O}$

無色ノ液ニメ十一度ニ沸騰スリチャードソン氏ハ麻醉藥トシテ嘔嘔防ニ代用セリ

●「メタクレソール」 Metakresol

「メタクレソール」ハ在フォイエルバッハハウス氏製造所ニテ發賣スル化學的純品ナリ本品ハ只僅ニ臭氣ヲ有スルノミ百九十八度ニ於テ沸騰シ五十分ノ水ニ澄明ニ溶解ス石炭酸ニ比スレハ毒性少ナク且ツ其作用ハ之ニ五倍ス (Ph. C. XXXVI 120)

○「メタツェチン」 Metacetinum  $\text{C}_6\text{H}_5\text{OCH}_2\text{NH}_2\text{CO}$

「メタツェチン」ハ「バラニトロフェノール、ナトリウム」ニ「クロールメチール」ヲ和シ熱シテ「ニトロアニソール」トナシ還元シテ「アニリチン」トナシ再ヒ氷醋酸ニ煮テ製スルモノナリ無色ノ光輝アル葉狀結晶ニシテ冷水ニ溶ケ難シ沸騰水、アルコール、クロ、ホルム等ニ能ク溶解ス腐敗ヲ防クノ作用アリマーチルト氏ニ由レハ解熱、鎮痛ノ効アリ「パラアミードフェバル」トナリテ尿ト共ニ析出ス多發關節炎、神經痛ニ良効アリ主トシテ窒扶斯肺結核等ニ○、二五—○、五ヲ散劑トシテ用ユ

○「メタアルデヒド」 Metaldelyd (鎮靜催眠藥)

○綿馬酸 Acidum filicium  $\text{C}_{14}\text{H}_{18}\text{O}_6$

黄色細小ノ菱系板狀ノ結晶ナリ綿馬根ノ主成分ニシテ驅蟲虫ノ特效藥トス

●「メントール」 Mentol-Jodol

「メントールヨドール」ハ在ビープリヒカル社ニ於テ製造シタルモノニシテ殊ニ鼻、咽頭ノ式疾患ニ沃度仿誤ノ代用藥トシテ用フルニ適ス(Ph. C. XXXIX 669)

○「メチーレンブラウ」 Methyleneblau

「メチーレンブラウ」ノ純粹ナルモノヲ鎮痛藥トシ皮下注射及内服ニ供ス筋肉、關節、腱鞘ノ神経炎性疾患及「レウマチス」性諸症ニ用ヒテ良効アルハ神經實質間ニ不溶解性抱合物ヲ生シ神經ノ化學的状況ニ變化ヲ及ホスカ故ナルベシ神經痛急性關節「レウマチス」ニ〇、一〇乃至一、〇ヲ丸劑又ハ膠囊ニ入レテ與フレハ二時間ニシテ奏効アリペー、グットマン及ヒペー、エールリッヒ兩氏ハ「メチーレンブラウ」ヲ「マラリヤ」ニ應用セリ氏ノ研究ニ由レハ本品ヲ用ヒテ後一日ヲ經ルトキハ既ニ熱ノ發作ナク八日ヲ經テ血中ニ「マラリヤ」、ブラスモヂイン」ヲ見サルニ至レリト云フマイステル、ルチウス、ブリヨウニング諸氏ハ純粹ノ「メチ

ーレンブラウ」ノ〇、一ヲ一日五回ツ、膠囊ニ入レテ用ヒタリ其際不快ノ副作用ハ絶テ見ルコナカリシト「N」フ (Deutsche Med.-Ztg. 1891, 941)

●「メンタルカール」 Menthalcal

「メンタルカール」ハ在キコルン藥劑師ドクトル、テッセル氏ノ製造シタル錠劑ニノエムス鐵泉ノ主成分及ヒ薄荷腦ヲ含有ス(Ph. C. XXXIX 60)

●「メルクルコロイド」 Mercurcolloid

「ヒルオール」軟膏ノ別名ナリ

●「メトエチール」 Methaethyl

「メトエチール」ハ在伯林藥劑師ヘンニング氏ガ一種ノ局處麻酔藥ニ附シタル名稱ニシテ零度ニ於テ沸騰シ格魯兒「エチール」ヨリモ優ル所アリト云フ(Ph. C. XXXVIII 163)

美 部

○「ミロシム」 Myrosinum

芥子ノ成分ニシテ皮膚刺戟ノ効アリ芥子泥又ハ芥子紙ニ代用ス即チ一紙ニ「ミロジン」溶液ヲ浸シ他ノ紙片ニ「ミロシン」酸加里溶液ヲ浸シ平素乾燥シ置キ、用フル時ハ互ニ相ヒ接觸シ水ヲ以テ濕スナリ

○「ミルトール」 Myrtholium

「ミルトン」葉ヲ蒸餾シテ得タル水液ニシテ不快ナラサル特異ノ臭氣アリ味灼クカ如クニシテ後冷感ヲ覺フ有力ノ消毒防腐藥ナリ腐敗性氣管枝炎ニ偉効アリ一日數回〇、一二乃至〇、一五ヲ膠囊ニ入レテ與フベシ

○「ミクロチヂン」 Microcidin

「ミクロチヂン」ハ化學上「ナフトールナトリウム」ト稱スル者ニシテ「ベーター、ナフトール」ヲ溶解シ半量ノ苛性那篤倫ヲ加ヘテ製ス三分ノ水ニ溶解ス創傷處置ニハ〇、三乃至〇、五%液ヲ用ユ該液ハ腐蝕性モナク又毒性モナシ且ツ廉價ナルノ利アリベルリオーツ氏ノ試驗ニ由レ

ハ石炭酸ヨリモ十倍強ク硼酸ヨリモ二十倍ノ強力ヲ有ス本品ハ内服スル片ハ体温輕減ノ効アリテ且ツ防腐ノ性アリ○「ミクロチヂン」ノ名稱ハボライロン氏ノ命シタル處ナリ (Deutsche Med.-Ztg. 1891,444) コツコリノ氏ニ據レハ急性及ヒ慢性ノ耳、鼻及ヒ扁桃腺炎等ニ對スル特效藥ニシテ耳ニハ三乃至四%鼻及ヒ咽頭ニハ一%ノ溶液ヲ用フルヲ可トス氏ハ又惡臭性鼻潰瘍ニ左記ノ軟膏ヲ用ヒテ好果ヲ得タリ (Med.-chir. Rundschau 1894,211)

處方

「ミクロチヂン」

〇、一

鹽酸古加乙涅

〇、一五

華攝林

三〇、〇

右外用

●「ミロニン」 Myronin

「ミロニン」(脂肪ノ義)ハリチアルドエツケルト氏ノ製造シタル軟膏ノ基礎藥ナリ(Ph. c. XXXVI 63)

○「ミルチルリン」 Myrtillin (「ハイデルメール」越幾斯ニ同シ)

●「ミグロール」 Mignol

「ミグロール」ハ「アレンツカテヒンアツエト酸那篤留漢及ヒ「アレンツカテヒンアツエト酸  
咖啡涅各、等分ヨリ成リ牛面痛、頭痛及ヒ神經性諸症ニ良効アリ(Ph. c. XXXVIII 501)

○「ミグレニン」 Migränin

「ミグレニン」ハ其偏頭痛ニ効アルニ由リテ命シタル名ナリ枸橼酸、コッ  
フェイン、アンチピリン「三種ノ合劑ニ「インフルインザ」ノ頭痛、「ア  
ルコール」中毒「ニコチン」中毒、「モルヒネ」中毒等ニ賞用スオヴェルラッ  
ハ氏ハ本品ヲ試験ノ其効力アルヲ其名ニ耻チサルモノナルヲ明言セ

ヲ (Deutsche Med.-W'chenschr. 1893.47)

●「ミルチオール」 Mildiol

「ミルチオール」ハ「クレオソート」ヲ礦物性ノ油ニ混シテ製シタル消毒藥ナリ (Ph. c. XXXVII 654)

●「ミヘレン」 Myelen

「ミヘレン」ハ新鮮ナル白色骨髓及ヒ赤色骨髓ヨリ製造シタル類紅色舍利別狀ノ器官製劑  
ニシテ瘰癧、佝僂病、骨疽、悪性貧血症及ヒ普通貧血症ニ宜シ(Ph. c. XXXVII 746)

○「ミドリン」 Mgdrin

本品ハ「エフェドリン」及「ホモアトロピン」ノ兩瞳孔散大藥ヨリ成レル混和劑ナリ

●「ミドロール」 Mydrol

「ミドロール」ハ沃度メチールフェニールピラツォロン」ニシテバルピア  
ノ氏ノ創製ニ係ル本品ハ白色無臭ノ粉末ニシテ味苦ク冷水及ヒ酒精ニ

溶ケ易ク依的兒ニハ溶解セス

本品ハ脉搏ヲ遲鈍ナラシメ且ツ瞳孔ヲ散大スルノ作用ヲ有スカッタチ  
 オ氏ノ説ニ據レハ其作業ハ緩慢ナレトモ久シク特續ス而シテ五乃至十  
 %ノ溶液ヲ以テ瞳孔散大カヲ檢シタルニ亞篤魯比涅ノ如クニハ完全ナ  
 ラサレトモ診斷上ニハ敢テ支障ナキモノ、如シ而シテ本品ノ特異トスベ  
 キハ只無毒ニシテ毫モ不快ノ副作用ヲ伴ハサルニアリ (Ph. C. XXXX  
 VII 718)

### 之部

○臭素カンフル *Camphora monobromata*

貌魯母ヲ障腦ニ作用セシメテ得ル無色柱狀結晶ナリ氣中ニ變化セス少  
 シク障腦様ノ臭氣アリ反應ハ中性ナリ高温ニ於テ昇華ス水ニハ溶解セ  
 サレモ酒精、依的兒等ニ溶ケ易シ本品ノ少量ハ鎮靜ノ効アリ永ク用ユ

レハ脉搏ヲ減少セシメ色情ヲ薄カラシム大量ハ頭部ノ壓重ヲ覺ヘシム  
 鎮靜藥トシテハ癲癇、酒客膽妄、ヒステリー、偏頭痛、花風病、舞蹈病、勝  
 胱加答兒等ニ用ユ、○、一ヲ油類ニ溶解シテ皮下ニ注射シ○、一乃至○、  
 五ヲ一日數回「オプラート」ニ包ミ或ハ丸又ハ乳劑トシテ與フ酒客膽妄  
 ニハ一、〇—一、五ヲ要ス

○鞣酸鐵 *Ferrum Oxalicum*

本品ハ鹽酸ニ溶解スベキ黄色ノ粉末ニシテ貧血症ニ用ユ一日極量○、六瓦ナリト云フ

●植物性軟膏 *Unguentum Vegetabile*

植物性軟膏ハコツホ及ヒベツケル商店ニ於テ發賣スル軟膏劑ニシテ植  
 物性蠟ニ油、水及ヒ硼砂ヲ加ヘテ製シタル乳劑ナリ本品ハ大ニ水分ヲ  
 攝取スル機能ヲ有シ且ツ防腐力アリテ貯藏ニ堪ヘ硝酸銀、醋酸鉛及ヒ  
 昇汞ヲ除クノ外諸藥物ヲ研和スルニ適ス (Ph. C. XXXV 673)

樟腦酸 *Acidum camphoratum*



硝酸ニテ樟腦ヲ酸化シテ製ス無色針狀ノ結晶ニシテ弱酸性ノ反應アリ  
熱水、アルコール、エーテル等ニ溶ケ易シ本品ハ咽頭、喉頭、鼻腔ノ急  
性、慢性、種々ノ焮衝ニ用ヒテ防腐的收斂作用ヲ見ル、其他潰瘍、膿疹  
イクツエマ、慢性尿道炎、エリシペラス、鼓鼻等ニモ使用ス○含嗽、スプ  
レー、吸入、注射劑トシテハ半乃至二%液ヲ用ヒ慢性粘膜炎加答兒ニハ三  
一六%液ヲ用ユ内服ニハ一乃至五%散劑トシテ與フ

●新「オルトフォルム」 Orthoform neu.



新「オルトフォルム」ハ「メタアシドバラオキシ安息香酸メチールエステ

ル」ニシテプロフェッソル、クラウスネル氏ノ實驗ニ據レハ潰瘍、裂傷及  
ヒ火傷等ニ用ヒテ「オルトフォルム」ト同一ノ効力ヲ有シ而シテ其價ハ  
頗ル廉ナリト云フ其他本品ハ均等微細ニシテ其色モ「オルトフォルム」  
ヨリハ白ク且ツ團塊トナルコトモ少ナシ (Münch. med. Wchschr. 1838,  
1338)

○樟腦酸加里 *Kalium camphoricum* (樟腦酸ニ同シ)

○樟腦酸アニリン *Anilinum camphoricum* (鎮痙藥)

○樟腦化クロラール *Chloralum camphoratum* (鎮痛藥)

○四格魯兒化炭素 *Tetrachlorkohlenstoff* (局處麻醉藥)

○シリンギン *Syringium*

「シリンガ、カルガリス」樹皮ノ糖原質ニシテ白色針狀ノ結晶ナリ熱湯酒精ニ溶ケ易シ麻刺利  
亞ノ解熱藥トシテ主用ス



○次沃度化蒼鉛 *Bismutumsubiodatum*

煉瓦様紅色ノ粉末ニシテ水ニ溶解セス腐蝕亞爾加里ト共ニ熱スレハ沃度「アルカリ」及ヒ黄色酸化蒼鉛トニ分解スリステル、レイノルド兩氏ハ防腐藥トシテ化膿性瘡面膿潰ニ用ヒテ卓効ヲ稱セリ淋疾、胃潰瘍、空扶斯性熱症ニ一、〇一二、〇ヲ白糖ニ和シ或ハ震蕩合劑トシテ用ユ

○人工麝香 *Künstlicher Moschus*

アルベルト、パウル氏一タビ人工麝香ト稱スル一種芳香ノ化學的製品ヲ發明シテヨリ多クノ學者此ニ力ヲ盡ス著明ナリキフリードリック、ヴァレンチネル氏ハ「トンクイノール」ト稱シテパウル氏ノ製品ニ類シタル化學化合物ヲ製出セリ通常人工麝香ト稱スルモノハ即チパウル氏ノ製品ナリトス今左ニアルベルト、パウル氏ノ報告ニ據テ大要ヲ記述セン○パウル氏ノ人造麝香ト稱スルモノハ「ブッチールトルオール」ノ

「トリニトロ」誘導體ニシテ  $C_6H(CH_3)(C_4H_9)(NO_2)_3$  ノ構造ヲ有セリ先ツ第三格魯兒化「ブッチール」ヲ格魯兒化「アルミニウム」ト共ニ「トルオール」ニ作用セシメテ「ブッチールトルオール」ヲ製シ之ヲ硝酸（比重一、五）一分ト發烟硫酸（十五%ノ無水物ヲ含ムモノ）二分ノ和合液ノ五倍量中ニ注加シ八乃至九時間水浴上ニ熱シテ後水中ニ注傾スレハ純粹ノ「トリニトロブッチールトルオール」ヲ析出スヘシ是レ即チ人工麝香ナリ亞爾簡保兒ヨリ結晶セシムル片ハ黃白色ノ針狀結晶ニシテ九十六乃至九十七度ニ於テ熔融ス固トヨリ麝香様ノ顯著ノ臭氣アリラウベンハイメル、ヘッペ等ノ試験ニ由レハ其硝基ハ眞性化合物ノ位置ニアリト云フ (*Ber. d. D. Chem Ges. XXIV, 2832*)

○焦性硼酸水銀 *Hedrygium pyroboricum H\_2B\_4O\_7*

七十五瓦ノ硼酸那留母ヲ「リートル」ノ水ニ溶シ又別ニ五十四瓦ノ昇

汞ヲ一「リートル」ノ水ニ溶シ此ノ兩液ヲ攪拌シツ、混和シ成生スル處ノ沈澱ヲ集メテ製ス微細ノ無形褐色粉末ニシテ水ニ溶ケ難シトカエル氏之レヲ創傷ニ應用ノ満足ノ結果ヲ得タリト云フ (Pharm. Post. 1892. S. 156)

○焦性没食子酸蒼鉛 Bisnutum pyrogallicum

本品ハ黄色ノ粉末ニシテ水、酒精ニ溶解セス、那篤倫滷汁、鹽酸ニ溶解ス、五十%ノ蒼鉛ヲ含有ス焦性没食子酸ハ素トヨリ非常ニ強烈ノ藥物ニシテ只外用ニ供セシノミナレモ本品ハ全ク無毒ニシテ胃腸ノ疾患ニ應用スルニ適スルモノトス防腐消毒ノ効アリテ廣ク内外ニ供ス (P. C. XXXIV, 739)

○鞣酸水銀 Gerbsaures Quecksilber

七十六、二分ノ鞣酸ヲ乳鉢ニトリ少許ノ依的兒ヲ加ヘテ研末シ之レニ黄色酸化汞二十五、七

分ヲ加ヘ五立方仙米ノ水ヲ注キ十分ニ研和シ乾カシテ製ス阿列布油綠色ノ粉末ニシテ梅毒ニ實用スヘシ(P. C. XXXIV, 644)

●「シダ」越幾斯 Extractum Filicis spinulosae

「シダ」越幾斯ハドクトル、ラウレン氏カ「アスピザウム、スピヌロースム」ヨリ得タル依的兒製越幾斯ニシテ結馬越幾斯ノ如キ驅虫ノ作用ヲ有ス(Ph. C. XXXIX 775)

比部

○「ピオクタニン」Pyoktanin

「ピオクタニン」ハ「アニリン」色素ノ一種類ニシテ其「ピチクタニウム、コエルレウム」ト稱スルモノハ前ニ論述シタル「メチールグイチレット」ノ謂ヒナリ而シテ「メチールウイチレット」ノ防魔力アル「ハ己」ニ之レヲ述ヘタリ須ク往テ見ルベシ

●「ピラツォリン」Pyrazolin(「アンチピリン」ニ同シ)

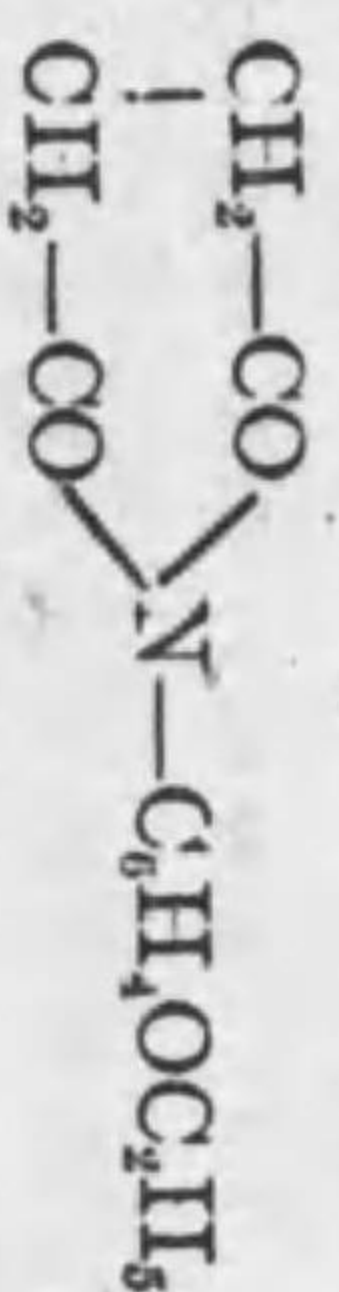
●「ピリソール」Pyrisol(解熱藥ナリ集成未詳)

●「ヒノソール」 Chinisol

「ヒノソール」ハ黄色結晶性ノ物質ニシテ獨乙醫事新聞ニ據レハ「オキシヒノリン」ヨリ成レル中性化合物ニシテ之ヲ使用スルトキハ分解ヲ生起シ而シテ此際發生機ノ状態ニ於ケル「オキシヒノリン」ハ強大ノ消毒力ヲ逞フスヘシト云フ又ミュンヘン大學衛生學教室ニ於テ試験シタル成績ヲ以テスレハ本品ハ比較的毒性强カラサルモ細菌ノ發育ヲ防止スル力ハ却リテ著シキモノアリ又伯林大學教授コスマン氏ハ昇汞並ニ石炭酸ニ代用シテ其効力ヲ驗シタリシニ管ニ昇汞ニ比シテ劣ル點ナキノミナラス無毒ニシテ使用者ノ手ヲ腐蝕スルノ憂ナキヲ以テ將來産科施術上ニ大ナル利益ヲ與フルニ至ラント言ヘリ

本品ハ易溶性ノ錠劑トナシテ販賣ス、用量昇汞ニ同シフランツフリツチエー社某婦人ノ製造ニ係ル (Ph. C. XXXVII 40)

●「ピラチン」 Pyrantin



「ピラチン」ハ一種ノ新鮮熱藥ニシテ化學上「バラエトオキシルフエニール」スクチンイミッドト稱スベキモノタリ

本品ハ獨乙化學新聞ニ據レハプロフェッソル、チャッチー氏カ鹽酸「バラアミドフェチオール」ヲ琥珀酸ト共ニ或ハ「フェナセチン」ヲ琥珀酸ト共ニ熔融セシメ融塊ニ沸騰亞爾個保爾ヲ加ヘテ浸出シテ製シタルモノニシテ約百五十度ニ於テ熔融シ且ツ依的兒ニ不溶性無色ノ針狀結晶ヲナシ冷水千三百七七分及ヒ沸騰八十三、六分ニ溶解ス

本品ハ之ヲ處スルニ亞爾加里ヲ以テスルトキハ「バラエトオキシルフエニール」、スクチニアミン酸鹽ヲ生ス而シテ其那篤留護鹽ヲ可溶性「ピ

ランチン」ト稱ス是亦「ピランチン」ト同一ノ生理的作用ヲ現ハシ且ツ水ニ易溶ナルヲ以テ皮下注射用トナス  
本品ノ用量ハ一日一乃至三瓦トス、心臟若クハ呼吸器上ニ傷害ヲナシ或ハ消化不良ヲ來スコトナクシテ能ク一乃至三度ノ体温ヲ下降シ只其際輕ク發汗スルヲ認ムルノミ (Ph. C. XXXVII 73)

●「ピラミドン」 Pyramidon

「ピラミドン」ハ化學上「ヂメチールアミド安知必林ト稱スベキモノニシテ淡黄白色結晶性殆ント無味ノ粉末ニシテ約十分ノ水ニ溶解シ而シテ其溶液ハ過格魯兒鐵ニ由リテ藍紫色ヲ呈シ亞硝酸及ヒ硫酸ニ逢ヒテ亦同一色ヲ呈スルモ稍々薄シ發煙硝酸モ亦之ヲ紫色乃至汚紫色トナス是レ安知必林ト異ナル所ナリトス (Ph. C. XXXVI 830)

●「ピナピン」 Pinapin

「ピナピン」ハ醱酵シタル鳳梨汁ニシテ加答兒性ノ諸病ニ用ヒテ効アリト云フ (Ph. C. XXXVII 239)

●蓖麻子油麻偏涅失亞石鹼 Ricinusölmagneesiaceife

蓖麻子油麻偏涅失亞石鹼ハストツクマン及ビドット氏カ蓖麻子油ニ那篤倫液ヲ加ヘテ鹼化シ更ニ硫酸麻偏涅失亞液ヲ加ヘ交換分解シテ製シタル乾燥粉末ニシテ下劑トシテ用フ蓖麻子油ヨリ遙ニ服用シ易シ (Ph. C. XXXVI 295)

●「ヒギアーマ」 Hygiama

「ヒギアーマ」ハドクトル、タインハルト氏ノ考案ニ成レル滋養藥ニシテ類褐色ヲ帶ヒ甘ク且ツ柯々阿様ノ味ヲ有スル粉末ナリ之ヲ分析ニ徵スルニ其成分左ノ如シ (Ph. C. XXXVI 176)

蛋白 二十二、八% 脂肪 六、六% 可溶性抱水炭素類 五十二、二%  
不溶性抱水炭素類 十、五% 水 四、〇% 鹽類 一、五%

## ○「ピリヂン」 Pyridinum

「ピリヂン」ハ動物質ヲ乾餾シテ製シタルモノニシテ「ヂッペル」氏動物油、石炭蓼兒油、及烟草燃燒烟中ノ成分ナリ無色透明ノ揮發シ易キ液ナリ燒クカ如キ臭味アリ鑛酸類ニ逢フテ溶解シ易キ塩ヲ構成ス水、酒精、依的兒、ペンチン、脂肪油ニ隨意ニ混和ス○「ヂフテリー」ニハ十%液ヲ塗布ス、ゼー氏ハ蒸氣ヲ喘息ニ賞用セリ然ルニルプリンスキー氏ハ只神經性ノ喘息ニノミ効アリト云ヘリ近時ド、レンチー氏ハ心臟病ニ賞用セリ吸入スルニハ四、〇—五、〇ヲ扁平ノ器ニ盛リ密室内ニ蒸發セシムヘシ内服ニハ八—十滴ヲ水ニ滴加シテ用ユヘシ

## ●「ヒプノアセチン」 Hypnocetin

「ヒプノアセチン」ハウイクトノロ氏ノ製造シタル「アセトフェノール」、アセチール、バラアミド、フェノール、エーテル」(Ber. d. D. chem. ges. 1895,

Ret, 620)  $\text{CH}_3\text{CO} \cdot \text{NH} \cdot \text{C}_6\text{H}_5$  (Ct.  $\text{COOC}_2\text{H}_5$ ニ命シ、名ニシテ眞珠様ノ光澤ヲ有スル小板狀晶ナリ百六十度ニ於テ分解シツ、熔融シ亞爾個保爾及ヒ醋酸依的兒ニ溶解ス催眠解熱ノ二作用ヲ併有ス用量ハ〇、二乃至〇、二五瓦ナリ (Ph. C. XXXVI 472)

## ●「ビスマトール」 Bismutol

「ビスマトール」ハラードラウエル氏ノ新製品ニシテ滑石ト混和(1:5)シテ散布薬トナシ又一乃至四%水溶液若クハ十乃至二十%ノ軟膏劑(華攝林又ハ「ラノリン」)トシテ創傷ノ防腐ニ用フ

本品ハ磷酸撒里失爾酸蒼鉛那篤留謨ノ化合物ナリト云フ (Ph. C. XXXVI 358)

## ●「ピレチン」 Pyrethin

「ピレチン」ハ米國ニ於テ解熱薬トシテ販賣スルモノニシテウエルテル

氏ニ據レハ安知歇貌林、咖啡涅、炭酸加爾叟謨及ヒ重炭酸那篤留謨ノ混和物ナリト云フ或ハ曰ク以上成分ノ外尙貌羅謨加里ヲ含有スト  
(Pharm Ztg 1894, 263)

●「ピペラチン」 Piperazinum

ア、ウエー、フォン、ホフマン氏ニ由レハ「ピペラチン」ハ「ヂエチーレン、ヂアミン」 $C_2H_4(NH)C_2H_4$  ナリトス「スベルミン」トハ「イデンチッシュ」ニアラズ○鹽酸「ピペラチン」ハ無色ノ水ニ溶ケ易スキ結晶ニシテウンベンバツハ氏ハ利尿ノ効アリト雖モ尙ホ疑ノ中ニ在リ○シエーリング商社ノ報告ニ由レハ一分ノ「ピペラチン」ハ曹達水ニ溶解シ或ハ「フェノコール」ニ伍シテ用ユルキハ痛風ニ効アリトス

●「ピロサール」 Pyrosal

「ピロサール」ハ「サリチール醋酸安知必林」ニシテ「フェノサール」ト同シ

ク解熱ノ作用ヲ有シ分解シテ五十%ノ安知必林及ヒ三十七%ノ撒里失爾酸ヲ生ス用量一回〇、五一日二回乃至六回トス本品ハ撒里失爾酸ノ副作用及ヒ發汗等ヲ起スヲナシ (Ph. C. XXXIX 621)

●「ピロフォルム」 Pyroform

「ピロフォルム」ハ焦性沒食子酸ヨリモ毒性少ナキヲ以テ焦性沒食子酸ノ代用藥トシテ特ニ皮膚病ニ適ス本品ハ在バーゼルホフマン及ヒロヒエ氏製造所ニ於テ酸化シタル焦性沒食子酸ヲ酸化沃度蒼鉛ニ作用セシメテ製シタルモノナリト云フ (Ph. C. XXXIX 23)

○「キノリン」 Chinolinum  $C_9H_8N$

石炭蓼兒油、ヂッペル氏動物油ノ成分ニシテ帶黃黑色ノ液ナリ久シク貯フルキハ暗色油狀トナリ、苦扁桃油様ノ臭氣アリ亞爾加里性反應ヲ有シテ水ヨリ重シ酒精、依的兒、「コロ、ホルム」、「ベンチン」ニハ溶解

スレ水ニハ殆ント溶解セス藥用ニ供スルモノハ化學的ニ集造シタルモノナラサルヘカラス工業的ニ製シタルモノハ種々ノ不潔物ヲ含メハナリ「ヒノリン」ハ防腐ノ効アルカ故ニ五%ノ酒精水溶液ヲ「ヂフテリ」ニ塗布シ或ハザイフェルト氏ニ從フテ五百倍水溶液ヲ含嗽劑トシ或ハ齲齒ニ綿花ニ漬シテ使用ス大量ヲ用ユレハ解熱ノ効確實ナレモ心臟麻痺ヲ起スノ弊アリ規尼涅分子中ニハ「ヒノリン」核ヲ含有スルノ説ニ基キ遂ニ「ヒノリン」ヲ間歇熱、窒扶斯、「ヂフテリ」等ニ使用シタル者アリテ全く無効タリシニハアラサレモ尙小心スヘキモノトス○通常酒石酸「ヒノリン」ヲ藥用ニ供ス

〔酒石酸ヒノリン〕ハ無色絹絲様ノ光澤アル結晶ニシテ空氣中ニ變化セス苦扁桃油様ノ臭氣アリ一種ノ苦味アルカ故ニ小兒ニ用ユルニ適セズ一回ノ量ハ〇、五—一、〇—二、〇トス

### ○「ピクロトキシニン」 Pikrotoxin

無色無臭ノ光輝アル結晶ナリ水ニ溶ケ難シ強烈ナル毒物ニシテ稍大量ヲ服スルモ既ニ痲痺ヲ發ス味ハ極メテ苦シ癲癩ニ用ユヘシト言ヘドモ疑ハシ○ツイリアム、ムレール氏ハ多クノ試験ヲ經テ盜汗ニ効アルヲ報セリ (Deutsche Med. Ztg. 1891, Nr. 68) 氏ハ〇、〇〇〇一ヲ試用セリ其盜汗ニ効アル所以ハ呼吸中樞ヲ亢奮セシムルニ由ルモノナリトセリ

### ○「ヒドロコタルニン」 Hydrocotarnin

純粹結晶ノ「ヒドロコタルニン」ハハッセ氏ニ由ルニ $(C_{12}H_{15}NO_3)$ ニシテ強烈ノ類攪基ナリ諸種ノ溶解藥ニ溶ケ易シ強硫酸ニハ黃色ヲ以テ溶解ス磷酸鹽ハ殊ニ水ニ溶ケ易シ本品ハフアルク氏ニ由レバ莫兒比涅ヨリモ強キ毒物ナリト云フ未タ藥用ニ供セラレタルヲ聞カズ

### ○「ヒドラルギロセプタール」 Hydrargyroscptol

$(C_6H_6N_2O \cdot SO_2Hy + 2NaCl)$

「ヒドラルギロセプトール」ハ「キノソール水銀ト食鹽トノ化合物ニシテ梅毒驅除薬トシテ効アリ在ハンブルヒフリチエ商會ノ發賣品ナリ(P. C. XXXVIII 108)

○「ピロガロール」 Pyrogallolum

「ピロガロール」一名焦性沒食子酸即チ「ピロガル、ス」酸ハ沒食子酸ヲ熱シテ製シタル輕鬆ナル白色光輝アル結晶ナリ空氣中ニハ忽チ灰色ニ變ス水ニハ無色中性ニ溶解スレド酸素ヲ吸收シテ忽チ褐色トナル、其亞爾加里ヲ加フルニ於テ最モ迅速ナリ此ノ故ニ毛髮ヲ染黒スルニ用ユルコトアリ、腐敗醱酵ヲ防クノ力強烈ニシテ諸種ノ皮膚病ニ卓効アリ是レ其還元力強キカ故ナルベシ鱗屑疹ニハ五乃至十%軟膏ヲ用ヒ白癬ニハ一%酒精液ヲ朝夕ニ回塗擦ス其他狼瘡、上皮腫、上皮肥厚ニ用ヒ又膀胱加答兒、腦漏、肺臟癌腫、軟下疳、腐蝕下疳、肺勞家ノ出血等ニ稱用ス肺勞家ノ出血ニハ〇、〇六ヲ酒精劑トシテ應用スヘシ

●「ビスマタン」 Bismutan

「ビスマタン」ハドクトルビオン氏カ下痢症(殊ニ小兒)ニ賞用スル新藥ニシテ蒼鉛、「レゾルチン」及ヒ單寧ヨリ成レル無臭「カナリア」黃色ノ粉末ナリ本品ハ稍々甘味ヲ帶ヒ水ニ溶解セス大人ノ用量ハ〇、五乃至一瓦ツ、一日數回、二年以下ノ小兒ニハ一、五乃至二、五瓦ヲ合劑百瓦中ニ投シ毎二時一茶匙ヲ與フ (Ph. C. XXXIX 109)

○ヒドロベルベリン Hydroberberin マラリヤ、腸胃熱ニ用ユ

○ヒマフィラ草 Chimaphila (利尿劑)

○ピロツォーン Pyrozon

過酸化水素ノ五十%水溶液ニシテ或ル皮膚病ニ効アリト云フ

○「ヒプナール」 Hypnal

「ヒプナール」ハ「クロラルヒドレート」ト「アンチピリン」トノ抱合体



ニシテ無味無臭白色ノ結晶ナリ水酒精ニ溶ケ易シフイレーチ氏ハ大人  
ニ一、〇—一、五—二、〇—三、〇ヲ水劑トシ橙舎ヲ加ヘテ催眠劑トシテ  
用ヒシニ十乃至三十分時ニシテ睡眠ヲ催セリ (Berl. klin. Wochenschr  
1893, Nr. 5)

●「コルゴール」 Hyrgolum

「ヒルゴール」ハドクトルロツテルモーセル氏カ硝酸亞酸化水銀ノ稀薄  
液ヲ硝酸亞酸化錫ノ稀薄溶液中ニ攪拌シツ、注入シ尋テ拘櫛酸安門ノ  
濃液ヲ添加シテ沈降セシメタル「コルロイダール」狀ノ水銀ニシテ銀ノ  
光澤ヲ有シ水ニ溶解シテ深褐色ヲ呈ス

本品ノ水溶液ハ酸類、鹽基類其他重金屬及ヒ土類亞爾加里ノ鹽類ニ由  
リテ其中ニ溶解シタル金屬ヲ不溶性ノ狀ト爲テ沈降セシムルモ可溶性  
ノ水銀鹽類ヲ生スヘキ酸類ノ亞爾加里及ヒ安母紐謨鹽類ハ其溶液中ヨ

リ再ヒ褐色ヲ呈シテ水ニ溶解スヘキ微細黑色ノ沈澱ヲ生ス蛋白質ノ現  
存スルトキハ其沈降ヲ妨ケ若クハ遲緩ナラシムルモノナリ

本品ハハイデン製造所ノ專賣品ナリ (Ph. C. XXXIX 553. 817)

●「ヒルゴール」軟膏 Unguentum Hyrgoli

「ヒルゴール」軟膏ハ金屬水銀ニ代フルニ「コルロイダール」水銀ヲ以テ  
シタル水銀軟膏ニシテ五十瓦ノ「ヒルゴール」ニ二十五瓦ノ水ヲ加ヘテ  
研和シ四百二十五瓦ノ軟膏基礎藥(二十%ノ華攝林ヲ含有スル「ラノリ  
ン」、十%ノ蠟ヲ含有スル豚脂等)ヲ加ヘ混攪シテ製ス、十%ノ軟膏ヲ最  
モ用フルニ便ナリトス安息香酸エステル等ヲ添加シテ芳香ヲ附スルコ  
トアリ (Ph. C. XXXIX 561. 817)

○「ヒプノーン」 Hypnon  $C_8H_8-OO-CH_3$

「ヒプノーン」即チ「アツェトフェノン」又「メチールフェニールアツェトン」

ハ醋酸石灰ト安息酸石灰トノ混合物ヲ乾留シテ得ル無色ノ液ナリ攝氏十四度ニ冷却スレハ凝固シテ巨大ノ結晶トナル、ドュジャルヂン、ポーメ氏ハ神經性ノ不眠症ニ賞用セリ一回ノ量ハ〇、二——〇、五盧利設林ニ伍シテ用ユルヲ良トス

〇「ピキソール」 Pixol

「ピキソール」ハ木蓂兒ノ可溶性製劑ナリ三分ノ木蓂兒ニ一分ノ加里石礆ヲ和シ加温シテ溶融シ之レニ十%加里鹵液三分ヲ徐々ニ加ヘテ製ス透明暗褐色ノ液ニシテ舍利別様ノ稠度アリ水ニハ隨意ニ混和ス本品ノ五%液ハ「リゾール」ト同一ノ効力アリト云フエーベルマン氏ノ創製ニ係ルヲ (Pharm. Ztg. 1893, 167)

〇ピクリン酸 Picrosäure

硝酸ニ石炭酸ヲ注キ加熱シテ製スル黄色鱗屑狀ノ結晶ナリ冷水ニ僅カニ溶解シ熱水ニハ多

量ニ溶解ス極メテ有毒ナリ苦味強クシテ動物組織ヲ黃變ス「ヒラリヤ」虫ニ稱用ス用量ハ〇、一——〇、二丸トスマシ

〇「ヒドラスチン」 Hydrastinum  $C_{22}H_{33}NO_6$

「ヒドラスチン」カナデンダス「根」ノ「アルカロイド」ニシテ無色菱柱狀ノ結晶ナリ止血、強壯、消化ノ効アリ麥角又ハ「エルゴチン」ニ代ヘテ子宮出血ニ用ユ通常鹽酸「ヒドラスチン」ヲ用ユ一回ノ量〇、〇二——〇、〇五トス

〇「ヒドラスチニン」 Hydrastinin (収斂藥)

〇「ヒドロヒノン」 Hydrocoionon  $C_6H_4(OH)_2$

「ヒドロヒノン」ハ無色ノ結晶ニシテ溶點百六十九度ナリ酒精、依的兒、沸騰水ニ溶解ス防腐解熱ノ効アリテ其効力ハ「レゾルチン」ノ上ニ位ス「ヒドロヒノン」ノ〇、八ハ「レゾルチン」ノ三、〇ニ比スヘシブリーゲル氏ハ淋疾ニ注射シフォルステル氏ハ傳染性眼病ニ菴法トメ用ヒタリ解

熱劑トシテ一日數回〇、〇三ヲ用ヒ十%液二、〇ヲ皮下ニ注射ス一日ノ量ハ一、五ナリ

○「ヒヨスチン」 Hyoscinum  $C_7H_9NO_3$

半流動舍利別様ノ物質ニシテ冷水ニ溶ケ難シ酒精、依的兒ニ溶ケ易シ「アトロピチ」「ヒヨスチアミーネ」ノ如ク瞳孔散大ノ効アリ近時精神病「ニヒヨスチン」鹽ヲ用ユルコトナリテ定期性癲狂ニ姑息藥トノ〇、〇〇一〇、〇〇二ヲ與ヘ又振顫麻痺ニ皮下注射スルニ卑効アリグナック氏ハ鎮靜催眠ノ目的ニ用ヒシモ鎮痛ノ効ヲ見サリシト云ヒクニー氏精神病者ニ催眠藥トシテ用ヒ六乃至八時間熟睡セリト云ヒフランシスコ氏ハ酒客膽妄ニ用ヒテ良効アリト云ヒ醫學士島村俊一氏ハ躁暴狂或ハ躁狂ニ皮下注射シテ十乃至二十分間ニ卓絶ノ奏効アルコトヲ説ケリウオード氏ニ由レハ遺精ニ奇拔ノ功アリトス〇用量、内服ニハ〇、〇〇

一〇、〇〇三皮下注射ニハ〇、〇〇〇五—〇、〇〇〇七トス〇通常ハ貌魯母水素酸「ヒヨスチン」ヲ使用ス用量モ亦同一ナリ

○「ヒヨスチアミーチ」 Hyoscyaminum (「アトロピチ」ニ同シ)

### 毛部

●「モノール」 Monol

「モノール」ハ佛國ニテ過滿俺酸加爾叟誤ニ附シタル名稱ナリ(P.h.c. XXXVII 313)

○「モルロシン」 Mollisin

「モルロシン」ハ黃蠟一分流動巴拉資四分ノ混和物ナリ(P.h. C. XXXVII 830)

○没食子酸エルゴチン Ergotinum gallicum

ブラシユコー氏ハ諸種ノ止血藥ニ由テ止血シ能ハサル肺出血患者ニ没食子酸ヲ服セシメ其卓効アリシヲ經驗シテ已來再ビ此ノ如キ場合ニ逢遇シタル毎ニ没食子酸、麥角越幾斯各一、〇水酒精各二五、〇ノ合劑ヲ

使用セリ而ノ常ニ良成績ヲ得タリト云フ (Zeitschr. d. oester. Apoth.-Ve  
reins 1893,611)

○没食子酸蒼鉛 (「デルマトール」ヲ見ヨ)

○没食子酸水銀 Gallussaures Quecksilber

ガイ氏ノ驅梅毒トシテ賞用シタル水銀製劑ナリ同氏ハ三十七、六瓦ノ  
没食子酸ヲ乳鉢ニ入レ水二十五立方仙米ヲ注ギ兼テ二十一、六瓦ノ  
黄色酸化汞ヲ加ヘテ研和シ氣中ニ乾燥シテ後粉末トセリ不潔暗綠色ノ  
物質ニシテ三十七、一七%ノ水銀ヲ含ムベシ (Compt. rend 1893,284)

○「モルリン」 Mollinum

五十%ノ脂肪ト三十%ノ炭利設林トヨリ成ル微白色ノ軟石鹼ナリ本品ハ軟膏ノ基礎ニシテ  
水ニモルリン、石炭酸モルリン等アリ殊ニ沃度又ハ沃度加里ノ軟膏ヲ製スルニ適ス

○「モルルイン」 Morrhuin (肝油ノ有効成分ナリ)

○「モルルオール」 Morrhuolum (同上)

### 勢部

○石炭酸コカイン Cocainum Phenilicum

フォン、オエフェン氏ハ「コカイン」ノ中毒ヲ恐レテ水ニ不溶解ナル「フェ  
ール」化合物ヲ製シテ使用セリ即チ點眼ニハ「フェニールコカイン」ノ  
十%亞爾個保兒液ヲ、感冒藥ニハ「フェニールコカイン」○、二硼酸、アツ  
エトアニリード各二、○ヲ或ハ「フェニールコカイン」○、二「メントール」  
○、二鈴蘭花末二、○鹽基性没食子酸蒼鉛二、○ヲ用ヒタリ或ハ又脂肪  
ニ和スルキハ有効ノ火傷劑タルベシ (P. C. XXXIII,383) ○尙「フェ  
ールコカイン」ノ條參見スベシ

●石炭丁幾 Tinctura Ithanthracis

石炭丁幾ハ石炭參兒三分ニ九十五%ノ酒精二分及ヒ依的兒一分ヲ混和シタルモノニシテ痒

ヲ治スルノ効ハ遠ニ諸他ノ夢兒製劑ニ優ル(Ph. C. XXXV 635)

●石炭 Liguor anthracis

石炭液ハ百分ノ石炭夢兒ヲ取り之ヲ二百分ノ偏蘇精ニ九十%ノ亞爾個保爾二百分ヲ添加シタルモノニ溶解シテ製シタルモノナリ(Ph. C. XXXVI 473)

●石炭酸蒼鉛 Bismutum Phenylicum



石炭酸蒼鉛ハ紫堇色ヲ有スル乾燥粉末ニシテ殆ント水ニ溶解セス、潤シタル赤色試験紙ヲ之ニ接觸スレハ漸次ニ藍變ス二十二%ノ石炭酸及ヒ七十二、六%ノ蒼鉛ヲ含有ス

ヤゼンスキー氏ニ據レハ腸胃ノ諸症ニ用ヒテ効アリ例ヘハ急性腸加答兒ニハ〇、五瓦ツ、毎日四乃至六回慢性症ニハ六乃至八回服用セシム(Ans dem Bericht von I. Merck 1894)

○ゼ子チヲ酸 Tencioisaur C<sub>6</sub>H<sub>6</sub>O<sub>2</sub>

ゼ子チチ酸ハ下山教授ノ<sup>ツハフキ</sup>藜音ヨリ發明シタル無色無臭絹絲様光輝アル長キ針狀ノ結晶ナリ冷水ニ溶ケ難ク熱水ニ溶ケ易シ其外酒精、依的兒、コロ、ホルムニ溶ケ易シ藜音ノ皮付赤引ノ主効分ナリトス(Apoth. Ztg. 1892, Nr.72)

○セレンニウム華設林 Zelenium-Vaseline

「セレンニウム」ハ之レヲ内服スルキハ其効力、硫黄ヨリモ強烈ナレ其之レヲ外用スルヤ極メテ良好ノ成績アリテモントボルセレット氏ハ沈降性セレンニウムニ、〇華設林三〇、ノ軟膏ヲ製シ痒疼、癢痒、ゴエクツエマニ應用シテ其結果アリト云ヘリ

●硝酸亞酸化攝留謨 Ceronitrat

硝酸亞酸化攝留謨ハドクトルドロスバツハ氏ノ創製シタル無色品ニシテ二百倍ノ水溶液ハ蛋白質ヲ含メル培養基ニ達ヒテ僅ニ之ヲ凝固セシムルニ過キス一千倍ノ水溶液ハ能ク細菌ノ發育ヲ妨止ス(Ph. C. XXXVIII 102)

●硝酸々化攝留謨安母紐謨 Ceriammoniumnitrat.

硝酸ハ化攝備誤安母組誤ハドクトルドロスバツハ氏ノ製造シタル赤色ノ結晶物ニシテ分解  
シ易ク二百倍ノ水溶液ハ杆狀細菌ノ生育ヲ妨ケ得レトモ糸狀菌ノ發育ヲ止ムルコト能ハス  
(Ph. C. XXXVII 102)

○硝基グリセリン Nitroglycerinum

「ニトログリセリン」又ハ「トリニトリン」「グロノイン」「グリセリンニ  
トレート」等ハ虞利設林ノ硝酸依的兒ニシテ、二分ノ強硫酸ト一分ノ強硝  
酸トノ合液ノ冷却セルモノニ虞利設林ヲ徐々ニ少許ツ、滴加シ五分時  
ヲ經テ六倍量ノ水ヲ注加シ重キ油層トナリテ分離スル所ノモノヲ集メ  
水ニテ數回洗滌シテ製ス純潔ナルモノハ無色油狀ノ無臭甘味ノ液ニシ  
テ亞硝酸ヲ放散スルカ故ニ恰モ亞硝酸アミール、亞硝酸「ナトリウム」  
ニ似タリ只頗ル強烈ナルノミ喘息、狭心症、神經性心悸亢進、腦貧血  
ヲ兼テタル神經諸症、偏頭痛、癩痢、精神病、腎臟炎等ニ極少量〇、〇

〇〇二乃至〇、〇〇〇五乃至〇、〇〇一ヲ酒精劑トシテ用ユルコトアリ  
●ホフマン氏ハ本品ノ〇、〇〇〇五乃至〇、〇〇一ヲ喘息、狭心症、燈用瓦  
斯中毒ニ皮下注射スルコトヲ賞用セリ (P. C. XXXII, 331)

○「セトラリン」 Cetrinum purissimum

「セトラリン」ハ「イスラント」苦ノ成分ナリフ、ナルナカ氏ハコーペルト  
氏ノ製出シタル「セトラリン」ヲ貧血萎黃病ニ應用シテ良効ヲ得タリ即  
チ純粹セトラリン、咖啡末各一、〇橙舎適宜二十五トシ白陶土ヲ以テ衣  
トナシ毎食時前一時間ニ二丸ツ、用ユルナリ (XXXV, 94)

●喘息紙 Chata antasthmatica Durthoff

喘息紙ハ純硝基植物纖維素ノ上ニ新鮮ナル「ストラモニウム」葉末ヲ固着シタルモノニシテ  
喘息ニ宜シ (Pharm. ztg. 1898, 742)

●染皮粉 Pulvis cuticular (Hautfarbener Puder)

染皮粉ハドクトルウンナ氏ニ據レハ二瓦ノ亞鉛華三瓦ノ炭酸麻屈涅叟  
謨、三瓦ノ白陶土、二瓦ノ赤陶土及ヒ十瓦ノ米澱粉ヨリ成リ麻布製ノ囊  
ニ入レ脂肪過多性皮疹及ヒ銅色面皰等ニ顔面ニ散布シテ好果ヲ得タリ  
ト云フ (Ph. C. XXXIX 652)

須部

○「ズルフアルデヒード」 Sulfaldehyd

ルイジニー氏ハ硫化水素ヲ「エチールアルデヒード」ニ作用セシメテ一  
新催眠藥ヲ製出セリ名ケテ「ズルフアルデヒード」ト云フ嫌フヘキ惡臭  
ヲ有スル油狀ノ液ニシテ零下八度ニ冷却スレハ凝固ス酸類ヲ以テ處置  
スレハ液狀ノ「ズルフアルデヒード」ト固形ノ「スルフアルデヒード」即  
チ「チヲバラアルデヒード」ヲ構成ス(坊間品ニトロナムスドルフ氏「ズ  
ルフアルデヒード」ナルモノナリ此レハ右ニ種ノ混合物ニシテ四十五

乃至五十度ニ於テ沸騰スルナリ)「ズルフアルデヒード」ハ胃ニ攝取シ  
テ熱睡ヲ催スルモノトス然レモ其難溶性ノ爲メニ稍長時間ヲ經テ初メ  
テ眠ヲ催スヘシ其効力ハ「バラアルデヒード」ヨリモ強シ〇、〇一ノ「ズ  
ルフアルヒード」ハ〇、〇二五ノ「バラアルデヒート」ニ比敵ス本品ハ  
攝取後殆ント全ク尿ト共ニ排泄スヘシ (P. C. XXXII, 23)

○「スチプチン、ーン」(鹽酸「コタルニーン」)

Stypticin

該藥ハドクトル、マルチン、フロイインド氏ガドクトル、ジグムント、ゴ  
ットシヤク氏ノ許ニ贈リ其止血ノ効アルヘキモノタルヲヲ申報シテ其  
實地試験ヲ依頼シタルモノナリトス此藥品ハ結晶セサル類硫黄々色ノ  
粉末ニシテ容易ニ水中ニ溶解シテ莖黄色ヲ呈シ光線ニ遇ヘバ少ク暗色  
トナルベシ此粉末ハ阿片中ニ含ム「アルカロイド」ナルコチーン」ヨリ

得タルモノニシテゴットシヤク氏ハ實驗ニヨリ該藥ハ婦人科實地ニ於テ子宮出血防遏藥類中永久賞用ノ價アル藥物タルヲ確知シタリト云ヒ而シテ之レヲ使用スルノ法ハ内服或ハ皮下ニ注射スルニアリト云フ (Th. M. 95 Ht 12)



「ステラコール」ハ「グアヤコール」ノ肉桂酸依的兒ニシテ「チンナミールグアヤコール」ト稱ス「クノール」會社ノ「バラント」品ニ係リ「トュベルクリン」、「カンタリヂン」酸加里等ニ駢列シテ肺結核ノ特效藥タリ同分子ノ「グアヤコール」ト格魯兒肉桂酸トヲ和合シ加熱シ酒精ヲ以テ溫浸シ冷却シテ製ス針狀ノ結晶ニシテ百三十度ニ熔解ス防腐ノ効盛ニシテ醱酵腐敗ヲ抑止ス創面潰瘍ノ治療ヲ促スノミナラス慢性膀胱加答兒、淋疾、胃腸ノ加答兒ニ應用シテ効アリトス (P. C. XXXVII 150)

●「スプラヂン」 *Supradin*

「スプラヂン」ハ副腎ヨリ製シタル乾燥品ニシテ極メテ「オウアヂン」ニ類似スレドモ色ハ稍々暗色ヲ帶ブ灰分中沃度ノ含量ハ 0.015—0.04% ナリ (Ph. C. XXXVIII 129)

●「スプレニン」 *Splenin*

「スプレニン」ハ英國製ノ器官製劑ニシテ脾臟ヨリ製シタルモノナリ (Ph. C. XXXVII 655)

●「スプラレナデー」 *Suprarenaden*

「スプラレナデー」ハ副腎ノ越幾斯ニシテクノール社ノ製品タリ同社ノ報告ニ據レハ本品ハ糖尿病 *Diabetes insipidus* 及 *Morbus Basedowii* ニ効アリト云フ (Ph. C. XXXVII 240)

●「ズブリモフェノール」 *Sublimophenol*

「ズブリモフェノール」ハ「デゼスケメル」氏カ昇汞及ヒ石炭酸水銀ノ混和物ニ命シタル名ニシテ分子量ノ石炭酸加留膜ト昇汞トノ水溶液ヲ混和スレハ先ツ類赤色ノ沈澱ヲ生シ尋テ黄色ニ變シ遂ニ白色ニ化ス依



リテ之ヲ水洗シ沸騰亞爾個保爾ヨリ再品セシメテ得タルモノニシテ二百十度ニ於テ分解シツ、熔融スル無色ノ結晶ナリ本品ハ熔融石炭酸及ヒ石炭酸ノ熱水溶液又ハ亞爾個保爾液ニ容易ニ溶解ス(Pf. C. XXXV 673)

○ズルフォナール Sulfonalum ( $C_6H_5SO_2$ )<sub>2</sub>=C=(CH<sub>3</sub>)<sub>2</sub>

「ズルフォナール」ハ千八百八十六年パウマン氏ノ創製ニシテ化學上「ヂエチールズルフン、ヂメチール、メタン」ナリ「エチールメルカプタン」ト「アツェトン」ノ混合物ニ乾燥鹽酸瓦斯ヲ通シ化生シタル「メルカプトール」ヲ過滿俺酸加里ヲ以テ酸化シ製ス無色無臭無味ノ結晶ニシテ熱スレハ全ク飛散シテ残渣ナシ冷水ニハ溶ケ易カラサレテ熱水ニハ溶ケ易シ酒精、依的兒ニモ稍溶解シ易シ○、一瓦ニ粉末木炭ヲ混シ試験管中ニ熱シテ決シテ「メルカプタン」ノ異臭ヲ聞クヘカラス○パウマン、カ

スト兩氏始メテ之レヲ催眠藥トシテ使用セリ攝取後半乃至二時間ニシテ睡眠力ヲ見ルベシ其際呼吸、心臟機能ニハ影響ヲ及ホサス體中ニ攝取セラレテ硫黃化合物ニ變シ硫基鹽酸トナリ析出ス神經性不眠ニ最モ効アリ疼痛性ノモノハ之レニ次ク鎮靜藥トシテハ少量ツ、與フルヲ善トスドクトル、シユワルベ氏ハカスト氏ノ實驗ニ由テ左ノ事項ヲ確實ニセリ(一)純粹ノ「ズルフォナール」ハ無味無臭ナルヲ以テ良好ノ藥物トス(二)神經性不眠症ニハ一、〇—二、〇ヲ與ヘテ確實ノ効ヲ奏ス直接器質的障礙ニ起因スルモノニハ効ヲ見ズ(三)「ズルフォナール」ハ體温脈搏、呼吸ニ害ナキカ故ニ熱性病、心臟衰弱ヲ恐ル、諸症ニ於テ莫爾比涅又ハ格魯刺兒ニ優ル者トシ殊ニ小兒ニ用ユルニ適ス(四)「ズルフォナール」ノ自覺的副發及ヒ續作用ハ幽微ナルカ故ニ一般ニ其使用上禁忌スベキヲナシ●エミール、シエッフエル氏ハ「ズルフォナール」ヲ服シテ後

ニ排泄スル尿ノ化學的、光學的試驗ヲ施行シテ「ヘマトボルフィン」ヲ誘發スル「アル」ヲ報告セリ殊ニ慢性「ズルフォナル」中毒者ノ尿ニ於テ然リト云ヘリ (Therap. Monatsh. 1893, Nr. 3, S. 57) スヴェトリン氏ハ「ズルフォナル」ノ中毒ヲ避クルカ爲メニ「ズルフォナル」ニ、〇ニ付〇、〇ニ乃至〇、〇五瓦ノ「コデイン」ヲ添加スヘキヲ論セリ (Zweite Bericht über die Privatheilanstalt für Gemüthkranke auf Erdberge zu Wien 1891)

●「ストアトール」 Stomatol

「ストアトール」ハ一種專賣ノ防腐藥ニシテ「テルピチオール」石鹼、亞爾個保爾、亦及ヒ芳香性ノ物質ヨリ成リ尙又之ニ加フルニ偏里設林ヲ以テシタルモノアリ人体ニハ無害ナリ (Ph. C. XXXVII 786)

○「スフィグモゲニン」 Sphygmogenin

「スフィグモゲニン」ハフレンケル氏ガ副腎ヨリ製シタルモノニシテ未ダ純粹ノ物質ニアラズ本品ハ副腎中ノ血壓ヲ高ムルノ効ヲ有シ且ツ甲状腺ト同シク解毒ノ作用ヲ有スルモノニシテ例之ハ「ニコチン」ノ如キモノヲ其内ニ混和シテ放置スレハ「ニコチン」忽チ其毒性ヲ失スルモノナリ (Ph. C. XXXVII 239)

○ストロンチウム鹽 Strontium-Salze

「ストロンチウム」鹽類ノ無害ニシテ其酒石酸、乳酸鹽ノ利尿ノ効アルヲ報道セシハ千八百九十一年ラボルデ氏はレナリ (P. C. XXXII, 212) 其後「ストロンチウム」鹽ニ關スル報告漸ク増加シ千八百九十二年ニ至リ著シク研究ノ成績ヲ見ルトナレリオー、クルトマン氏ハ諸種ノ「ストロンチウム」鹽ヲ試験シテ之ヲ報告セリ

「貌魯母ストロンチウム」、貌魯母「ストロンチウム」ニハ二種アリ一ハ白

色粒狀ノ無水物ニシテ(Sp. B.)ノ起號ヲ有シ一ハ無色透明ノ結晶ニシテ六分子ノ結晶水ヲ含ムモノナリ共ニ潮解シ易ク鹽様ノ苦味アリ水、酒精ニ溶ケ易ク依的兒ニ溶解セス水性液ハ中性又ハ弱酸性ナリ胃加答兒ニ一日二乃至四瓦ツ、ヲ用ユ癩癩ニハ臭素加里ト同一ノ量ニ於テ之ヲ用ユ〔沃度ストロンチウム〕、沃度ストロンチウムニモ又二種アリ無水ノ粒狀物ト六分子ノ結晶水ヲ含ミタル透明ノモノトアリ共ニ潮解シ易シ日光ニ觸ルレハ沃度ヲ析出シテ黃變ス沃度加里ノ如ク使用ス其用量モ相ヒ伯仲ス

〔乳酸ストロンチウム〕白色ノ粒狀又ハ結晶ニシテ水ニ溶ケ易シ水溶液ハ過滿俺酸加里ヲ加ヘテ熱スレハ「アルデヒド」ノ臭氣ヲ聞クベシニ日六乃至十瓦ツ、「ブライト」病蛋白尿癩虫ニ使用ス  
〔醋酸ストロンチウム〕殊ニ條虫ニ適セリ

〔硝酸ストロンチウム〕關節「レウマチス」ニ稱用ス(P.C.XXXIV, 63, 107)

○スベルミン Spermin

ブラウン、セカール氏ガ犬、鼠、兔等ノ翠丸液ヨリ製出セルモノニシテ或ハ結晶ノモノアリ或ハ液体ノモノアリト云ヒ未タ一定セス其鹽酸鹽ハ針狀ノ結晶ナリト云フ本品ハ強壯藥ニシテ兼テ淫慾ヲ亢進セシムルノ効アリ「スベルミシ」ノ少許ヲ皮下ニ注射スレハ八十ノ老翁モ其志力恰モ壯者ノ如クナレリト云フ然レモ一種ノ奇藥トモ尙後ノ確實ナル試験ヲ待ツヘキモノトス

○ストロファンツス實 Semen Strophanti

○ストロファンツス丁幾 Tinctura Strophanti

「ストロファンツス」實ハ亞弗利加西岸、ベチガンピヤ、グイチヤ、東岸、ザンベジ一等ニ産スル「ストロファンツス」ヒスビツス」ト稱スル母植ノ

種子ニシテ其地方ノ土人ハ此ヨリ矢毒ヲ製ス此種子ノ主成分ハ「ストロファンチン」ト稱スル白色無臭強苦味ノ結晶ナリフレーザー氏ノ説ニ由レハ「ストロファンチン」ハ其効力略ボ實菱答利斯ニ類シ心臟収縮力殊ニ心室ノ収縮力ヲ増盛スランガルド氏等ニ由レハ心臟ニ及ボス作用ノ他尙ホ催眠ノ効アリトス通常藥用ニ供スルモノハ「ストロファンチン」ト稱スル微黃色強苦味アリ心臟ノ強壯藥及ヒ利尿劑トシテ用ユ心臟辨膜病ノ代償機障礙アルモノ、心質炎、脂肪心、ブライイト病、絞心發作等ニ適スレモ内臟出血ニ由來スル急性貧血、血管動脈瘤アルモノニハ禁忌スベシ用量ハ酒製丁幾(一ト二十ノモノ)ニ乃至十滴ヲ一回量トシ水ニ和シ用ユ丁幾ノ極量ハ一回一、五瓦一日五、〇瓦トス心臟病、腎臟病ニハ丁幾三、三實菱浸(一、五)一五〇、〇醋剝一〇、〇單舍二〇、〇毎二時一食匙ツ、用ヒシメテ効アリ

○スコボラミシ Scopolamin (瞳孔散大藥、鹽酸鹽ヲ用ユ)

○スクロール Suerol

「スクロール」ハハイデン商社ノ製ニシテ化學上「バラ、フェネチール、カルプアミド」ト稱シリール商社ノ管テ「ドユルチン」ト名ケテ製出シタル甘味藥ト同質ノモノトス故ニ此ニ畧ス

○スタヒドリン Stachydrin  $C_7H_{13}NO_2$

「スタヒピス」ト「バクフェラ」(チヨロキノ一種)ノ球根ヨリ製シタル類鹽基ニシテ無色透明ノ結晶ナリ未ダ藥用ニ供セシチ聞カズ(Ber. d. D. chem. Ges. 26, 939)

○ステレソール Sereol

「ステレソール」ハベルリオーツ氏ノ創製ナリ護謨ラック二百七十瓦安息香十瓦「トルバルサム」十瓦結晶石炭酸百瓦桂支油六瓦サッカリン六瓦及ヒ酒精ニ溶解シテ全量ヲ一「リートル」トナシタルモノナリ皮膚又

ハ粘膜上ニ塗布スレハ善ク粘着スベシ「ヂフテリ性アングナ」結核性ゲ  
シュウール」ニ應用ス(P.C.XXXIV.394)

○ズルフアミノール Sulfaminoluna

鮮黄色無味無臭ノ粉末ニシテ水ニ溶解セス「アルカリ」ニ溶ケ易シ「コーマールト氏」ニ由レハ  
沃度叻ニ代用シテ完ク無害ナリトス

○水銀血清漿

本品ハシユライン氏ガ彼ノ所謂ル血清漿ナルモノヲ水銀ト共ニ研和シ  
テ得タルモノニシテ、其中ニハ三十三%カ又ハ五十%ノ水銀ヲ含メリ  
塗擦藥ニ供用ス、毛筆ニテ之ヲ患部ニ塗布シ二三秒時ヲ經テ乾燥スル  
ヲ候ヒ乾キタル指掌ヲ以テ其上ヲ平滑ナラシメ置クキハ滅却スルヲナ  
クシテ久シク皮膚上ニ作用スベシ之レヲ除去スルニハ石鹼水ニテ洗フ  
ヲ以テ最モ容易ナリトス又水銀「イヒチオール」血清漿ハ右ト同方ニテ

鱗屑癬等ノ他ノ皮膚病ニ供用スベキモノナリ (Pharm. Cent. f. Deuet.  
1894)

●水銀血清彩粥 Quecksilber-Serum-Paste

水銀血清彩粥ハ血清彩粥ニ水銀ヲ研和シタルモノニシテ三十三、三%若クハ五十%ノ水銀ヲ  
含有ス之ヲ塗擦スレバ數秒間ニシテ乾燥ス石鹼水ヲ以テ局部ヲ濕セハ之ヲ溶去シ得ヘシ

(Ph. G. XXXV. 575)

○水銀劑 Quecksilberpräparate

水銀ノ抱合体ニシテ其新藥ニ屬スルモノ極メテ多シ而シテ大率子皆有用  
ノ品ナリ今左ニ重用ナルモノヲ列擧ス

〔エチール格魯兒化水銀〕鱗狀無色ノ結晶ナリ梅毒ニ皮下注射シ局處ヲ  
刺戟セザル良藥ナリ一回ノ注射實量ハ〇、〇〇五—〇、〇一トス

〔安息酸水銀〕水銀鹽類ニ安息酸曹達ヲ作用セシメ得ル無味無臭ノ結晶

粉末ナリ食鹽液、アルコールニ容易ク溶解ス梅毒性潰瘍ニ罨法劑トシテ用ヒ又ハ尿道ニ注射劑トシテ用ユ梅毒ニ皮下注射スルニ適ス罨法ニハ〇、一ヲ〇、二%食鹽液ノ二十五乃至五十ニ溶解シ尿道注射ニハ其〇、一ヲ食鹽水ノ百瓦ニ溶解ス皮下注射ニハ一ト十ノ「バラフィン」油溶液又ハ〇、五ヲ食鹽水ノ百ニ溶シ少許ノ鹽酸「コカイン」ヲ加ヘテ用ユベシ「格魯兒汞尿素」一、〇ノ昇汞ヲ熱水百分ニ溶シ〇、五ノ尿素ヲ溶解シ製スシユツ氏ハ梅毒ニ皮下注射劑トシテ實用セリ口炎ヲ起スアアリ

〔石炭酸水銀〕「フェノールナトリウム」溶液ニ昇汞液ヲ加ヘテ製ス橙黃色ノ粉末ナリフィシェル氏ハ「アルコール」性溶液ヨリ沈澱セシムル其構造常ニ一致ノモノヲ得ヘシト云ヒリ此ノ如クシテ得タルモノハ無色ノ結晶ナリガンベリニー、シャージェック氏等梅毒ニ之レヲ應用セリ一回ノ量〇、〇二一〇、〇三トス

〔藏化水銀〕青酸ノ水性液ニ酸化水銀ヲ溶解シ結晶セシメテ製ス無色透明柱狀ノ結晶ナリ水ニ溶ケ易シ極メテ猛毒ナルヲ猶昇汞ノ如シ梅毒ニハ皮下ニ注射シ「チフテリー」、「クロウブ」ニハ含嗽劑トシテ用ユ用量ハ〇、〇一ヲ水百瓦ニ溶シ薄荷油一滴ヲ加ヘ含嗽シ或ハ〇、一ヲ水一〇、〇ニ溶解シ皮下ニ注射ス内服ニハ〇、〇〇五一〇、〇一トス極量ハ一回〇、〇二一日〇、一トス

〔フォルムアミード水銀〕無色アルカリ性ノ液ナリ皮下ニ注射ス

〔グルチンペプトン鹽酸水銀〕「ケラチン」即チ「グルチン」ヲ鹽酸ニテ處置シ所謂鹽酸「グルチンペプトン」ヲ製シ更ニ昇汞ヲ加ヘテ製シタルモノトス白色ノ粉末ナリ水性液ハアルカリ鹽類、血液、蛋白質等ニ逢フテ沈降セサルヲ特性トスヒュルフェル氏ニ由レハ確實有効ノ皮下注射劑トス

〔イミード琥珀酸水銀〕白色ノ光輝アル結晶ナリメーリング氏始メテ藥用シヴォルレルト氏之レヲ皮下注射用ニ供セリ

〔油酸水銀〕透明、濃稠黃色ノ液ナリ擦劑トシテ用ニ供ス

〔撒里失兒酸水銀〕サリチル酸水銀即チ鹽基性サリチル酸水銀ハハイデ  
ン商社ノ製ニシテ其法ハ未タ詳カナラズ二十七分ノ昇汞ヨリ沈降セシ  
メタル酸化水銀ニザリチール酸十五分ヲ和シ水溶上ニ加熱シ後チ水ニ  
テ洗ヒ得ルナルベシ無味無臭白色無形ノ粉末ニシテ水、酒精ニ殆ンド  
溶解セズ食鹽、臭素加里、沃剝液等ニ逢フテ可溶性ノ複鹽ヲ構成ス  
シルヴァ、アラウヨ氏ハ緩性水銀劑トシテ治療上ニ應用シタリエブスタ  
イン氏ハ阿列布油ニ乳和シ之レヲ皮下ニ注射セリ用量ハ皮下又ハ筋肉  
注射ニ〇、〇一ヲ炭酸加里液ニ和シ(ブルメルト)或ハ〇、一ヲ流動バラ  
フィン油一、〇ニ和シ(ヤダッソーン)四乃至六日間ヲ隔テ、使用シ内服

ニハ〇、〇一乃至〇、〇二五ヲ丸劑トシテ與フベシ

〔單寧酸亞酸化水銀〕暗綠色無臭無味ノ粉末ナリルストガルテン氏緩和  
水銀劑トシテ梅毒ニ賞用セリ用量ハ〇、一ヲ一日二回ツ、用ユ炭酸鹽、  
多量ノ鑛酸、沃度加里ヲ禁ス

〔チモール醋酸水銀〕醋酸水銀ト「チモール」水銀トノ重鹽ナリ無臭無味  
ノ結晶ナリ日光ニ觸レテ赤變ス水ニ溶ケズ梅毒ニ或ハ注射シ或ハ内服  
ス極量ハ一回〇、〇〇五乃至〇、〇一一日〇、一二トス

藥物主治用量一覽



○印ハ日本藥局方×ハ新藥

(い)×イヒチナル(主治)皮膚諸病、癩麻質私、

○印度大麻(主治)麻酔、鎮痙、

○印度大麻秘幾斯(主治)麻酔、鎮痙、

○硫黃軟膏(主治)解凝、

○熔製硝酸銀<sup>硝酸銀</sup>(主治)腐蝕、

○乙斯蘭土苔(主治)強壯、緩和、

(ろ)○魯別利亞(主治)麻酔、吐劑、祛痰、

○魯別利亞丁幾(主治)麻酔、吐劑、祛痰、

○蘆薈(主治)下泄、通經、健胃、

○蘆薈丁幾(主治)健胃、通經、

○蘆薈丸(主治)健胃、下泄、

○蘆薈秘幾斯(主治)健胃、下泄、

○蘆薈鐵丸(主治)貧血、健胃、秘

(は)×ハマメリス(主治)止血、收斂、

○割王鹽<sup>硫酸加</sup>(主治)解凝、下泄、

×純ハシシヨ(主治)神思鬱憂、嗜好品、

○發煙硝酸(主治)腐蝕、試藥、

(用量)〇、五—一、〇(外用)四十一—五十%

(用量)〇、二五—二、〇

(極量)一回〇、一—一日〇、四

(外用)不定

(極量)一回〇、〇三—一日〇、二

(用量)五、〇—一〇、〇

(極量)一回〇、二—一日一、〇

(極量)一回一、〇—一日五、〇

(用量)〇、〇一—〇、〇五

(用量)〇、二五—一、五

(用量)二丸—五丸

(用量)〇、〇一—一、〇

(用量)一丸—四丸

(外用)二%軟膏トス

(用量)一、〇—二、〇

(用量)〇、〇二—〇、〇四

(外用)不定

- × パイン (主治) 胃腸諸病、  
(用量) 一日〇、一〇、五
- 巴豆油 (主治) 峻下、皮膚刺戟藥、  
(極量) 一回〇、〇五 一日〇、一
- × パラコトイン (主治) 止瀉、  
(用量) 〇、三〇、八  
(外用) 不定
- 巴拉賓 (主治) 膏藥料、
- × パラアルテロイド (主治) 催眠、  
(用量) 一、〇一、二、〇
- 芳香丁幾 (主治) 健胃、驅風、  
(用量) 一、〇一、三、〇
- 芳香安母尼亞精 (主治) 衝動、祛痰、  
(用量) 〇、五一、三、〇
- 芳香散 (主治) 健胃、驅風、調味、  
(用量) 〇、二五、一、〇
- 芳香精 (主治) 健胃、調味、驅風、  
(用量) 〇、五、一、三、〇
- 硼酸 (主治) 防腐、  
(用量) 〇、二五、一、〇
- 硼酸那篤留膜 (主治) 陳痛催進、通經、  
(用量) 〇、六一、一、〇
- 芒硝 (主治) 下泄、  
(用量) 一五、〇一、三〇、〇
- 芳香硫酸 (主治) 衝動、健胃、清涼、  
(用量) 〇、五、一、五
- 芳香阿片酒 (主治) 麻醉、止瀉、  
(極量) 一回一、五 一日五、〇
- 白礬土 (主治) 丸劑配伍料、  
(用量) 配伍料ナル故不定
- 麥角 (主治) 止血、陳痛催進、收斂、  
(極量) 一回一、〇 一日五、〇
- 麥角越幾斯 (主治) 止血、陳痛催進、收斂、  
(用量) 〇、一〇、五

- 薄荷 (主治) 驅風、健胃、  
(用量) 五、〇一、一〇、〇
- 薄荷油 (主治) 驅風、調味、鎮痛、  
(用量) 〇、〇三、一〇、一
- 薄荷精 (主治) 驅風、衝動、健胃、  
(用量) 〇、五、一、三、〇
- 薄荷水 (主治) 調味、  
(用量) 調味料ナルカ故ニ不定
- 白降汞 (主治) 解凝、  
(外用) 不定
- 白糖 (主治) 調味、  
(用量) 調味料ナルカ故ニ不定
- 蕃木鼈 (主治) 健胃、麻痺諸症、  
(極量) 一回〇、一 一日〇、二
- 蕃木鼈丁幾 (主治) 健胃、麻痺諸症、  
(極量) 一回一、〇 一日二、〇
- 蕃木鼈越幾斯 (主治) 健胃、麻痺諸症、  
(極量) 一回〇、〇五 一日〇、一五
- (一) ○ 乳糖 (主治) 調味、  
(用量) 調味料ナルヲ以テ不定
- × 乳酸 (主治) 腐蝕、  
(外用) 十倍一三十倍
- 乳酸鐵 (主治) 強壯、  
(用量) 〇、〇五、一〇、五
- × ニトロ偏利斯林 (主治) 貧血性神經諸症  
(用量) 〇、〇〇〇二一〇、〇〇一
- 乳酸鐵錠 (主治) 強壯、  
(用量) 一錠一錠
- 肉荳蔻 (主治) 健胃、芳香、調味、  
(用量) 〇、五、一、〇
- (二) ○ 剝度比爾林 (主治) 峻下、  
(極量) 一回〇、一 一日〇、五
- 蜂蜜 (主治) 調味、  
(用量) 調味料ナルヲ以テ不定

- ×ポッフヒルリン(主治)習慣性便秘  
(用量)一日〇、〇五—一〇、一
- 抱水格魯刺兒(主治)催眠鎮靜、  
(極量)一回三、〇 一日六、〇
- 忽布滿氏鎮痛液（敬伯兒）(主治)鎮痛、  
(用量)〇、五—三、〇
- ×ホルザン(主治)催眠、  
(極量)〇、二
- 蒲公英(主治)苦味健胃、緩下、  
(用量)五、〇—一〇、〇
- 蒲公英越幾斯(主治)苦味健胃、  
(用量)〇、五—一、五
- (〇)ヘレニン(主治)防腐、  
(用量)一日〇、〇一
- 百露拔兒撒謨(主治)殺虫、祛痰、  
(用量)〇、二—一、〇
- ×ハプトン水銀(主治)驅梅、  
(用法)皮下注 一日一箇
- 別刺敦那葉(主治)鎮靜、鎮痛、  
(極量)一回〇、二 一日〇、六
- 別刺敦那丁幾(主治)鎮靜、鎮痛、  
(極量)一回一、〇 一日四、〇
- ×バトール(主治)防腐、  
(用量)一日一、〇—二、〇
- 別刺敦那硬膏(主治)鎮靜、鎮痛  
(外用)不定
- ×メルマリソ(主治)收斂、  
(用量)〇、〇五—一〇、二
- 別刺敦那軟膏(主治)鎮靜、  
(外用)不定
- 別刺敦那越幾斯(主治)鎮靜、鎮痛、  
(極量)一回〇、〇五 一日〇、二
- ×ベンゾイグアヤコール(主治)呼吸器諸病、  
(用量)一日〇、二—五

- 別刺敦那擦劑(主治)鎮靜、  
(外用)トス
- 歐靛拉氏軟骨(主治)收斂、  
(外用)不定
- 百弗聖酒(主治)健胃、  
(用量)四、〇—一五、〇
- 扁桃油(主治)緩和、  
(用量)四、〇—一五、〇
- (〇)〇篤留技兒撒謨(主治)祛痰、分泌制減、殺虫、調香、  
(用量)〇、二—一、〇
- 篤留技兒撒謨舍利別(主治)祛痰、調味、  
(用量)一五、〇—三〇、〇
- 挖物兒氏散（吐根阿）(主治)發汗、鎮靜、吐瀉、  
(用量)〇、一—一、〇
- 度納般氏液（沃度化硫）(主治)變質、  
(極量)一回〇、三 一日、五
- 吐根(主治)祛痰、催吐、發汗、止血、  
(用量)〇、〇〇五—〇、〇五
- 吐根錠(主治)祛痰、催吐、發汗、止血、鎮痙、  
(用量)一錠—二錠
- 吐根丁幾(主治)祛痰、催吐、發汗、止血、鎮痙、  
(用量)〇、一—一、〇
- 吐根舍利別(主治)祛痰、  
(用量)〇、一—一、〇
- 吐根酒(主治)祛痰、  
(用量)一〇、〇—三〇、〇
- 吐酒石（酒石酸安質）(主治)催吐、祛痰、  
(極用)一回〇、二 一日〇、五
- 吐酒石軟膏（吐酒石加糖質）(主治)誘導、  
(外用)不定
- 吐酒石酒(主治)祛痰、催吐、  
(用量)一〇、〇—二〇、〇
- 豚脂(主治)膏料、  
(外用)不定

- 杜松實(主治)利尿、
- 杜松實油(主治)利尿、驅風、
- 杜松實精(主治)利尿、誘導、
- (ち)×チナール(主治)皮膚病、生殖器病、
- 重炭酸加留謨重炭酸(主治)解凝、
- 重炭酸那篤留謨重炭酸(主治)制酸、健胃、解凝、
- ×ザウレチン(主治)利尿、
- 重炭酸那篤留謨重炭酸(主治)制酸、健胃、解凝、
- 重酒石酸加留謨重酒石(主治)清涼、緩下利尿、
- 丁香丁子(主治)健胃、驅風、防腐、調味、
- 丁香油丁子油(主治)健胃、驅風、防腐、調香、調味、
- 實荳答利斯(主治)利尿、解熱、心臟病、
- 實荳答利斯丁幾(主治)利尿、解熱、心臟病、
- 知母爾(主治)防腐、解熱、醱酵、制止、
- 沈降製硫黃乳硫(主治)緩下皮膚病、
- 沈降製磷酸加兒叟謨(主治)佝僂病、腺病等、
- 沈降製炭酸加兒叟謨(主治)胃醱酵等、

- (用量)一、〇一五、〇
- (用量)〇、〇五—〇、一
- (用量)一、〇一三、〇
- (外用)不定
- (用量)〇、五—一、〇
- (用量)〇、五—一、〇
- (用量)〇、〇五—一、〇
- (用量)〇、〇一—二、〇
- (用量)〇、〇二—〇、五
- (用量)〇、〇二—〇、五
- (用量)一回〇、二—一日一、〇
- (用量)一回一、五—一日五、〇
- (用量)〇、〇五—〇、二(外用)十乃至五十
- (用量)〇、五—一、〇

(リ)×リゾール(主治)消毒、防腐、

- 流動蘇合香(主治)殺虫、
- 硫肝硫加(主治)筋肉、佝僂質斯、慢性皮膚病、
- 龍膽丁幾龍膽質(主治)苦味、健胃、
- 龍膽越幾斯(主治)苦味、健胃、
- 硫化痰知母尼金硫(主治)祛痰、
- 硫酸五硫化(主治)防腐、消毒試藥、
- ×硫酸タルリン(主治)解熱、醱酵制止、
- 異酸銅(主治)催吐、收斂、腐蝕、磷中毒、
- ×硫酸ツポイゲン(主治)瞳孔散大藥、
- ×硫酸スバルテイン(主治)利尿、
- 硫酸麻風涅高利(主治)下泄、鉛中毒、
- 硫酸鐵(主治)消毒、強壯、收斂、試藥、
- 硫酸亞篤魯比涅(主治)麻醉、瞳孔散大、盜汗、
- 硫酸亞鉛酸(主治)收斂、催吐、
- 酸酸規尼涅(主治)解熱、截虐、強壯、健胃、
- 硫酸規尼實涅(主治)補熱、強壯、健胃、

- (外用)一—三%
- (外用)不定
- (外用)浴料ニ、五〇、〇—二〇〇、〇
- (用量)一、〇—二、五
- (用量)〇、五—二、〇
- (極量)一回〇、二—一日一、〇
- (外用)不定
- (用量)〇、二五—〇、五
- (極量)一回〇、一—一日〇、四
- (用量)〇、〇〇〇二—〇、〇〇一(△)
- (用量)〇、〇二
- (用量)一五、〇—三〇、〇
- (用量)〇、〇五—〇、二五
- (極量)一回〇、〇〇六—一日〇、〇〇三
- (極量)一回〇、〇六—一日〇、三
- (用量)〇、〇二—〇、一五
- (用量)〇、〇二—〇、一五